

目指すのは、ヒューマンケア・エキスパート。

20th anniversary

健康とともに20年 ～未来につなぐ地域の健康～



理学療法学科
Department of Physical Therapy



看護学科
Department of Nursing

LIVE 2019



公立大学法人 AOMORI UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

青森県立保健大学

大学案内



栄養学科
Department of Nutrition



社会福祉学科
Department of Social Welfare

青森県立保健大学は今年で 開学20周年を迎えます。

20th
anniversary

これまでたくさんの学生たちが本学で学び、高度な知識と技術を身に付け卒業後の現在も、全国各地の様々な分野で活躍しています。
青森県立保健大学は、地域の“健康と福祉”の未来をリードする大学をめざして、これからも邁進してまいります。



青森県立保健大学のこれまでのあゆみ

- 平成 11 年 4 月 青森県立保健大学開学(入学定員 看護学科 100人 理学療法学科 20人 社会福祉学科 40人)
平成 15 年 4 月 青森県立保健大学大学院博士前期課程(修士課程)開設(入学定員 20人 ⇒平成27年入学定員10人)
平成 17 年 4 月 青森県立保健大学大学院博士後期課程(博士課程)開設(入学定員 4人)
平成 20 年 4 月 公立大学法人青森県立保健大学に移行
4 月 栄養学科開設(入学定員 30人)
4 月 理学療法学科及び社会福祉学科入学定員見直し(入学定員 理学療法学科 30人 社会福祉学科 50人)
平成 22 年 4 月 大学院博士前期課程に長期在学コース(3年)開設
(平成 30 年 6 月 開学 20 周年記念式典開催予定)

LIVE 2019

contents

イントロダクション

- 学長からのメッセージ…………… 03
青森県立保健大学を語る…………… 05
「私がこの大学を選んだ理由」…………… 09

学び

- 身につける 4 つの力…………… 11
人間総合科学科目…………… 13
学部共通科目…………… 15
看護学科…………… 17
理学療法学科…………… 25
社会福祉学科…………… 33
栄養学科…………… 41

キャンパスライフ

- キャンパスカレンダー…………… 49
キャンパス・施設紹介…………… 51
先輩たちの生活紹介…………… 53
課外活動の紹介…………… 55
学生生活のサポート…………… 57

大学院

- 健康科学研究科**…………… 63

インフォメーション

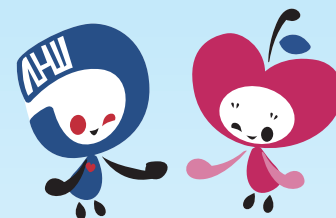
- 地域連携・国際センターでの社会貢献…………… 65
研究推進・知的財産センターでの研究推進…………… 66
入試情報…………… 67
大学周辺ガイドマップ…………… 69

大学までの交通案内・オープンキャンパス等

※本冊子のタイトル「LIVE(ライブ)」は、青森県立保健大学の「生命との深い関わり」そして「未来へ向けた躍動」を表現しています。

ここ10年間の主なトピックス

- 平成20年 4月 公立大学法人青森県立保健大学に移行
4月 健康科学教育センターを「地域連携・国際センター」に、
健康科学研究センターを「研究推進・知的財産センター」に改組
8月 文部科学省戦略的大学連携推進事業採択「北のまほろば!! 青森に根づく「知」の循環型社会」
8月 十和田市との連携協定締結
3月 八戸工業高等専門学校との協定締結
- 平成21年 6月 開学10周年記念式典開催
マスコットキャラクター「モーリーとリンリン」誕生
- 平成22年 7月 ケア付き青森ねぶた「じょっぱり隊」の共催団体となる
9月 韓国慶北大学校との国際交流協定締結
- 平成23年 3月 東日本大震災 救援活動を開始
4月 学生センター(Molley's Room)開設
5月 ボランティアサークル「めいと」が、岩手県山田町で焼き出し支援活動
- 平成24年 9月 本学初の食品商品開発「アピオ酢in青森りんご」
- 平成25年 2月～3月 栄養学科と民間企業が共同開発した商品の販売
4月 Webラーニングシステム導入
4月 学生寮「あずまし寮」開設(定員40名 ⇒平成26年定員100名)
5月 シミュレーション・ラボ(模擬患者実習室)供用開始
- 平成26年 3月 青森市との包括的な連携・協力に関する協定締結
- 平成27年 4月 健やか力(ヘルスリテラシー)向上サポート宣言
11月 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)に係る
連携・協力に関する協定締結
- 平成28年 3月 南部町との包括的な連携協力に関する協定締結
4月 大学院健康科学研究科「がん看護専門看護師コース」の開設
- 平成29年 3月 カリキュラム改訂に向けた新ディプロマ・ポリシー、
カリキュラム・ポリシーの策定



青森県立保健大学マスコットキャラクター
モーリーとリンリン



ケア付き青森ねぶた「じょっぱり隊」



岩手県野田村での支援活動



学生寮「あずまし寮」



健やか力(ヘルスリテラシー)向上サポート宣言

豊かな人間性と専門性をもった人材育成を目指して、 ヒューマンケアを実践できる、



青森県立保健大学健康科学部では、平成30年度から新カリキュラム“青い森のカリキュラム”がスタートします。また、大学院は、多職種連携や学際的研究を推進するため、平成29年度から新しいカリキュラムとして生まれ変わりました。

新カリキュラムのキーワードは、“健やか力(ヘルスリテラシー :Health Literacy)”です。“健やか力(ヘルスリテラシー)”とは、健康になる力、健康でいる力、を意味します。新カリキュラムでは、これらを学ぶ科目を充実し、“健やか力(ヘルスリテラシー)”の向上をサポートできる人材の育成を目標にかかげ、取り組んでいきます。

ところで、“健”という漢字に注目してみると、“健”は人と建から成り立っていますが、建は手で筆を立てることをさし、のびやかに立つさま、あるいは自らが立ち上がるという意味があるそうです。しっかりと立つ、すなわち倒れない、転じて心身が丈夫なことを表すようになったそうです。また、人を建てると書くことから人としてしっかりしている、人をしっかりとさせる(人をたてる)という意味合いを持つと説明されています。健やかであることは、自分がしっかりとしているだけではなく、しっかりしているからこそ、人を建てる行動ができることを意味しているのではないのでしょうか。まさに、ヒューマンケアに通ずる“健”です。

本学に入学したみなさん自身がヘルスリテラシーを身につけ、そして、人々の“健やか力(ヘルスリテラシー)”向上をサポートする役割を担ってほしいと思っています。

さて、本学は今年、開学から20年目になります。20周年のメインテーマは、「健康とともに20年～未来につなぐ地域の健康～」です。これを一つの節目とし、今後ともより一層、地域の健康と福祉の未来をリードする大学として邁進してまいります。

青森県立保健大学 学長

上 泉 和 子

専門は看護管理学。大学院博士前期課程、後期課程では、保健・医療・福祉政策システム領域で、研究指導を担当。現在はヘルスリテラシーの普及を通して地域の健康と福祉に貢献できるよう取り組んでいる。

青森県立保健大学が目指す

「ヒューマンケア・Human Care」とは

「ヒューマンケア」とは、ケアの提供者である専門職としての知識や技術だけではなく、人間とはなにかを理解し、病気や障害をもつ人々の心の痛みを感じる思いやりと温かさを持って接することです。

青森県立保健大学の理念と使命

理 念

— Philosophy —

公立大学法人青森県立保健大学は、人々の健康と生活の質の向上を掲げ、「いのち」を育ててきた創造性と四季豊かな自然に恵まれた地域特性を生かした教育研究活動を進め、ヒューマンケアを実践できる人間性豊かな人材を育成するとともに、青森県立保健大学を地域に開かれた大学として地域社会、ひいては国際社会の発展に寄与する。

使 命

— Mission —

■ 人間性豊かな人材の育成

生命に対する深い畏敬の念と倫理観、人間を総合的に把握し理解できる幅広い教養を身に付けた人材を育成します。

■ 保健、医療及び福祉の発展に寄与できる人材の育成

保健、医療及び福祉の連携・協力に向けて能力を発揮し、中核的な役割を果たせる人材を育成します。

■ 地域特性へ対応できる人材の育成

気候、風土、生活習慣など、青森県の特徴を考慮しながら問題解決へのアプローチができる人材を育成します。

■ グローバルな視野をもって活躍できる人材の育成

外国語等のコミュニケーション手段を用い、グローバルな視野をもって活躍できる人材を育成します。

■ 地域社会への貢献

生涯学習の中核施設としての機能とともに、大学の施設を広く県民に開放するなど、開かれた大学をめざします。



青森県立保健大学を語る。

この大学で学んできた4人の学生達。これまでの大学生活を振り返り、「ヒューマンケア」を、自分の体験から語っていただきました!!



羽田 裕樹 さん
平成30年3月
看護学科卒業
看護師として勤務



成田 智垂 希 さん
平成30年3月
理学療法学科卒業
理学療法士として勤務



田名辺 二葉 さん
平成30年3月
社会福祉学科卒業
青森県職員(福祉職)として勤務



佐藤 恵 さん
平成30年3月
栄養学科卒業
管理栄養士として勤務



これから本学を目指す学生へのメッセージ

【学長】 これから本学に入学したいと考えてる人達に向けて、先輩の方達からメッセージをお願いしたいと思います。本学のいいところ、あるいはおすすめのところを多くの人達に知ってもらいたいと思っていますので、宜しくお願い致します。



皆さん本学で4年間過ごしてみても、おすすめのところって何かありますか？

【佐藤】 栄養学科は人数も少なく、先生達がすごく親身になって、ゼミの先生も就職とか勉強のことだけではなく、プライベートのことも相談にのってくれるので、入って良かったなと思いました。



【学長】 先生方皆さん一生懸命でいろんなことに相談にのってくれるということですね。

【田名辺】 私は青森出身なんですけど、大学に入って青森の為になることが出来ればなと思って来たので、入学して実習とか授業などでも青森県に関わることがいっぱいあって、地元のこと知れるし、同時に地元の人に関われるという機会が多くてとてもためになりました。



【学長】 羽田さんどうですか？おすすめのところはありますか？

【羽田】 看護学科は女子が多いんですけど、男子でも楽しく学べると思いますが、もし高校生で男子の方で入学するのに看護の道ってどうだろうなって思っている人も沢山いると思うんですけど、この大学だったらそういうことは気にせずしっかり学べる環境があると思うのでおすすめです。



【学長】 よかったです。成田さんはどうですか？

【成田】 他の学校ではあまり無いと思うんですけど、1年生の時のヘルスケアワークがあって、2年、3年の実習を経験して4年次に、また4学科で勉強して1年生の時のヘルスケアワークがあって、自分達が今まで4年間勉強してきたものを専門的な目線から意見を出し合っって勉強できたということはいいい経験になったと思います。



大学生活で学んだ「ヒューマンケア」について

【学長】 本学はヒューマンケアを実践できる人を育てたいという教育目標がありますが皆さん自身でヒューマンケアを実践できる人になったと思いますか？ヒューマンケアの実践について、どのようなことを学びましたか？

【佐藤】 病院とかの実習にいて、患者さん一人ひとり、病態や食事の好みも違うし、教科書通りではなく、その人達に合わせたものを提供することが大切ではないかということがヒューマンケアなのかなと思います。

【学長】 羽田さんは、何か学んだ事ってありますか？

【羽田】 看護学科なので病院実習がメインだったんですけど、先生方から教えて頂いたのは、病気とか障害だけに着目するのではなく、その人がこれまでどんな生き方を送ってきたかとか、これからどういうふうに住生活していきたいかとか、そういう部分にまで着目してケアしていくことを学びました。

【学長】 皆さんがヒューマンケアについて学んでくれているなと思うと、とてもうれしいです。他に何か追加でありますか？

【成田】 私も3・4年の時の臨床実習で病院と、老人ホーム施設に行き、病院実習では急性期の病院だったんですけど、短期間で技能回復を目指すというところに着目した考えになってしまいました。しかし、老人保健施設での実習を通して、生活している方々に普段どおりの生活をしている方に対してのアプローチを考えていくことに関しては、運動とか、体の機能に着目しがちなんですけど、どこを治したら生活できるのかとか、医療者側の目線と、対象者の目線とが違ってたというのを改めて確認したということが大きかったかなと思います。

【学長】 もっとうれしいですね。田名辺さん何かありますか？

【田名辺】 実習でデイサービスとか老人ホームに行ったんですが、私自身看護学科や理学療法学科の方は違って医療を提供したりすることが出来ないんで、その病者さんのメンタルの面をケアしていかなくちゃいけないことになります。その時の病者さんへどうやって寄り添っていくかを、学べたと思います。

【学長】 ありがとうございます。今は学習のことを主に話してもらったんですけど、4年間過ごして学生生活の面で良かったなと思う事だとか、これはおすすめよという事があつたら、是非これから来る人達のために何か話していただきたいなと思うんですけど、どうでしょう？

4年間の大学生活で感じたこと

【羽田】 僕は、北海道出身なので、何かきっかけがないとなかなか自分の住んでいる土地以外の場所に来ることがないので、僕は大学進学をきっかけに青森に来て、今まで知らなかったねぶただったり、こちの土地の風土という伝統的なものにふれることができて自分の人生の中でも糧になったのかなと思います。



【学長】 青森の風土はどうでしたか？

【羽田】 最初来た時は、なまりが聞きとれなくて、4年間過ごしてだんだん聞きとれるようになって、今となっては愛着がわいてるって感じです。

【学長】 それはよかった。他の方はどうですか、学生生活で伝えたい事ってありますか？

【佐藤】 私は、1年生の時に寮に入って、その寮で沢山友達ができて、今も寮の人達、特に栄養学科の人達と仲がよくて皆で旅行とかもやっているんで、よかったなと思います。



【学長】 そうか、寮生活だったんですね。田名辺さんはどうですか。

【田名辺】 ちょっと悔しかったのが、私実家暮らしなんですけど、一人暮らしの人達は皆近くに住んでいて、皆さん楽しそうにしているので、一人暮らしが羨ましいなと思っていました。



【学長】 そうですか。学生生活に楽しいことがあるといいですね。成田さん他に何か学生生活でありますか？



【成田】 テクニカルサークルを通して、看護学科とか栄養学科とかの4年生の方とか自分が1年生の時に本当に機会がなければ、関わる事がない存在で、そういうサークルをきっかけに、学科・学年問わず交流を深めることができる環境を築けたのが良かったなと思います。

【学長】 そうですか、良かった。本学は国家試験の合格率が高いとか、就職率がいいとか言われているんですけど、国家試験や就職についてどんな活動をしてきましたか？また国家試験とか就職のことについて何か伝えたい事があつたらおしえてください。

国家試験や就職活動について

【佐藤】 私は学校や学校外にきてた企業の中で、様々なことに挑戦している企業に魅力を感じ、その採用試験を受けました。さらに、先生方からも様々な情報提供などがあったので、心強かったです。また、国家試験の勉強をするための部屋があって、そこで勉強したり、周りがやっている自分もやらなきゃと思って勉強していました。



【田名辺】 就職は県庁(公務員)を受けると前から決めていたので、ゼミの先生も一緒に就職試験のことを考えて下さったおかげで面接の練習や小論文の対策もしっかりできて心強かったです。



【羽田】 就職については自分が将来こういうふうになりたいという漠然とした目標をもってチューターの先生に相談をして、今まで経験してきた病院を紹介してもらって決めていきました。国家試験については、これもチューターの先生が何か困ったことがあったらいつでも来なさいというふうに言って下さったので、安心して勉強できました。



【成田】 理学の最後の実習が終わるのが7月でそこから募集がどんどん出てくるという感じで遅くて、ギリギリまで結構悩んでいる人が多くて、実習先の保健大学卒業生のアドバイザーの方に相談したりとか、私は結構ゼミの先生とか就職活動担当の先生に自分から時間がある時に連絡をとって相談してすすめていって、地元の病院に募集がでていたので、そこにしようと思ったのですが、情報が少なく、本学から何年も入ってる人がいなくて、家族とか、あと向こうの方で働いている先輩の人に話を聞いたりして、就職活動を行っていました。理学は国試部屋というのがあって、自由に皆入って使えるところで、何人かでやっているんですけど、理学は特に模試が多くて1月は毎週模試があって、その結果も国試部屋に貼り出されるので、目で見て自分がどこにいるのかというのが解る状況で焦りを丁度よく保ちつつ、皆で解らない所を教えあったりして、自分達で勉強を進めていくというやり方がいいなと思います。



【学長】 そう、学科によって、支援体制が違うと思うんですけど、国家試験や就職活動について、教員や事務からの支援体制は皆さん満足して下さっているのでしょうか？

【全員】 はい。



今後の青森県立保健大学に期待すること

【学長】ところで、来年開学20周年になるんですけども、大学にこれから期待することってありますか？

【田名辺】青森の大学なので地域貢献といった分野では、私の知らない学科のボランティアの活動とかも本学でやっている事がニュースなどでもいろいろ見られるので、そういった活動を経て県民の方々にも知られていくとうれしいと思います。



【学長】はい、ありがとうございます。羽田さんどうですか？

【羽田】そうですね、今、大学で「杖なし会」が地域の方に利用できるようにになっていると思うんですけど、それぞれの学科の特色をだしながらこれからも地域の住んでいるの方々に対して何か支援や援助をできればいいのかなと思います。



【学長】学生さん達もサークルなどを通して地域の方たちに、いろいろ関わって下さっているので大学としても、もっと地域の皆さんへの貢献というのを知ってもらおうようにがんばっていききたいと思います。成田さんどうですか、なにかありますか？



【成田】理学療法士という名前だけだとやっぱりまだ認知度が低いというのがありますが、保健大学は公開講座なども行っているんで、そういうものを通して気軽に地域の方が参加して、どういう仕事をしているのか、今、この高齢化社会でどれくらい必要とされているのかというのを広めていければ、もっと知ってもらえるんじゃないかと思っています。

【学長】わかりました。佐藤さんどうですか？

【佐藤】栄養学科のことなんですけど、東北で管理栄養士の養成課程があるのは、県立ではこと山形だけで、数少ない学校なのでもっとパワーアップしてくれたらいいのかなと思います。



【学長】地域貢献のパワーアップ、ありがとうございます。最後に、本学を受験したいと思っている人達に是非これをPRしたいというのがあったら、一言ずつお願いします。

受験生に贈る「青森県立保健大学のPR」

【成田】私がこの大学を選んだ理由の一つでもある4学科連携というのはこれから大事になってくるものだと思うので、専門的な知識だけじゃなくて他学科との交流も含めて、何ができて、何ができないのか、他の学科が実際どういう活動をして、どういう勉強をしているのかを、一番学べる機会でもあると思うので地域に貢献したいとかバリバリ働きたいという方は是非という感じです。

【学長】なるほど。羽田さんどうですか？

【羽田】本学の英語教育がコミュニケーションを主体にしているものなので、大学に入ってから医療の専門職になって英語からはなれるって事は良くないことだと思います。これから東京オリンピックとかも控えていますし、どんどん環境が国際化してくると思うので、できるだけ英語からはなれない状態をつくれるというのは大きいんじゃないかと思います。

【学長】はい、わかりました。田名辺さんどうですか？

【田名辺】入学したときは福祉について全然詳しくなくて、何も分からないまま入ってきたんですけど、いろんな講義とか実習を通して地域の人に触れたり、専門職の方々にいろいろ教えてもらうことが沢山あって、今すぐ福祉の現場で働けるってわけではないんですけども、自分にとって身についたものは大きかったし、大学に入って学ぶことが沢山あったのでためになりました。

【佐藤】先生方との繋がりがあったりとか、友達とかも毎日楽しい生活を送れて充実した日々を過ごせたのでおすすめです。

【学長】ありがとうございます。皆さんの話を聞いて本当に4年間充実したすごい経験を積んでくれたんじゃないかなって思っています。こういう経験を是非これから保健大学を目指す人達に伝えていきたいと思っています。なにか機会があったら後輩達もよろしく願いいたします。

【皆】ありがとうございました。



「私がこの大学を選んだ理由」

保健医療福祉の専門職をめざして、私たちはここで学び、ここで実践しています。

4学科合同のチーム医療を実践できる!



私が看護師になろうと決めたのは高校生の時です。どのような看護師になりたいか考えたときに、患者さんを一番近くで支えるのはもちろん、看護だけではなく幅広い分野の医療と連携して支え安心させられるような看護師になりたいと思いました。そこで、4学科合同の講義を進めている本学で学び、看護だけではなくチームとして理解しあえるようになりたいと考え志望しました。

保健大学の魅力は、やはり4学科合同の講義・演習です。目指す職は違っても同じ医療職を目指す仲間がいることや、グループ活動を通してコミュニケーションをとれることは、看護だけにとられない幅広い視点を得ることにつながると思います。また、1年生の早い時期から病院での実習を行うことで、将来をイメージでき、学習活動へのモチベーションが高まります。

保健大学では、たくさんの経験や学びから幅広く、将来を見据えた学習ができる環境が整っています。ぜひ、保健大学で充実した学生生活を送り、目標に向かって一緒に頑張りましょう。

北海道帯広三条高等学校 卒業 看護学科 3年 しも びか 下坂 あき ひこ 明彦 さん

充実したサポートで深まる学び!



私は将来、青森県民の健康に寄与できる医療人になりたいと考えています。本学では、4学科合同授業により、学生のうちから他職種との連携を意識し、自分の視野を広げることができます。また、ヒューマンケアを実践する人材の育成に力を入れており、相手の心に寄り添ったケアを学ぶことができます。さらに、ヘルスリテラシー科目では、フィールドワークを通して、地域に根差したケアを考えることができます。このような環境で学び夢を

実現したいと思志望しました。

本学の魅力は、教員が親身にサポートしてくださることです。授業や実習では知識、看護技術の指導はもちろん、患者さんへのより良いケアを指導して下さり、必要な援助を深く考え実践することができます。また、進路についてもサポートのもと、自分が本当にやりたいことに対して自信を持つことができます。そのため、国家試験の合格率、就職率ともに高くなっており、これも本学の魅力です。

青森県立青森東高等学校 卒業 看護学科 4年 うえむら 植村 ゆみ 由美 さん

最新の機器を使っでの実習や演習はもちろん、先生方の丁寧な指導で、しっかり学べる!



私は青森県内での就職を希望していたこともあり、本学のオープンキャンパスに行きました。物理療法や実際にご遺体の臓器に触れる体験をしたときは正直驚きましたが、私もこの大学で勉強したいと思いました。他学科との交流もあり、他職種との連携を学びながら知識を広げたいと考えて本学を選びました。

本学の魅力は学内設備が整っていることです。2年次では実践的な授業が増えて、座学の他、最新の機器を使った実習、演習などを多く取り入れており、実際に経験することで知識だけではなく、体を使った理解をすることができます。また、先生方が丁寧にわかりやすく説明して下さるため、ただの丸暗記ではなく意味を理解しながら学ぶことができます。

戸工業大学第一高等学校 卒業 理学療法学科 3年 ひらふね 平船 まほ 真帆 さん

地域を良くしたいと奮闘する仲間たちや先生方と、一緒にこの大学で学んでいます！



志望校の選択段階で、自分の学力や実家からの距離という点で注目はしていませんでした。いざ受験を決意して調べてみると、豊富かつ珍しい設備や幅広い専門分野を修めた先生方といった魅力に惹かれるようになりました。また比較的小規模の大学なのでアットホームな環境で生活できるのも魅力の一つです。

本学の魅力は、システム面では実践力を磨く長期実習や高い国家試験合格率を裏付ける講義・演習などが挙げられますが、なんといっても最大の魅力は所在地が青森市であることだと思っています。これから発展していく地域であること、健康と密接なかかわりを示す県民性、何よりこの地域を良くしたいと奮闘する仲間たちや先生方と学ぶことができるのがこの上ない魅力に感じられます。

北海道函館中部高等学校 卒業 理学療法学科 4年 石田 康成 さん

将来に役立つ4学科合同講義と高い国家試験合格率！



1年生の前期から4学科合同の講義があり、他学科の人と交流する機会が多くあります。そのため専門分野のみならず多職種の考え方や知識が身に付き、それらを将来働いたときに活かしていくことができると感じました。また、国家試験合格率が高いことから本学を志望しました。

本学の魅力は、学生数に対して教員数が多く、一人一人が分かるまで教えてもらえます。先輩方も優しく、何でも相談できる温かい雰囲気があります。学生達は皆努力家で、同じ専門職を目指す者同士で高めあっていくことができるのも魅力の一つです。また、本学では専門知識だけではなくヒューマンケアについても学ぶことができるため、人を思いやることのできる管理栄養士になれると思います。

青森県立田名部高等学校 卒業 栄養学科 2年 石川 知嘉乃 さん

チーム医療を実践的に学べる！



「連携」を早い段階から意識できる

「チーム医療」と言われるように、今日の保健・医療・福祉の分野では「連携」の重要性が増えています。他分野も含めた横断的な理解が必要とされる中、大学内で4学科が合同で講義を行い、それぞれの専門領域の力を活かしていく環境が非常に魅力的だったのが、進学を決めた大きな理由です。

青森で福祉を学ぶ意義

保健福祉の課題が山積みの青森県で福祉を学ぶことも魅力です。それは非常にチャレンジングで刺激があります。目の前にある課題を解決する方法、目指すべき福祉の方向を、日々仲間達と共に考えています。専門職の養成がメインではありますが、大学であるので実践的な内容や理論を学ぶことができます。

北海道登別明日中等教育学校 卒業 社会福祉学科 2年 宇野 明日真 さん

医療現場で必要となる4学科合同の授業と、学外演習で学んだことを実践できる！



私は将来、病院で働く管理栄養士になりたいと考えていました。本学では、4学科合同の授業があり、病院で働くうえで幅広い視野で物事を捉えることができ、また、医療の現場で必要となる他職種との連携を学ぶことができると思い本学を志望しました。

本学の魅力は、1年生の時から座学だけでなく学外演習などが多くあり、自分の学んだことを実践できる場があることです。将来のことを考えながら学びを深めていくことができます。また、本学の寮も魅力だと思います。私自身、新生活に不安があったが、寮生活でたくさんの友達ができ、賑やかで楽しい生活を送ることができています。

長野県木曾青峰高等学校 卒業 栄養学科 2年 佐々木 裕太郎 さん

国家試験合格率や就職率が高い！



私は社会福祉の分野に興味があり、将来は障害者の就労支援に携わる仕事に就きたいと考えていました。地元の公立大学であること、社会福祉について学ぶことができること、1年次から実習があり多くの経験を積めること、国家試験の合格率や就職率が高いことが、私が本学を志望した理由です。

本学の魅力は、学年・学科を問わずに交流できることだと思います。特に

サークル活動はそのサークルのことだけでなく、勉強や実習など学校生活に関する相談がしやすいです。私は吹奏楽とテクニカル(ダンス)に所属していますが、ダンスは初心者でした。新しいことに挑戦したことで新しい仲間が増え、刺激となっています。サークルの種類が豊富なので、入学を機に新しいことを始めるのもいいと思います。

専門職をめざすための環境が整っている！



私は、短大で栄養士の免許を取得し、本学に編入してきました。

本学を志望した理由は、「保健・医療・福祉の連携、協働を目標とし、その人材育成に力をいれる」という本学の使命に魅力を感じたからです。各領域で関わる管理栄養士にとって、多職種との連携について学ぶことは必要不可欠だと考えていました。

本学の魅力は、4学科合同の授業があったり、少人数体制であるため、先生方から充実した丁寧な指導を受けることができたりなど、専門職を目指すうえでの「環境」が整っていることです。「人」を対象とする専門職であるからこそ、先生方との距離が近く、他学科の学生とも幅広くコミュニケーションをとれるなど多くの人と関われるということは非常に魅力的だと思います。

青森県立田名部高等学校 卒業 社会福祉学科 4年 山道 千佳子 さん

岩手県立一関第一高等学校 卒業 (会津大学短期大学部から編入) 栄養学科 3年 千葉 幸子 さん

身につける4つの力 青森県立保健大学で「4つの力」を身につける。

ヒューマンケアの担い手を育む 青い森のカリキュラム。

平成30年度より新カリキュラムスタート!



カリキュラムをイメージしたロゴです。
4つの学科が人々の健康に寄与するという
同じ「根」を持ち、つながっていること、
地域という土から栄養を得て豊かな森を育むことを示しています。

可能性に満ちた1本の若木を思い浮かべてください。

若木は人々の健康に寄与できるような立派な木になろうと希望を抱いています。
素敵な木になるためには、豊かな「土」に栄養を吸い上げるための「根」を十分に張り巡らさなければなりません。
葉に栄養を運ぶ、力強くしなやかな「幹と枝」も必要です。
茂らせた「葉」は自らに栄養を運び、木は美しく育っていきます。
それぞれの木たちがつながりあうことで豊かな「森」になります。
そして、最終的に「森」は「土」をより豊かにします。

若木は皆さんです。

根を強くするのは「自らを高める力」、幹を太くするのは「専門的知識に根差した実践力」、
葉を青々と茂らせるのは「創造力」、森を豊かにするのは「統合的実践力」。

これら4つの力を身につけるために青森県立保健大学での学びがあります。
そして、皆さんに栄養を運び、皆さんからの栄養で豊かになる「土」は、ここ青森の地域、そして日本、世界です。

これがヒューマンケアの担い手を育む「青い森のカリキュラム」のイメージです。



身につける4つの力

青森県立保健大学では、
保健・医療・福祉分野の未来を創る
「4つの力」を身につけることを
ディプロマ・ポリシーに掲げています。

1.自らを高める力

豊かな教養をもとに、適切な表現力をもって自ら学ぶことのできる力

- ・物事に対する深い理解力とグローバルな視野を持つために幅広い教養を身につけ、豊かな人間性をもとに多様な考え方を受け入れることのできる能力を有する。
- ・自律して学習を組み立て、適切に探求でき、これを自己の成長につなげることができる能力を有する。
- ・こころを開いて相手に接し、相手を理解し、自らの考えや気持ちを適切に表現し相手に伝えることができる。

人間総合科学科目 13頁へ▶▶

2.専門的知識に根差した実践力

高度な専門的知識と技術、倫理的態度を獲得し、これを踏まえて実践できる力

- ・ヒューマンケアを行うために、ケアの対象とその生活について理解を深め、ケアの目的である対象の健康を維持・回復できるよう、各々が志向する学問分野で力を発揮できる知識を持つ。
- ・実際に人々や地域と関わり、情報を収集・分析し、有効なコミュニケーションで、相手に沿ったケア実践や教育ができる。
- ・ケアの対象を支えるために必要な人権や職業的倫理に関する知識を持ち、態度として体現・実践できる。

専門科目

看護学科 17頁へ▶▶

社会福祉学科 33頁へ▶▶

理学療法学科 25頁へ▶▶

栄養学科 41頁へ▶▶

3.創造力

獲得した知識や技術を発展的に活用できる能力

- ・収集した情報を分析し、解決方法を実践し、その結果を評価、フィードバックする、問題解決の過程を進めることができる。
- ・物事を論理的に考え、根拠をもとに多様な観点から吟味し、自らの思考についても批判的に考えることのできる思考力（クリティカルシンキング）を持つ。
- ・科学の概念や手法についての知識を持ち、健康の保持・増進に関する情報を適切に獲得、理解、評価することができる。

専門科目

看護学科 17頁へ▶▶

社会福祉学科 33頁へ▶▶

理学療法学科 25頁へ▶▶

栄養学科 41頁へ▶▶

学部共通科目 15頁へ▶▶

4.統合的実践力

繋がりがあうことでより大きな力を発揮できる実践力

- ・保健、医療及び福祉の多職種や多機関が連携・協調するために必要なコミュニケーション能力、メンバー・リーダーシップを持ち、健康的な地域の創造に向け、対象を中心としたチームアプローチができる実践力を持つ。

学部共通科目 15頁へ▶▶

ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針):ディプロマ・ポリシーとは、どのような力を身につけた学生に卒業を認定し、学位を授与するのかを定めた方針です。平成30年度からの新カリキュラムを構築する際に、本学の理念を体現した理想の卒業生像を描き、教員一丸となって考え、決めました。本学では「4つの力」を身につけることで将来に渡って保健医療福祉分野で活躍できる人材を育成します。

人間総合科学科目 「自らを高める力」を育み、専門教育の基盤となります。

主に1・2年生で学ぶ科目です。自分の興味のある科目を選択して学ぶことができます。人間総合科学演習やEnglishでは、少人数グループで学びますので、友達づくりのきっかけにもなります。

「教養」を身につけるための科目群

人間と存在

「人間とは何か」「自分とは何か」について深く考える科目群です。保健医療福祉の現場では、人間存在の根本にかかわる問いに直面することがあります。

この科目群では学生自らの経験を通じて人間存在を考えることを目的としています。

- 思想と歴史
- 人間と歴史
- キャリアデザイン
- 教育と人間
- 個人と組織
- 生涯スポーツ
- 生涯発達とライフスタイル
- 人間と心理
- 人間関係論

芸術と創造

人間に潤いと豊かさをもたらす芸術を通じ、感性と教養を育みます。また、芸術を通して人間存在の理解を深めます。

- 人間と音楽
- 人間と美術
- 人間と文学
- 人間と演劇

現代社会と生活

保健医療福祉の分野は、対象となる個人の「生活」が健康的で、豊かなものであるように支える必要があります。その基盤となる生活のこと、社会のことについて広く知り、視野を広げます。

- 生活と環境
- 情報社会と対人援助
- 災害と地域
- 青森の風土と生活
- 社会の動態と生活形態
- 社会生活と法
- メディアリテラシー
- 経済と生活
- グローバル社会と文化
- ジェンダーと社会



「生涯スポーツ」での講義風景。カーリングの実技では、慣れない動作やフォームを学習することで、身体機能を向上させることができ、仲間との連携方法を学びます。



「人間と演劇」での講義風景。最終発表の様子です。一人ひとりの刻むリズムが共振し、集団では新たなリズムが生まれることを体感します。



「青森の風土と生活」での講義風景。青森のユニークな特徴を分析し、未来の可能性を発見する科目です。この写真は青森市長に講演いただいた際のもので、青森のまちづくりを学びました。



「グローバル社会と文化」での講義風景。多様な価値観・世界観への理解を深め、国際人としての資質を高めていきます。主体的・対話的、かつ協同的に学びます。

「自己学習力」を高めるための科目群

科学と論理

自ら学ぶ必要性や喜びは何か、どうすれば自ら学ぶことができるのか、学び続けられるのかを実践しながら身に付ける科目群です。

- ラーニングスキル
- 人間総合科学演習
- 統計リテラシー
- 英語リーディング
- 医療系科学の基礎
- 情報機器の操作 I・II
- 科学と創造(理論編)
- 科学と創造(実践編)
- 調査と科学的方法
- 生活と化学



「人間総合科学演習」での演習風景。少人数グループで、担当の先生とともに学びます。このクラスでは「母親と子ども」をテーマとし、実際にお母さんや子どもとふれ合うことで学びを深めました。

言語とコミュニケーション

相手の話をよく聞き、自らも心を開いてコミュニケーションできるような基礎的な能力を育みます。英語の教育はネイティブスピーカーによる少人数教育です。「外国語を話す」という心のバリアを下げ、楽しい雰囲気ですることができるように工夫をしています。また、イギリス（ブライトン）とオーストラリア（シドニー）での短期海外研修もあります。自らを表現する力を高めるとともに、視野を広げ、相手を理解することのできる素地を養います。

- 人間関係とコミュニケーション
- English 1~4
- English Communication
- 韓国文化と言語
- 中国文化と言語
- ロシア文化と言語
- スペイン文化と言語
- ろう文化と手話
- フランス文化と言語



「English 1・2」での演習風景。自由に流暢な会話ができるように、様々なトピックやシチュエーションで使われる英語を学びます。



「English 3・4」での演習風景。主にHealth and Welfareのための英語やプレゼンテーション能力を養います。



短期海外研修。イギリスとオーストラリアのコースがあります。コミュニケーション能力と社交技術の向上、異文化の理解を通して国際的視野を養うことが期待されます。

外国語担当教員の紹介



Vikki Williams
ウィリアムズ ヴィッキー

主な担当科目: English 1~4、メディアリテラシー、English Communication

University is a time to expand your horizons and make new friends that can last a lifetime. Enjoy!



Jacob Andrew Richardson
リチャードソン ジェイコブ

主な担当科目: English 1~4

Finding your future begins with finding yourself. As you start at AUHW, remember these 3 E's: Engage, Explore and Expand!



Travis Emery
エメリ トラビス

主な担当科目: English 1~4

Work hard to discover what you love. Making mistakes is a part of life, but if you keep your dreams in sight you won't have any regrets.

その他・外国語担当教員

●栄養学科

Melissa Ogasawara
小笠原 メリッサ

48頁へ▶



●理学療法学科

Michael Smith
スミス マイケル

32頁へ▶



●社会福祉学科

Christopher Horne
ホーン クリストファー

40頁へ▶



ヘルスリテラシー科目群

第5次カリキュラムで強化した本学の“目玉”科目群です。なぜなら、これからの保健医療福祉を担う人材に最も必要とされている力が「連携力」だからです。

4つの学科がひとつの学部で学んでいる特性を活かし、お互いの役割を理解しながら、ケアの対象を中心に考えられるように、専門科目の学習進度に応じて学びます。

1年生と4年生では、4学科混成チームで地域に出向き、地域の健康課題を知り、解決方法を住民の方々とともに考えます。

ヘルスリテラシーとは

「健康情報を獲得し、理解し、評価し、活用するための知識、意欲、能力であり、それによって、日常生活におけるヘルスケア(医療や介護などのケア)、疾病予防、健康増進について判断したり意思決定をしたりして、生涯を通じて生活の質を維持・向上させることができるもの」とされています。

ヘルスリテラシー

二つの柱を合わせて
将来の世界に必要とされている
「統合的実践力」を獲得します。

連携力

学生がヘルスリテラシーを獲得すること、さらに、地域の方々のヘルスリテラシーを向上させることができるようになることを目指した科目群です。本学は教育、研究、地域との活動などの全分野で、ヘルスリテラシー向上を目的として活動することとし、「ヘルスリテラシー向上サポート宣言」をしました。

人や社会の健康や幸せのためには、保健医療福祉が連携し一丸となって取り組むことが必要です。

本学では、1年生から4年生まで継続的に、4学科が混成のチームを組んで、お互いの専門性を認め合いながら相手を中心に考え、行動できる力を養います。そしてそのテーマが、地域の人々の「ヘルスリテラシーの向上」です。

ヘルスリテラシー科目群

1年次

前期

■ヘルスプロモーション概論

地域に暮らす人々の健康を創造する(ヘルスプロモーション)について学習します。看護・理学療法・社会福祉・栄養の4分野をよく知って、人々を中心に、専門職がどのように連携するのかを考える基盤とします。

■ヘルスプロモーション演習

地域の人々の話を聞くフィールドワークを通して、実際に地域の人々の生活や健康の考え方にふれます。体験を通してヘルスプロモーションについてダイナミックに理解することができます。



写真は「ヘルスプロモーション演習」の様子

後期

■健康情報リテラシー

まずは自らが健康情報を使える人となるために、健康に関する情報を適切に知り、これを活用するための基礎的な知識と情報収集方法について学びます。これを人々のヘルスリテラシーを向上させるための基礎とします。

2年次

前期

■職業倫理とヘルスコミュニケーション

人を支えるために必要な倫理観について考え、学習します。相手を尊重するためのコミュニケーションの在り方について深く考えて学びます。

後期

■セーフティプロモーション

安全な地域を発展させるための方策について学びます。例えば、高齢者が転ばないような地域、地域で自殺を防ぐ、災害時に地域を守るための方法等、具体的な事例から考え、学びます。

3年次

前期

■地域包括支援論

地域包括ケアの基盤を学び、地域に暮らす事例について、専門領域からみたケアの方法について考えます。

4年次

前期

■ヘルスケアマネジメント論

ケアを必要とする人々(個人・集団・地域)のニーズに沿う支援をするための連携・協働の必要性、ヘルスケアマネジメントの具体的な展開方法と、その実践のための自分の専門領域の特性と他の専門領域との共通性について学びます。

後期

■ヘルスケアマネジメント実習

実際に地域で暮らす事例1名を4学科混成チームが受け持ち、ヘルスケアマネジメント論の学びを活かして必要なケアプランを作成し、発表します。



4学科混成グループで支援のあり方について話し合っています。



共通選択科目群 (1~4年次)

保健医療福祉やキャリアについて、自分の興味があるテーマについて選択し、より深く学ぶ科目群です。

○ヒューマンケア特殊講義 I~III

○学科の専門科目のうち、他学科に解放されている科目

補強学習科目群 (1年次)

本学に入学した学生が専門教育を十分に理解できるように、高校での習得状況に応じて選択して学ぶ科目群です。修得単位には含めません。

○生物の基礎 ○化学の基礎 ○物理の基礎

看護学科

□在籍学生数 446名(男40名、女406名)
平成30年4月1日現在

卒業する時点で身につけている力

看護学科ディプロマ・ポリシー

※詳しくは12頁 参照 ▶

1. 自らを高める力

- 物事に対する深い理解力とグローバルな視野を持つために幅広い教養を身につけ、豊かな人間性をもとに多様な考え方を受け入れることのできる能力を有する。
- 自律して学習を組み立て、適切に探求でき、これを自己の成長につなげることができる能力を有する。
- ところを聞いて相手に接し、相手を理解し、自らの考えや気持ちを適切に表現し相手に伝えることができる。

2. 専門的知識に根差した実践力

- 看護の対象となる人とその生活を理解し、あらゆる健康レベルに応じた看護に必要な専門的知識・技術を習得する。
- 看護の対象となる人々や地域と実際に関わり、有効なコミュニケーション力を活用して情報を収集・分析し、対象に応じた看護の実践や教育ができる。
- 看護の対象を支えるために必要な人権や職業的倫理に関する知識を持ち、態度として体现・実践できる。

3. 創造力

- 看護過程の展開を基礎として、看護の対象となる人の健康課題の解決に取り組むことができる。
- 看護の現象を自ら探求し、柔軟な発想で論理的に考え、判断する力をもつ。
- 自らのヘルスリテラシーを活用し、対象のヘルスリテラシーを高めることに寄与できる。

4. 統合的実践力

- 保健、医療及び福祉の多職種や多機関が連携・協調するために必要なコミュニケーション能力、メンバー・リーダーシップを持ち、健康的な地域の創造に向け、対象を中心としたチームアプローチができる実践力を持つ。

在学中、これらの力を身につけるためのカリキュラム

※詳しくは19・20頁 参照 ▶



入学するまでに身につけてほしい力

看護学科 アドミッション・ポリシー

看護学科は、看護職(保健師・助産師・看護師)として、人間の生涯にわたる健康生活のニーズやその社会的ニーズの変化に対応できる人材を育成します。そのために人間を心身両面から理解し、様々な健康段階にある人々のニーズに対応した援助と専門職としての責務と行動について学習していきます。

そこで、看護学科は次のような人を求めます。

- (1) 看護学を学ぶために必要な、国語、理科、英語などの基礎的学力を備えている人。
- (2) 自ら進んで意欲的に学ぶことができる人。
- (3) 自分の考えを筋道立てて適切に表現できる人。
- (4) 人に関わるのが好きで、相手の気持ちを尊重し、適切な人間関係を保つことができる人。
- (5) 看護に関心を持ち、看護職として社会に貢献する意欲がある人。



取得可能な資格

看護師

国家試験受験資格

診断や治療などの診療の補助や療養上の世話をを行う専門職です。医療の高度化・複雑化に伴い、活動の場が広がっています。

保健師

国家試験受験資格

学校や保健所などでの集団検診や健康相談を行います。あらゆる人が健康な日々を送ることができるように、手助けをしていきます。病気にかからないようにアドバイスをし、病気予防の目的で人々をサポートします。

【3年次に選抜試験があります(30名程度)】

助産師

国家試験受験資格

助産を行うほか、妊娠から出産、出産後の総合的なケアをします。安心して出産ができるよう、あらゆる面からサポートを行います。育児や家庭環境に関する相談や指導、不妊治療に関する相談や思春期の性に関する相談も行います。

【3年次に選抜試験があります(10名程度)】

青森県立保健大学の合格率(平成30年3月)

看護師 国家試験合格率

98.0%

全国の新卒者合格率

96.3%

保健師 国家試験合格率

93.3%

全国の新卒者合格率

85.6%

助産師 国家試験合格率

100%

全国の新卒者合格率

99.4%

看護学科の就職率
(平成30年3月現在)

就職率

99.0%

卒業後活躍できる進路

看護師・助産師として

■医療機関(病院、訪問看護ステーションなど)

教育機関

■大学・専門学校など

保健師として

■行政機関 ■企業・事業所 ■医療機関など

大学院等へ進学

※詳しくは63頁 参照 ▶

※ チューター制による 学生一人一人を見守る体制

※チューター制:個人授業という意味で、一人一人に合わせた相談

看護学科教員44名が、学生10名程度を担当し、学業はもちろん日常生活等も含めて、学生一人一人が教員に相談しやすい体制を整えています。また、男性教員も多く、男子学生の良きモデルとなっています。

就職支援

チューターを中心とした就職支援(小論文添削や面接指導)などはもちろん、年2回の就職ガイダンスを行っています。前期は、本学を卒業し、保健師・助産師・看護師として活躍する卒業生を迎え、専門職として働くことへの動機づけを高めます。後期は、各職種で就職が内定した4年生から、就職までの道のりを語ってもらい、各学年でやるべき活動を理解することが出来ます。



国家試験への支援

ガイダンス等で、1年生から国家試験に対する意識づけを行っています。国家試験模擬試験のサポートや学習室の確保など、学生が主体的に学習できる環境を整えています。

国家試験対策 ※詳しくは61頁参照 ▶

看護技術習得支援

4年間で身につけてほしい看護技術を、学生自身が把握し管理できる体制を整えています。

また、4年生の3月には、現場で働く前に確認したい基礎的な看護技術について復習を行います。静脈注射や採血、経管栄養などの準備や実施ができること、患者の観察内容が理解できることを目的に、学生が企画・運営し、準備から後片付けまで主体的に演習を実施しています。



※ アクティブラーニングによる魅力的な授業

※アクティブラーニングとは、教員による一方的な講義形式の教育とは異なり、学習者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。

学生が、主体的に講義に参加し、疑問を持ち、解決・実践していく力を養えるよう、講義に様々な工夫をしています。

模擬患者を活用した授業



「ヘルスアセスメントI・II」では、人間の五感と聴診器、最低限の診察器具を用いて、患者の身体と精神とを観察し、状態を判断することを学びます。研修を受けた一般の方に模擬患者となっていただくことで、より臨場感のある内容となり、臨床で活用できる技術を身につけることができます。

チーム基盤型学習を活用した授業



認知症高齢者の看護では、少人数のチームになり、自己学習に基づき、課題達成に向けてチームで取り組む授業を取り入れています。今は、「入浴を拒否している認知症高齢者」への看護をチームで考えています。結束力・信頼感や責任感が養われます。

高性能シミュレーター人形を活用した授業



シミュレーション・ラボという部屋には高性能人形が5体あります。授業の中で、全身麻酔による手術を終えたばかりの患者さんを模擬的に再現し、実際に看護を行うことで観察力・実践力を磨いていきます。

看護学科長からのメッセージ!

看護の魅力 ～ 地域の健康を支える看護を目指して ～

看護は私たちの日常の生活のなかから生まれた専門職であり、基本的に生活する人々を対象とし、生命の誕生から死まで全ての時期にかかわります。人間がそこにいる限り、生活がある限り、看護の役割はなくなることはありません。このように生命を維持する日常的・習慣的ケアの実施を通して、その人の心身の状態を改善し、生きる力を引き出すのが看護です。

看護の魅力は、多くの人の人生の大きな出来事すべてにかかわり、そのかわりの中から、人間のもつ力、家族の絆、地域社会のもつ力など、あらゆる関係性のなかで、生かされ、愛されて、豊かになる人間ならではの魅力に触れることができ、お互いに成長できるということだと思います。

本学科では、地域で生活している人々の健康を支える看護を目指して、地域と共に考え、共に育っていく環境を提供し、人間ならではの魅力に触れ、ヒューマンケアを実践できる看護職として成長できるよう支援します。一緒に人間として成長していきましょう。



看護学科長
鳴井 ひろみ 教授

青森県出身。病院や教育機関での勤務を経て、2000年4月より青森県立保健大学勤務。専門分野:がん看護学、看護学博士。

看護学科での学び

— 専門職への道のり —

1年次 教養を深め、看護の基礎となる科目を学ぶ。

体の構造や機能、人間、健康について等、これから学ぶ看護の基礎となる科目を学びます。根拠を踏まえた看護を学ぶことで、看護への関心が高まります。

2年次 専門性の高い講義・演習で患者さんの個別性を考慮した看護を学ぶ。

対象である人の「疾患」だけでなく、食事や睡眠、排泄などの日常生活や、家族、仕事などへの影響を含め、全体として捉えることの難しさを感じると同時に、看護の奥深さを実感します。



看護学という学問を学ぶ

看護学は、人の健康に寄与するための学問です。そこで「人間とは」「健康とは」そして「看護とは」について、先人の理論(考え)を踏まえ、深く考えます。すぐに答えを求めず、探求することが学問を学ぶということです。皆さん、難しそうに感じていますね。考えることから逃げてはいけません。



実践基礎看護技術Ⅲ

この基幹科目では、洗腸・酸素吸入・経管栄養法等を学びます。ここでは、痰がからんでいる患者さんに、口腔内吸引を行う演習をしています。



実践基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ

身体を拭いたり、食事の援助、ベッドのシーツを交換するなど、日常生活を援助する基本的な技術や血圧や体温を測定するなど診療の補助に関する技術を学びます。

食事の援助をしています。食べることは、人が生を実感することでもあります。安全に楽しく食事ができるように、技術の一つひとつの基礎となる諸要素と根拠を理解して援助することが重要です。



家族援助論

家族とは何か、どのような役割があるかを学んだ上で、子育て、健康増進、疾病予防など家族の持つ健康課題への援助・支援の方法を考えます。また、実際に地域へ赴き、住民への健康教育などを通じて地域社会における家族援助・支援についての理解を深めます。

段階的な実習

実習は4年次まで段階的に行われます。経験豊かな教員や実習指導者とともに充実した実習ができます。

基礎看護実習Ⅰ(青森市内の病院で2週間の実習)

初めての病院実習に行きます。日常生活の援助を中心とした実習です。病院内の仕組みや部門・設備など病院という環境について、理解を深めることで、患者さんに適した日常生活の援助を安全・安楽に行うことができます。実習指導者である看護師が、急患室の環境について理解が深まるように工夫して説明してくれています。



基礎看護実習Ⅱ(青森市及び近隣の病院で2週間の実習)

患者さんへの看護援助の実践を通して対象者を総合的に理解し、看護過程の展開ができる基礎的能力を養うとともに、看護に必要なコミュニケーション能力や態度について学びます。



看護学科のカリキュラム 卒業要件:計125単位以上 ●=必修科目 ○=選択科目

| 1年次 | | 2年次 | |
|--|---|--|--|
| 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| ■専門支持科目 ●人体構造学 ●人体機能学 ○グローバルヘルス ○バイオエシックス ○カウンセリング概論 ■基幹科目 ●看護学概論Ⅰ ●看護学概論Ⅱ ●実践基礎看護技術Ⅰ ■学部共通科目 ●ヘルスプロモーション概論 ●ヘルスプロモーション演習 | ■専門支持科目 ●生命基礎科学 ●感染免疫学 ●公衆衛生学 ●精神健康論 ○性とセクシュアリティ ■基幹科目 ●看護形態機能学 ●実践基礎看護技術Ⅱ ●看護過程 ●人間発達援助論 ●基礎看護実習Ⅰ 実習 ■学部共通科目 ●健康情報リテラシー | ■専門支持科目 ●病理病態学 ●栄養代謝学 ●成人疾病治療論Ⅰ ●成人疾病治療論Ⅱ ●老年学 ●精神疾病治療論 ○疫学 PHN ■基幹科目 ●実践基礎看護技術Ⅲ ●ヘルスアセスメントⅠ ●ヘルスアセスメントⅡ ●看護過程演習 ●健康教育論 ●経過別看護援助論 ●老年看護学概論 ●精神看護学概論 ■学部共通科目 ●職業倫理とヘルスコミュニケーション | ■専門支持科目 ●薬理学 ●臨床薬理学 ●保健福祉行政論 ○救急医学概論 ■基幹科目 ●ヘルスアセスメントⅢ ●家族援助論 ●成人看護援助論Ⅰ ●成人看護援助論Ⅱ ●老年看護援助論 ●母性看護学概論 ●小児看護学概論 ●精神看護援助論 ●在宅看護学概論 ●看護関係法規 ●基礎看護実習Ⅱ 実習 保健学コース ○保健統計学 ■学部共通科目 ●セーフティプロモーション |

その他、人間総合科学科目・学部共通科目について、詳しくは [13~16頁 参照](#)

看護学科のカリキュラムは、基礎から応用へと段階的に看護の知識・技術を習得できるように科目を配置しています。「専門支持科目」では、医療や看護の基礎となる人体の構造・機能や疾病及び治療方法、「基幹科目」では、様々な対象に合わせた援助の知識と方法、「展開科目」では、より専門的・応用的な援助方法を学びます。3年前期から4年前期の展開科目では、看護の専門分野の選択の幅を広げるために22科目の選択科目を設置し、将来への足掛かりとなるよう包括的な視点で看護を捉え、より専門性の高い知識・技術の習得を目指します。

社会は、従来の病院完結型から、医療・ケアと生活が一体化した地域完結型の体制への転換が図られています。これまで医療機関に入院して治療していた人々の多くは、住み慣れた地域において治療しつつ療養するようになり、看護職は、医療施設に限らず、在宅・地域など様々な生活の場において人々の健康に寄与することが求められます。本学科では医療機関に加え多様な施設での実習を行い、あらゆる場面で看護の専門性を発揮できる力を育てます。このような4年間の段階的・系統的な青い森のカリキュラムによって、ヒューマンケアを実践できる専門職を目指して、一歩ずつ確実に進んでいきます。

3年次 様々な健康レベル、人間の成長、発達段階に合わせた看護を学ぶ。

新生児から高齢者まで幅広い対象への看護を学びます。展開科目などにより専門的・応用的な科目を通して、看護の専門性を実感します。保健師・助産師の選抜試験があり、自分が進みたい道を決めて進みます。

4年次 包括的な視点でとらえるための看護を学ぶ。卒業研究を完成させ、就職を決め、国家試験合格を目指す。

これまで学んだ知識・技術を統合する力、展望する力・協働する力が必要になり、看護の面白さを実感します。自分の将来像が少しずつ見えてきます。



小児看護援助論

子どもの健康障害の特徴や病氣、障がいなどが子どもとその家族に及ぼす影響について学びます。それらを踏まえ、実際に関わる子どもの反応や注意点などのイメージがもてるように、モデル人形などを使い、臨場感のある演習を行います。



在宅看護実習

実際に在宅で生活している療養者の居宅に訪問し、病院ではなく「生活の場」における看護を実践します。臨床実習の前の学内実習では、実際に訪問看護ステーションの管理者から訪問看護についての講義を受け、イメージを持って実習に臨みます。



成人看護援助論Ⅲ

生涯治療が必要な疾患のある大人への看護を学びます。「患者」ではなく、「生活者」である人に対して、看護師はどのように存在したら良いのかを深く考えます。総まとめとして、糖尿病、心臓の機能が低下している人、透析の必要な人の看護の実際を発表している場面です。看護師の関わりが、その人の健康への方向に影響を及ぼす経験を通して、人間がもつ力と看護の力を感じます。



卒業研究

学生自身が研究テーマを決めて、研究計画書を作成しポスター発表をします。自分で計画し主体的に取り組むことが大切です。研究活動を続けていく基盤となる科学的思考と研究に対する基本的態度を養います。



経過別看護援助実習・発達援助実習 (病院や施設で各々2週間・合計12週間の実習) 地域看護学実習(青森市内)

地域や病院で過ごしている新生児から高齢者まで、その人の健康状態に応じた看護を実践します。



病院の中だけではなく地域住民の健やか力(ヘルスリテラシー)の向上や健康課題の解決も看護師の重要な活動の一つです。本実習では、保健センターや町会の協力のもと、実際に地域に足を運び、インタビューなどを用いた地区アセスメントや発表会の運営など、地域看護の展開に必要な技法を学びます。

看護マネジメント実習 看護統合実習 在宅看護実習 保健学コースの実習 } (選択) 助産学コースの実習 }

これまで学んだ知識・技術・態度を駆使し、夜勤体制や複数の患者受持ちなど臨床現場に近い体制で実施する「看護統合実習」や「看護マネジメント実習」、「在宅看護実習」などから、医療チームの一員としての看護実践力、リーダーシップ・マネジメントについて学びを深めます。
保健学コース・助産学コースを選択した学生はそれぞれ専門的な実習が続きます。



健康教育などの健康生活支援活動



分娩介助の演習

PHN=保健学コース(選択)必須科目 M=助産学コース(選択)必須科目

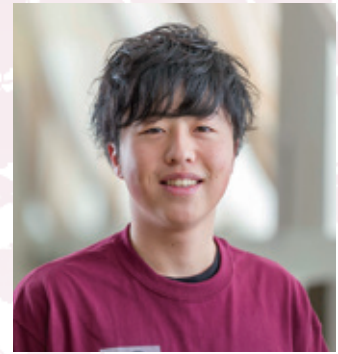
| 3年次 | |
|--|--|
| 前期 | 後期 |
| ■専門支持科目 ●母性疾病治療論 ●小児疾病治療論 ■基幹科目 ●成人看護援助論Ⅲ ●成人看護援助論Ⅳ ●実践経過別看護演習 ●母性看護援助論 ●小児看護援助論 ●在宅看護援助論Ⅰ ●地域看護学 ●経過別看護援助実習(急性期・回復期) ●実習 ●経過別看護援助実習(慢性期) ●実習 ●発達援助実習(老年看護) ●実習 ●発達援助実習(小児看護) ●実習 ●発達援助実習(母性看護) ●実習 ●発達援助実習(精神看護) ●実習 ■展開科目 ○認知症高齢者ケア ○コンプリメンタリーセラピー ○母性心理社会学 M ■学部共通科目 ●地域包括支援論 | ■基幹科目 ●在宅看護援助論Ⅱ ●災害看護学 ●経過別看護援助実習(急性期・回復期) ●実習 ●経過別看護援助実習(慢性期) ●実習 ●発達援助実習(老年看護) ●実習 ●発達援助実習(小児看護) ●実習 ●発達援助実習(母性看護) ●実習 ●発達援助実習(精神看護) ●実習 ●地域看護学実習 ●実習 ■展開科目 ○ペリネイタルケア M ○女性のヘルスケア M ○周産期医学Ⅰ M ○周産期医学Ⅱ M ○クリティカルケア ○リハビリテーションケア ○がん看護 ○スキンケア論 ○ペイシエントセーフティ ○看護倫理学 ○看護理論 ○看護教育学 ○看護情報学 ○健康政策学 PHN ●看護研究方法論 ■保健学コース ○個人・家族・集団の生活支援論 ○地域保健活動論 ■助産学コース ○地域保健活動論 ○助産学概論 ○助産診断・技術学(妊娠期) ○助産診断・技術学(産褥・新生児期) |

| 4年次 | |
|--|---|
| 前期 | 後期 |
| ■基幹科目 ●在宅看護実習 ●実習 ■展開科目 ○応用看護技術 ○応用精神看護技術 ○アドバンスト小児ヘルスケア ○実践災害看護 ○国際看護学 ●看護マネジメント論 ●看護マネジメント演習 ●看護マネジメント実習 ●実習 ●看護統合実習 ●実習 ●卒業研究 ■保健学コース ○地域保健管理論 ○地域保健継続実習 ●実習 ○地域保健展開実習 ●実習 ■助産学コース ○助産診断・技術学(分娩期) ○助産診断・技術学演習 ○助産学実習Ⅰ ●実習 ○助産学実習Ⅱ ●実習 ■学部共通科目 ●ヘルスケアマネジメント論 | ■展開科目 ●卒業研究 ■保健学コース ○地域保健研究論 ○地域保健継続実習 ●実習 ■助産学コース ○助産管理 ○助産学実習Ⅰ ●実習 ○助産学実習Ⅱ ●実習 ■学部共通科目 ●ヘルスケアマネジメント実習 ●実習 |

これからもっと必要になると思われる男性看護師！ 一緒に看護について学んでいきましょう！

看護の勉強は、身体の仕組みを学んだり、看護の歴史などを学んだりします。多くのことは高校では習わない、新しいものばかりです。他にも、入学してすぐに行われる、4学科合同のフィールドワークでは、実際に町に行き、そこに住む人たちにインタビューを行ったりもします。そこで、新しい友人ができ交友関係を広げることもできます。また、保健大学の魅力として、1年生から実習があることです。臨床の現場に行き、実際に患者さんを看護します。臨床だからこそ学べる技術や知識をたくさん得ることができます。

将来的に看護師の需要はますます増えていくと思います。その中でも、男性看護師はもっと必要になると思います。看護学科の男子は少ないかもしれませんが、みんな目標を持って日々勉強しています。みんなでテストに向けて勉強したり、一緒にご飯を食べながら笑話をしたり、多くの時間を共に過ごす仲間です。同じ志を持つ仲間との時間はたくさんの刺激を与えてくれます。この青森県立保健大学でたくさんのことを学びながら、将来社会から必要とされる人材になれるように、一緒に看護について学んでいきましょう！



青森県立八戸北高等学校 卒業
看護学科 2年
佐藤 有紀 さん

新しい命の誕生に関わる「助産師」をめざしています！



青森県立青森東高等学校 卒業
看護学科 3年
会津 花乃子 さん

弟の出産に立ち合ったことをきっかけに助産師になりたいと考えるようになりました。生まれた赤ちゃんだけではなく産前、産後の母親にも寄り添いながら、新しい命の誕生に関わっていく助産師に魅力を感じ、妊娠から出産、子育てまでをしっかり支えられるような助産師になりたいと考えています。

青森県立保健大学では、充実した学習環境のなかで、知識や技術を身に付けることができます。病院実習では、学校の講義だけでは学べないことがたくさんあり、自分の技術を磨きながら看護とは何なのかということを深く考えることができます。

また、私はスマイルサークルに所属し、ピアカウンセラーとして、中学校や地域の公共施設に出向き、思春期の人たちの抱える悩みや不安を、その人自身で克服できるよう「近い存在」となりサポートする活動をしています。こういった活動からも、人と関わる看護職に大切なことを学ぶことができている。

勉強面では大変なことも多いですが、アルバイト、サークル活動、長期休みを利用した旅行など楽しみもたくさんあり、充実した大学生活を送っています。

実習での患者さんとのふれあいが、 看護師を志すための励みになりました！

私が看護職を志したのは、病院でボランティアをした時の入院患者さんや家族の方との関わりに魅力を感じたことがきっかけです。将来は、患者さんの疾患のみならず、病気になる前から現在、そして未来というその人の人生という軌跡を理解し、患者さんやその家族に沿う看護ができる看護師を目指しています。

看護学科では、1・2年次に基礎看護学実習、3年次には7つの領域別の実習があります。3年次の領域別の実習では、小児から高齢者の方まで幅広い年齢層の患者さんと出会うことができます。健康問題を抱える方と向き合うため、コミュニケーションや看護の方向性についての悩みは尽きませんが、その分、患者さんの笑顔や「学生さんと出会えて良かったです」「ありがとう」という言葉に大きなやりがいを感じ、看護職を志して良かったと心から思える経験になりました。

保健大学では、1年次から専門性の高い学びを得ることができ、自然と自分の看護観を身に付けることができます。看護職を志す皆さんと、看護の魅力を感じながら一緒に学んでいけることを楽しみにしています。



青森県立青森西高等学校 卒業
看護学科 4年
長村 美鈴 さん

看護学科卒業生からのメッセージ！



大学生活の中でたくさんの経験をして、自分のやりたいことを見つけ、それに向かって頑張れ！

私は、現在、新生児集中治療室(NICU)に勤務しています。NICUには、1000g未満で出生した超低出生体重児や先天性疾患を持って生まれた新生児が入院しており、日々小さな命と向き合いながら、責任の重さを感じつつ、充実した日々を送っています。

私は、高校生の時に参加した看護の一日体験をきっかけに、看護師を目指すようになり、青森県立保健大学に入学しました。大学では、多くの仲間と出会い、勉強や実習だけではなく、アルバイト、ボランティア活動などたくさんの経験をすることができ、楽しい学生生活を過ごすことができました。3年生の実習では、さまざまな分野の看護を経験し、その中で、新生児や小児看護に興味を持ち、現在の病棟で働くきっかけを見つけることができました。また、保健大学では、4学科合同で行う授業もあり、医療におけるチームアプローチの重要性を学ぶことができました。実際に働いている現在も、他職種連携の重要性を強く実感しています。

これから看護師を目指す皆さんも、大学生活の中でたくさんの経験をし、自分のやりたいことをゆっくりと見つけ、仲間とともに目標に向かって頑張してほしいと思います。私も、新生児やその家族との関わりでまだまだわからないことが多く、悩むこともあります。今後も日々のケアから多くのことを吸収し、児と家族の気持ちにより添うことができる看護師を目指していきたいと思っています。

看護学科卒業生 **木村 志穂** さん

平成29年3月卒業 〈看護師〉青森県立中央病院 NICU 勤務



保健大学は、やりたいことを見つけるきっかけがたくさんある大学です！自分の目指すものを見つけよう！

私は現在、周産期センターで助産師として勤務しています。姉の出産をきっかけに助産師を目指し、助産師になることを目標に保健大学に入学しました。大学生活を振り返ると、忙しくも楽しく充実した4年間だったと感じています。

私は入学当初、助産学にしか関心を持っていませんでした。しかし4年間の実習の中で、新生児から高齢者まで沢山の方と出会い、人・健康・看護を考える視点が深まっていきました。また、看護学科の授業だけではなく他学科の授業を選択したり合同で行う授業もあり、様々な分野について学ぶことができました。最初は関心がなくても、実際に学んでみると興味を持てたり、異なる考えを知ることができました。保健大学は、やりたいことを見つけるきっかけが沢山ある大学です。

3年生後期で助産学コースの選抜試験があります。選抜試験やその後の勉強・助産学実習など大変な日々もありましたが、同じく助産師を目指す友人たちと勉強し励まし合ったりと、友人たちに支えられたことがとても良い思い出です。

実際に働く中で、産後すぐは慣れない育児を行っている方が徐々に育児技術を習得され、笑顔で退院される様子を見てやりがいを感じています。「袴田さんに色々教えてもらって、帰ってから頑張れそうです」と言って頂いたことがありました。これからは患者さんに寄り添った看護をしていけるよう、日々努力していきたいです。

これから看護職を目指す皆さん、大学では様々な人との関わりを通し、自分の目指すものを探すことができます。保健大学で深い学びを！

看護学科卒業生 **袴田 絵理花** さん

平成29年3月卒業 〈助産師〉八戸市立市民病院 新周産期センター 勤務

主な就職先 平成30年3月現在

【県名/人数】(看)=看護師、(保)=保健師、(助)=助産師

グラフの数値は就職先地域の割合

【青森県/27】(看)青森県病院局、八戸市立市民病院、弘前大学医学部附属病院、津軽保健生活協同組合 健生病院、社団法人慈恵会 青森慈恵会病院、つがる西北五広域連合 つがる総合病院、十和田市立中央病院、医療法人芙蓉会 村上病院など

(保)青森県、五戸町

(助)青森県病院局、八戸市立市民病院、弘前大学医学部附属病院

【北海道/14】(看)医療法人深仁会 手稲深仁会病院、独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター、北海道大学病院など

(保)北見市

【岩手県/7】(看)岩手県病院局、岩手医科大学附属病院など

(保)岩手県

【秋田県/2】秋田県厚生農業協同組合連合会

【宮城県/9】東北大学病院、公立刈田総合病院、独立行政法人国立病院機構 仙台医療センターなど

(保)白石市

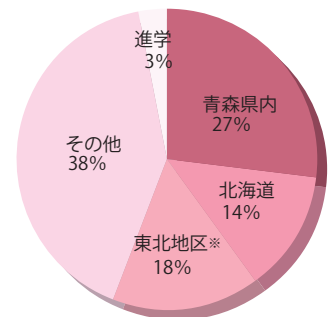
(助)スズキ記念病院

【山形県/1】(保)尾花沢市

【東京都/14】(看)公益財団法人がん研究会 有明病院、東邦大学医療センター大森病院、昭和大学病院、東京医科歯科大学附属病院など

【神奈川県/15】(看)神奈川県立こども医療センター、国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院など

(助)独立行政法人国立病院機構 横浜医療センターなど



※東北地区は青森県を除く

看護学科の就職率

就職率 **99.0%**

平成30年3月現在

国家試験合格率は毎年高い結果を出しています。就職率もそれに連動して高く、青森県内を中心に全国で多くの卒業生が看護師や保健師、助産師として現場で活躍しています。

個性溢れる先生方が、様々な分野をサポートします！

看護学科 教員紹介

・主な担当科目・主な研究テーマ・メッセージ

鳴井ひろみ

学科学長 教授

経過別看護援助論、成人看護援助論Ⅳ、がん看護、経過別看護援助実習など

- ・がん治療を受ける患者・家族に対する支援プログラムに関する研究
- ・がん患者・家族に対する緩和ケアに関する研究

人と関わることを通じて、「人を知りたい」と思う探究心を大切に、「自分らしさ」、「その人らしさ」を追究していきます。



上泉 和子

学長 教授

大学院博士前期課程、博士後期課程(保健・医療・福祉政策システム領域科目、論文指導)など

- ・看護ケアの質の評価と改善に関する研究

ヘルスリテラシーについて学び、青森県の短命県返上に向けて、一緒に取り組みましょう。



角濱 春美

健康科学部長 教授

実践基礎看護技術、ヘルスアセスメント、看護研究方法論など

- ・看護技術の効果と理論に関する研究
- ・睡眠を促す援助についての研究

看護はやりがいのある仕事であり、探究しがいのある学問だと感じています。自分を高めていこうとする前向きな皆さんとの出会いを楽しみにしています。



木村恵美子

研修科長 教授

看護学概論、実践基礎看護技術、基礎看護実習、コンプリメンタリーセラピー、看護理論など

- ・リンパ浮腫ケアのエビデンスと普及に関する研究
- ・看護技術に関する研究
- ・コンプリメンタリーセラピーに関する研究

血圧測定も大事ですが、直に手で触れて痛みやむくみを和らげるなど看護師のもつ「手の技」を学んで活かしてみませんか？



大関 信子

教授

国際看護学、グローバルヘルスなど

- ・在日外国人のケアの在り方の研究とマニュアル作成
- ・海外在留日本人母親のメンタルヘルスと関連要因、支援策の検討
- ・産後うつと関連要因の分析と支援策の検討

人を大切に思い関わっていくことが幸せの原点。看護は最高の仕事です。



大村 倫子

教授

助産学概論、助産管理、助産診断・技術学など

- ・助産師教育における分娩介助技術習得および教育方法に関する研究
- ・助産・看護歴史に関する研究

人々の健康生活を支援する「看護職」はやりがいのある職業です。看護師の学習を終えたら助産師保健師の選択肢等もあり活動範囲は多様です。一緒に学びましょう。



古川 照美

教授

ヘルスプロモーション概論、ヘルスプロモーション演習、地域看護学、家族援助論、地域保健活動論、地域保健管理論など

- ・親々の生活習慣病予防に関する研究
- ・地域における子育て・子育て支援に関する研究

地域に住む全ての人々の幸福について、私たちには何ができるのか、一緒に考えていきましょう。



反町 吉秀

教授

セーフティプロモーション、ヘルスプロモーション概論、ヘルスプロモーション演習、健康情報リテラシー、公衆衛生学など

- ・事故、暴力、自殺を減らす安全・安心な地域づくりに関する研究
- ・子ども食堂などの居場所づくり活動を通じての社会的包摂活動に関する研究

学部共通科目等での学びや課外活動を通じて、他学科の仲間と積極的に交流しましょう。そのことは、みなさんが、広い視点から「ヒューマンケア」を考え、実践できるようになる基礎を作ります。



鄭 佳紅

教授

看護マネジメント論、看護マネジメント実習、看護統合実習、ヘルスケアマネジメント実習、看護関係法規、卒業研究など

- ・看護の質に関する研究
- ・看護サービス提供のためのシステムに関する研究
- ・看護管理に関する研究
- ・看護管理学会教育に関する研究

よく学び、よく遊び、さまざまなものに興味を持ってください。



福岡裕美子

教授

老年看護学概論、認知症高齢者ケア、発達援助実習(老年看護)など

- ・介護予防活動に関する研究
- ・高齢の親と同居する未婚の子、両者が抱える問題について
- ・認知症高齢者のアクティビティケアに関する研究

高齢者が元気に自分らしく老いるために私たちができることを一緒に考えていきましょう。



細川 満子

教授

在宅看護学概論、ヘルスケアマネジメント論、在宅看護援助論Ⅰ・Ⅱ、在宅看護実習など

- ・糖尿病や認知症などの慢性疾患をもつ在宅療養者が安定した生活を送るための研究
- ・地域活動に学生が参加することの意義に関する研究

在宅看護は他の分野の看護に比べると新しい分野ですが、今とてもニーズの高い看護分野です。一緒に在宅看護を学んで、その魅力を発見しましょう!!



山田 真司

教授

調査と科学的方法、情報社会と対人援助など

- ・特定健診データを用いた生活習慣病に関する研究
- ・コミュニティの特性と災害時の情報伝達の関連に関する研究
- ・生活習慣病の発症リスク推定モデルに関する研究

ヒューマンケアについて学ぶには人間とは何かについての洞察が必要です。そのためには広く、様々なものに興味を持ってください。



大西 基喜

特任教授

公衆衛生学、医療倫理など

- ・健康行動に関する研究
- ・地域の健康状況や健康格差に関する研究
- ・医療倫理に関する研究

ヒューマンケアはとも楽しく、やりがいのある仕事です。興味深く、達成感をもって学べるよう支援していきます。



川内 規会

国際科長 准教授

人間関係とコミュニケーション、人間関係論、ラーニングスキル、人間総合科学演習、英語リーディング、メディアリテラシー、国際看護学など

- ・医療通訳に関する研究
- ・医療現場のコミュニケーションに関する研究
- ・対人コミュニケーションに関する研究

人間関係は、コミュニケーションなしには語れません。ぜひ本学で大学生のコミュニケーションを味わってください。



佐藤 愛

准教授

母性看護援助論、女性のヘルスケアなど

- ・母性看護実習での男子学生のモチベーションに関する研究
- ・女性の出産時の痛みの経験に関する研究

「看護」について、一緒に、貪欲に、楽しく学びましょう。



清水 健史

准教授

精神健康論、精神看護学概論、精神看護援助論、応用精神看護技術、発達援助実習(精神看護)など

- ・精神看護に必要な技術の開発について
- ・精神科看護師の職業的成長について

こころの健康を学び、こころのケアについて考えていきましょう。



谷川 涼子

准教授

小児看護学概論、小児看護援助論、発達援助実習(小児看護)など

- ・障がい児や家族支援に関する研究
- ・健康(生活習慣病・肥満)に関する研究

自分を信じて、一緒に楽しく学びましょう。



千葉 敦子

准教授

ヘルスプロモーション概論、ヘルスプロモーション演習、ヘルスケアマネジメント論、保健学関連科目など

- ・健康教育の波及効果に関する研究
- ・チャイルドシートの普及啓発に関する研究
- ・保健協力員の活性化に関する研究

人と人とのつながりは健康に重要な要素です。つながりを大切にしましょう。



福井 幸子

准教授

看護学概論Ⅱ、実践基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、看護過程、看護倫理学、基礎看護実習Ⅰ・Ⅱなど

- ・業務中に起こりうる感染から医療従事者を守るための研究

未知の分野に踏み込んだ時のワクワク感、実習の場で看護を実践できた時の喜び、そして目標に向かって努力した後は多くのかけがえのないものを修得できると思います。



藤本真知子

准教授

ラーニングスキル、看護学概論Ⅰ、実践基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ、看護過程、看護教育学、基礎看護実習Ⅰ・Ⅱなど

- ・看護基礎教育(看護職になるための教育)における教育方法の工夫
- ・看護教育に関わる人材育成

さまざまな授業科目や患者さんをはじめとするさまざまな人から、「教えてもらう」ではなく、「学ぶ」人になっていくことを応援します。



井澤美樹子

講師

成人看護援助論Ⅲ、経過別看護援助論、経過別看護援助実習など

- ・慢性疾患とともに生きる人の看護
- ・セルフマネジメントが必要な人の看護
- ・認知行動療法を活用した糖尿病看護

すぐに答えを求めず、物事の探求に「疑る」と看護のおもしろさがみえてきます。保健大学で豊かな経験を!!



長内志津子

講師



老年看護学概論、老年看護援助論、発達援助実習(老年看護)など

- ・皮膚を通じた援助に関する研究
- ・がん経験者と家族への支援に関する研究

大学生活を通じて得た仲間や経験は、「人生の宝物」です。保健大学で自分自身を知り、人とのかわりから学んでいきましょう！

倉内 静香

講師



健康教育論、家族援助論、地域看護学、地域保健活動論など

- ・生活習慣病予防に関する研究
- ・健康づくり啓発に関する研究

地域に住むさまざまな人たちへの支援のあり方を一緒に考えていきましょう。

小池祥太郎

講師



実践基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、ヘルスアセスメント、基礎看護実習Ⅰ・Ⅱなど

- ・看護技術にどのような力が秘められているか
- ・採血はどこからするべきなのか

看護学の習得は大変だけど楽しい！そんな体験と一緒にしましょう。

田中榮利子

講師



小児看護学概論、小児看護援助論など

- ・子どもの入院における家族の付き添いや入院環境に関する研究

幅広い視野で物事が考えられるよう、仲間と様々な体験にチャレンジし豊かな人間性を高めてください！

本間ともみ

講師



成人看護援助論Ⅱ・Ⅳ、がん看護、経過別看護援助実習など

- ・乳がん患者が再発後の生活を築いていくための取り組みの支援に関する研究

たくさんの人とふれあい、いろいろなことに興味をもって挑戦する気持ちを大切に、楽しみながら看護の学びを深めていきましょう。

松尾 泉

講師



健康教育論、在宅看護学概論、在宅看護援助論、地域看護学実習、在宅看護実習、ヘルスケアマネジメント実習など

- ・在宅療養者(家族・小児を含む)の生活課題の理解と解決に向けたアセスメントツールの開発
- ・女性の保健行動の向上に向けた健康教育プログラムの開発
- ・地域住民のHL(ヘルスリテラシー)向上・健康増進に向けた看護活動に関する研究
- ・ヒューマンケアという着い働きを選ぶあなたを応援します。本学で自分を磨き、社会を明るく照らす人になってください。

村上真須美

講師



看護マネジメント論、看護マネジメント実習、ヘルスケアマネジメント実習、災害看護学、実践災害看護、災害と地域、卒業研究、看護統合実習など

- ・看護職が仕事と生活の調和を実現しながら働くことに関する研究
- ・災害に対する看護の備えに関する研究
- ・看護の質に関する研究

「看護」は、みなさんが想像している以上に、深く広い学問です。一緒に学びましょう！

石田 徹

助教



発達援助実習(精神看護)、精神看護学概論、精神看護援助論など

- ・子どものメンタルヘルスとその家族への支援に関する研究
- ・中高生の子どもの維持・増進に関する研究

"こころ"はどこにあると思いますか？そんな見えないこころへの看護アプローチを一緒に考えていきましょう。

市川美奈子

助教



基礎看護実習Ⅰ・Ⅱ、実践基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、看護過程、看護理論など

- ・糖尿病患者の療養生活の支援に関する研究

看護の楽しさ、奥深さについて一緒に学びましょう。

伊藤 耕嗣

助教



小児看護学概論、小児看護援助論、ヘルスアセスメントⅢ、発達援助実習(小児看護)

- ・子どもの生活習慣に関わる事
- ・子どもの基礎看護技術

看護に興味を持ったきっかけを大切に、他の人に対して大切にしたい気持ちを表現できるように一緒に学んでいきましょう。

小林 昭子

助教



実践基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、基礎看護実習Ⅰ・Ⅱ、ヘルスアセスメント、看護過程演習など

- ・心臓手術を受ける高齢者の意思決定に関する研究
- ・看護職の疲労に関する研究

皆さんと一緒に学び、共に成長できる日を楽しみにしております。

佐藤しのぶ

助教



看護マネジメント論、看護マネジメント実習、看護統合実習、ヘルスケアマネジメント実習、卒業研究など

- ・ストレスやバーンアウトをうまく乗り越え、前向きに頑張れる看護職・医療職の教育や育成に関する研究

時間管理や危険回避等のマネジメントなど、学びを通して看護の力を発揮している方法を一緒に考えましょう。

千葉 武揚

助教



経過別看護援助論、成人看護援助論Ⅰなど

- ・救命救急センターにおける看護師の調整という役割に関する研究

看護はチーム！チームワークの第一歩は、相手を信頼すること。保健大学で出会った縁を大切に充実した学生生活を送れますように！

手塚祐美子

助教



発達援助実習(精神看護)、精神看護学概論、精神看護援助論、精神健康論、応用精神看護技術など

- ・精神科に勤務する看護師に関する研究
- ・地域で暮らす精神障害者に関する研究

大学時代は、勉強、遊び、その他たくさん経験できる貴重な4年間です。ぜひ、楽しみながら看護を学びましょう。

伝法谷明子

助教



経過別看護援助実習、成人看護援助論Ⅲなど

- ・がん看護に関する研究

たくさんの人との出会いから、いろんなことを吸収し、一つひとつ大切に積み重ねてください。

沼田 祐子

助教



実践基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、基礎看護実習Ⅰ・Ⅱ、看護過程など

- ・看護過程・看護診断に関する研究
- ・学生カンファレンス・グループワークに関する研究

看護について考え、語り合い、ともに看護の素晴らしさを感じましょう。

山本 明子

助教



在宅看護学概論、在宅看護援助論Ⅰ・Ⅱ、在宅看護実習など

- ・へき地の訪問看護に関する研究
- ・へき地でのテレナーシング(遠隔看護)に関する研究

色々な経験をして、広い視点をもてる人になれるよう有意義な時間を過ごしてください。

石切麻希子

助手



発達援助実習(小児看護)など

- ・子どもの健康に関する研究

大学での4年間がみなさんにとって充実したものになるように、お手伝いできたらと思っています。みなさん、一緒に学びましょう。

金野 将也

助手



経過別看護援助実習、成人看護援助論Ⅱなど

- ・緩和ケアに関する研究

「看護」とはなにか、どんなことをするのか、一緒に楽しく学んでいきましょう。

木村ゆかり

助手



発達援助実習(老年看護)、老年看護援助論など

- ・高齢者の看護に関する研究

みなさんが、いきいきと大学生活を送れるように、応援したいと思っています。

佐々木知映

助手



発達援助実習(母性看護)、助産学実習など

- ・産後長期入院が必要な褥婦の看護に関する研究

大学の4年間はとても貴重です。一緒に学びましょう。

高橋由美子

助手



発達援助実習(母性看護)、助産学実習など

- ・助産学生の実習における体験に関する研究

チャレンジ精神を大切に！たくさんの出会いそして様々なことを経験できるのが大学生です。楽しく充実した4年間が待っていますよ。ぜひ一緒に学びましょう。

外崎 裕梨

助手



経過別看護援助実習、成人看護援助論Ⅳなど

- ・がん看護に関する研究

大学生活で関わる人たちとのつながりを大切にしてください。看護の楽しさや命の尊さを一緒に学び、成長していきましょう。

理学療法学科

□在籍学生数 129名(男59名、女70名)
平成30年4月1日現在

卒業する時点で身につけている力

理学療法学科ディプロマ・ポリシー

※詳しくは12頁参照

1.自らを高める力

- 物事に対する深い理解力とグローバルな視野を持つために幅広い教養を身につけ、豊かな人間性をもとに多様な考え方を受け入れることのできる能力を有する。
- 自律して学習を組み立て、適切に探求でき、これを自己の成長につなげることができる能力を有する。
- ところを開いて相手に接し、相手を理解し、自らの考えや気持ちを適切に表現し相手に伝えることができる。

2.専門的知識に根差した実践力

- 個人とその生活環境に配慮するため、こころとからだの健康状態、心身機能、活動性、社会参加の状況を多側面から把握し、地域や対象者のニーズに応えることができるための専門的知識を有する。
- 対人関係形成のためのコミュニケーション能力を有し、理学療法の専門家としてケアを実践できる能力を持つ。
- 生命に対する深い畏敬の念と倫理観を持ち、理学療法の理念を基盤として、対象者に親身に寄り添い、専門性を科学的根拠として行動できる。

3.創造力

- 理学療法の専門性を科学的根拠として、収集した情報を統合して解釈する臨床判断能力を持ち、問題解決を図り、自ら立案した方針に基づいた実践ができる。
- 幅広い文化・教養に関心を持ち、論理的思考力、判断力、人間性に裏打ちされた創造力を有し、新たな理学療法の展開に寄与できる。
- 健康科学に有益な新たな理学療法について情報発信できるとともに、自己の成長を追求することができる。

4.統合的実践力

- 保健、医療及び福祉の多職種や多機関が連携・協調するために必要なコミュニケーション能力、メンバー・リーダーシップを持ち、健康的な地域の創造に向け、対象を中心としたチームアプローチができる実践力を持つ。

在学中、これらの力を身につけるためのカリキュラム

※詳しくは27・28頁参照



入学するまでに身につけてほしい力

理学療法学科 アドミッション・ポリシー

理学療法学科は、心身に障害を有する人や障害の発症が予測される人を対象として、人々の生活復権の援助を担う一専門分野です。理学療法士の存在意義は対象者の多様なニーズに理学療法技術を用いて応えることにあります。それゆえ理学療法士には、社会奉仕の精神、科学的探求心、責任感および主体的な問題解決能力が求められます。

- (1) 高等学校で履修する数学、理科、英語、国語などの基礎学力を有する人。
- (2) 医学や医療に対する関心が高く、特に理学療法分野で貢献したいという目的意識と情熱を持っている人。
- (3) 自己啓発に努め、幅広い教養を身につけるべく自主的に学習する人。
- (4) コミュニケーション能力を高めるよう入学後も継続して自己研鑽する人。



取得可能な資格

理学療法士

国家試験受験資格

身体に障害のある方、また、障害の発症が予測される方に対して、〈起き上がる〉〈立ち上がる〉〈歩く〉などの人の基本的な動作能力を最大限に発揮させ、心身機能の維持と向上を図ります。勤務する施設は、主に、医療機関、介護老人保健施設、介護老人福祉施設、身体障害者施設、行政機関、その他のリハビリテーション施設などです。

理学療法士の治療手段としては、基本動作能力の向上を目指す運動療法、および電気刺激や温熱などの物理的手段を用いる物理療法があります。

理学療法士は、保健医療福祉の普及および向上に寄与するリハビリテーション専門職です。

青森県立保健大学の合格率 (平成30年3月現在)

理学療法士 国家試験合格率

93.5%

全国の新卒者合格率

87.7%

理学療法学科の就職率 (平成30年3月現在)

就職率 96.8%

大学院進学を除く

卒業後活躍できる進路

- 医療機関(病院・老人保健施設など)
- 福祉施設(老人ホーム・障害児(者)施設など)
- 行政機関(市町村など)
- 企業(スポーツ施設・研究所・福祉機器メーカーなど)
- 教育機関(大学・専門学校など)

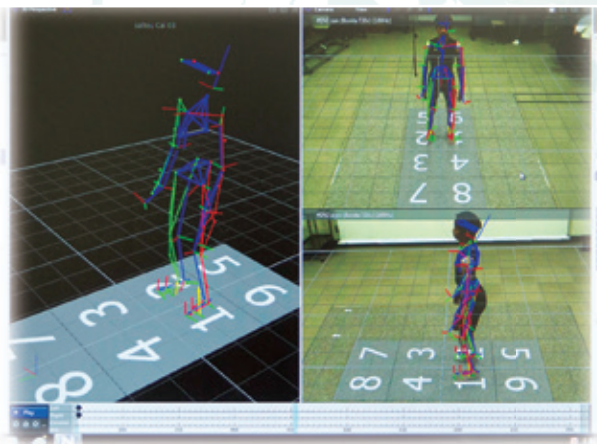
大学院等へ進学

※詳しくは63頁参照

学科の特色

最新の計測機器を備えた 学習環境での演習

三次元動作解析装置や呼吸代謝測定装置など、最新の測定機器を使って身体の生体力学的特性や生理学的現象などを学びます。理学療法の治療機器や生活環境の再現装置など、学習を支援する充実した実習室が整っています。



基礎から臨床医学、急性期から地域リハビリテーションまで、 さまざまな専門分野の豊富な教授陣

医療・福祉における幅広い分野の専門教員を配置し、充実した教員体制で丁寧な指導を行います。また、講義や実習だけでなく、大学生活や進学・就職、国家試験対策においてもきめ細かく対応します。



理学療法学科長からのメッセージ！

専門的知識・技術と豊かな人間性をもった 理学療法士の育成をめざします

高齢化社会の急速な進行に伴い、理学療法士には従来からの病院内業務のみならず、地域リハビリテーションや障害予防活動の一翼を担う存在として、福祉や介護の分野での役割も重要となってきています。そのため私たち教員は、皆さんが高齢者や弱者への思いやりの心を持って対応し、患者さんはもとより一緒に働くスタッフからも信頼される理学療法士になってほしいと願っています。

本学科では、理学療法士として社会で活躍したいという学生の皆さんの夢を実現すべく、1学年30名の少人数定員に対し17名の専任教員という充実した体制で、最新で高度な理学療法の知識と技術を身につけられるよう丁寧に指導しています。しかし信頼され、社会に貢献できる理学療法士となるには、幅広い教養と豊かな人間性を育むことも大変重要です。4年間の大学生活では、専門領域の勉強だけではなく、何にでも興味を持って積極的に色々なことを吸収して欲しいと思います。

医療・健康に貢献する仲間として、私たちと一緒に学びましょう。



理学療法学科長
神成一哉 教授

青森県出身。弘前大学医学部卒、神経内科医師。専門はパーキンソン病をはじめとする神経難病の診療と研究。2008年より本学教授。

理学療法学科での学び — 専門職への道のり —

4年間にわたって高度な基礎・臨床医学や理学療法の専門技術を系統的に学習・修得することによって、医療福祉を総合的に理解し、地域社会のニーズに応える理学療法士をめざします。

1年次

医学や理学療法学の基礎を講義と実習を通して学びます。病院・施設での理学療法の見学実習も実施します。

理学療法士に必要な解剖学や生理学といった医学の基礎知識と運動学や理学療法評価学などの理学療法学の基礎を講義や演習・実習を通して一人ひとりがしっかりと身につけます。さらに、病院・施設での理学療法の見学・体験実習を通して専門家としての芽生えを促します。



2年次

より専門的な医学的知識と理学療法の専門知識と技術を修得します。

整形外科疾患、呼吸循環器疾患、中枢神経疾患など、より専門的な医学的知識と、それぞれの疾患に即した理学療法の知識と技術を修得し、理学療法士としての基本的な能力を修得します。



物理療法学実習

物理療法は、様々な機器を用いて、温熱、寒冷、電気、超音波などの物理的なエネルギー刺激を身体に与える治療法で、実習では安全で効果的な治療方法を実践的に修得します。

基礎運動療法学実習

運動療法の基礎となる、関節可動域運動や様々な筋力増強運動、寝返りや起き上がりなどの基本動作について実習を行い、身体の動かし方を理解します。

理学療法学科のカリキュラム 卒業要件:計124単位以上 ●=必修科目 ○=選択科目

| 1年次 | | 2年次 | |
|---|--|--|--|
| 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| ■専門支持科目 ●解剖学 ●生理学 ●リハビリテーション論 ○カウンセリング概論 ■基幹科目 ●理学療法原論 ●理学療法基礎演習 ■学部共通科目 ●ヘルスプロモーション概論 ●ヘルスプロモーション演習 | ■専門支持科目 ●運動器解剖学 ●筋・骨格系解剖学実習 実習 ●運動生理学 ●運動学 ●運動学演習 ●一般臨床医学 ●内科学 ○栄養学 ■基幹科目 ●理学療法評価学 ●理学療法評価学実習 実習 ●基礎運動療法学 ●物理療法学 ●物理療法学実習 実習 ■学部共通科目 ●健康情報リテラシー | ■専門支持科目 ●解剖学総合実習 実習 ●生理学実習 実習 ●運動学実習 実習 ●病理病態学 ●整形外科学 ●脳神経外科学 ○薬理学 ■基幹科目 ●理学療法評価学演習 ●基礎運動療法学実習 実習 ●運動器障害理学療法学 ●運動器障害理学療法学実習 実習 ■展開科目 ●理学療法研究方法論 ■学部共通科目 ●職業倫理とヘルスコミュニケーション | ■専門支持科目 ●画像診断学 ●リハビリテーション医学 ●神経内科学 ○救急医学概論 ■基幹科目 ●神経障害理学療法学 ●神経障害理学療法学実習 実習 ●呼吸循環障害理学療法学 ●発達障害理学療法学 ●生活活動分析学 ●義肢装具学 ●理学療法総合治療学演習 I ■展開科目 ●臨床判断分析学 ■学部共通科目 ●セーフティプロモーション |

その他、人間総合科学科目・学部共通科目について、詳しくは 13~16頁 参照 ▶



3年次

それまで修得した知識と技術を
実際の臨床の場で、実践的に学びます。

教員の指導の下で病院・施設で実習します。それまで修得した理学療法
法の知識と技術を実際の患者・利用者の方に応用できることがこの学年
の目標となります。



生活活動分析学実習

疾患や障害に応じた日常生活活動の支援について、福祉用具の選定
などの環境調整も含めて、シミュレーションや体験などを通じて実際の
な理解を深め、修得します。

4年次

理学療法士になるための
最後の総合的な臨床実習。
卒業論文に取り組み、国家試験に挑戦です。

臨床実習では総合的な実践力を培います。また、4学科での合同実習
では多職種連携を実践的に学びます。さらに、学びの集大成として卒業
研究に取り組み、将来の臨床研究に取り組めるように学びます。そして、
国家試験合格に向けてラストスパートです。



卒業研究

学生が自ら研究課題を設定し、指導教員のもと、主体的な問題解決の
研究過程を経験します。その成果を卒業論文としてまとめます。

3年次

前期

■専門支持科目

- 精神医学 ●小児疾病治療論
- 老年医学 ○医療心理学 ○疫学

■基幹科目

- 理学療法演習 ●臨床運動学
- 呼吸循環障害理学療法実習 **実習**
- 発達障害理学療法実習 **実習**
- 生活活動分析学実習 **実習**
- 地域理学療法 ○障害予防概論
- スポーツ障害理学療法論
- 高齢障害理学療法論
- 難病のリハビリテーション

■展開科目

- 臨床評価実習

■学部共通科目

- 地域包括支援論

後期

■基幹科目

- 内部障害理学療法
- 理学療法総合治療学演習Ⅱ

■展開科目

- 総合臨床実習Ⅰ
- 総合臨床実習Ⅱ

4年次

前期

■基幹科目

- 生活環境学

■展開科目

- 総合臨床実習Ⅲ
- 卒業研究

■学部共通科目

- ヘルスマネジメント論

後期

■展開科目

- 理学療法領域特殊講義Ⅰ
- 理学療法領域特殊講義Ⅱ
- 卒業研究

■学部共通科目

- ヘルスマネジメント実習 **実習**



人とのつながりが、健康にとっても大切であることを 学生生活を経験してみてよくわかりました。

「健康」とは簡単に言えば、身体が元気なこと。でも、怪我や病気をしていなければ健康なのでしょうか。保健大学では講義内外で、学年学科を超えた沢山の友人や親しい先生との関わりがあり、人とのつながりが健康にとっても大切であることを学びました。

地元東京から遠い青森へと一人暮らしを始めて約2年、寒さや方言など慣れないことも今では日常となりました。雄大で綺麗な自然に囲まれ、優しい地元の人たちと苦楽を共に過ごす友人や先生方のおかげだと思います。

現在は臨床実習に向け、基礎知識の定着とそれらを実践に活かす学習を進めています。将来は理学療法士の資格を活かしながらJICAボランティアの参加、また、海外で多くの方の「健康」をサポートすることが目標です。そのためにも本学で多くの知識と技術はもちろん、患者さん一人ひとりの心身の健康を多角的に診て、それぞれに合った治療ができるように学びを深めたいと考えています。



青稜中学校・高等学校 卒業
理学療法学科 3年
吉川 遥 さん



課題やテストで忙しい時も 仲間や先輩、先生方に支えられて頑張っています！

本学の理学療法学科では、1年生のうちから解剖学や生理学といった理学療法士になるうえで必要な基礎を固めることができます。また、標本の観察や物理療法で用いられているホットパックやパラフィン、超音波療法などの機器を実際に使用しながら学ぶことができるため、高度な知識を得ることができます。ゼミや選択科目での授業では、他学科と交流することができ、コミュニケーション能力の向上を図られるため、臨床で必要とされる知識や技術以上のものを得ることができます。課題やテストで忙しい日もありますが、同じ学科の仲間、先輩、先生方が優しく支えてくださるので、めげずに頑張ることができます。私はサークル活動や新入生宿泊研修などで他学科・他学年との交流を通じて多くの友達や先輩ができ、新たな自分の一面に気づくことができました。専門的なことが学べるだけでなく、普段の生活も充実させることができる本学で、一緒に学生生活を楽しみましょう。



秋田県立横手城南高等学校 卒業
理学療法学科 2年

あ そ う ま い
麻 生 実 央 さん

青森県立保健大学での4年間の学びを踏まえ、 これからの自分の道を切り開いていきます。

本学では1・2年生の時点より医学的な知識や理学療法の基礎などの講義だけではなく、身体を動かしながら実践的な演習を通じて理解を深めていきます。3年生では、それまでに学んだ理学療法の知識と技術を実際に患者・利用者の方々に実践する授業もあり、医療現場の雰囲気を感じられます。3年生の冬からは本格的な半年間の臨床実習が行われます。次第に授業が難しくなっていきますが、学科の先生方は質問に納得するまで丁寧に教えてくれますし、クラスの友達同士で勉強し実技の練習をすることもあり心強い環境にあります。

私は3年の夏に参加した韓国短期留学や病院実習など青森県立保健大学ならではの経験を通じてたくさん得たものがあります。今後自分の進むべき進路について悩んでいる最中にありますが、4年間を通して得た経験を踏まえて自分と向き合っていきたいと考えています。受験勉強を頑張ってください。



青森県立青森東高等学校 卒業
理学療法学科 4年

お さ な い ゆ い
小 山 内 優 衣 さん

理学療法学科卒業生からのメッセージ！



大学生活での貴重な経験が、10年以上経った今でも向上心へのモチベーションになっています！

私は現在、理学療法士として病院に勤務しています。病状が不安定で高度治療室に入院している患者様に対する理学療法業務を中心に、科内管理業務の一部、後輩指導などを行っています。また、県理学療法士会支部学術部担当として、会員向け研修会の企画・運営を行っています。

私が大学を卒業したのは、もう10年以上も前になりますが、大学生活での経験が今の自分を支えていると感じています。志が高い同級生に恵まれ、刺激を受けながらお互いを高めあい、共に学びました。また、他学科との合同演習では、他職種のを考え方を学び、共に連携する重要性を学びました。医療資源が乏しい地域のリハビリテーションの現状を改善しようと奮闘している先生の姿を見て、人のために自分のできることをすることの素晴らしさを学びました。大学生活でのそれらの貴重な経験が、私の心の支えとなり、現在でも向上心を持ち働き続けられていることにつながっているのだと思います。

理学療法士は、患者の人生を左右するほどの責任の大きい職業であると感じています。また、日々勉強しても足りることがなく、自己研鑽を必要とする厳しい職業です。しかし、自分が学ぶこと、考えること、そして誠実に患者様と向き合うことにより、患者様やその家族に感謝される素晴らしい職業でもあると感じています。これからも、患者様に感謝される理学療法士を目指し、日々の業務に誠実に取り組みたいと考えています。

理学療法学科卒業生 **千葉 直** さん
ちば ちほ
 平成17年3月 卒業
 医療法人雄心会 青森新都市病院 勤務



理想の理学療法士像をもち続け、それを目指して青森県立保健大学で頑張ってください！

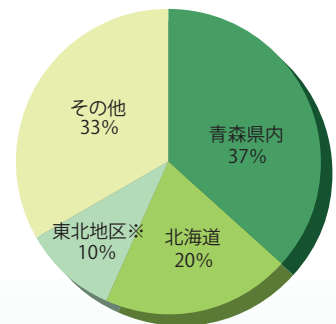
皆さんこんにちは。私は現在、介護老人保健施設に所属し、介護保険制度における理学療法業務に従事しています。実際の業務としては、主に高齢者が生活するうえで困窮する課題に対し、アプローチしていくことが多いです。高齢者を介護する家族を巻き込み、本人の運動機能に対しての訓練、適切な用具の使用法の指導、介助方法の指導、住環境の整備に至るまで、包括的にアプローチしていくことができ、それによって目の前で生活場面が改善するのを実感できるのが理学療法士の仕事のやりがいであり、日々楽しく仕事に励んでいます。

自分自身がスポーツ障害や骨折などを経験したため理学療法士と接し、自分も理学療法士を志望する学生も多いのではないのでしょうか。私も小学校時代に脚を骨折し、その際に理学療法士に出会い、自分も理学療法士として活躍したいと思ったのがきっかけでした。理想の理学療法士像をもち続けることは、大学で学ぶのには重要です。理学療法士の養成課程では基礎的な学問から臨床現場により近い内容まで学ぶ内容は多岐にわたり、大変なことも少なくありません。時には大変で心が折れそうになることもあるでしょう。そういった場合には、一度理想の理学療法士像を思い出し、目の前の課題を解消するのではなく「こういう風に理学療法士として活躍するんだ」と強い気持ちをもって学びに励みましょう。熱い思いをもった学生には熱心に指導してもらえる熱い先生ばかりです。ぜひ青森県立保健大学で理学療法の学びを深め、理想の理学療法士として活躍できるよう頑張りましょう。

理学療法学科卒業生 **佐藤 衛** さん
さとう まもる
 平成28年3月 卒業
 社会福祉法人 恵寿福祉会 青森ナースングライフ 勤務

主な就職先 平成30年3月現在 【県名/人数】

- 【青森県/11】青森県立中央病院、日本赤十字社 八戸赤十字病院、八戸市立市民病院、つがる西北五広域連合 つがる総合病院、平内町国民健康保険 平内中央病院、公益財団法人シルバークリニカル協会 メディカルコート西病院、医療法人 整友会 弘前記念病院、医療法人 雄心会 青森新都市病院、社会福祉法人 青森社会福祉振興団
- 【北海道/6】医療法人 札幌山形整形外科病院、医療法人 漢仁会 定山溪病院、医療法人 十勝勤労者医療協会、医療法人社団 進和会 旭川リハビリテーション病院、医療法人社団 悠仁会 羊ヶ丘病院整形外科、社会医療法人 北斗
- 【岩手県/1】岩手県立盛岡となん支援学校(介助員・非常勤)
- 【宮城県/1】医療法人 松田会 松田病院
- 【山形県/1】一般財団法人 三友堂病院
- 【栃木県/1】リハビリテーション花の舎病院
- 【群馬県/1】医療法人社団 慶友会 慶友整形外科病院
- 【埼玉県/3】春日部中央総合病院、医療法人社団 医風会 さいたま岩槻病院、医療法人社団 協友会 彩の国東大宮メディカルセンター
- 【千葉県/4】千葉大学医学部附属病院、医療法人社団明芳会 イムス佐原リハビリテーション病院、東京湾岸リハビリテーション病院、医療法人社団 愛友会 津田沼中央総合病院
- 【沖縄県/1】社会医療法人 仁愛会 浦添総合病院



理学療法学科の就職率

就職率 96.8%

平成30年3月現在

国家試験合格率は毎年高い結果を出しています。就職率もそれに連動して高く、多くの卒業生が現場で活躍しています。

個性溢れる先生方が、様々な分野をサポートします！

理学療法学科 教員紹介

・主な担当科目・主な研究テーマ・メッセージ

神成 一哉

学科長 教授

人体構造学、成人疾病治療論Ⅱ、一般臨床医学、画像診断学、理学療法演習、卒業研究など

- ・神経難病の診断と治療
- ・パーキンソン病に伴う運動障害の解析と治療

勉学だけでなく、友人との交流やサークル活動など、学生生活を大いに楽しんでほしいと思います。



李 相潤

准教授

解剖学、運動器解剖学、筋・骨格系解剖学実習、解剖学総合実習、生理学、運動学演習、運動学実習、人体構造学、生涯スポーツなど

- ・身体組成(筋量、脂肪、骨量)に関する研究
- ・運動負荷と生活環境を中心とする身体組成と骨密度改善に関する研究
- ・運動負荷に伴う活性酸素と骨代謝の動態に関する研究

科学的な根拠に基づいた考え方と実践を勉強しませんか。



鈴木 孝夫

副学長 附属図書館長 教授

解剖学、運動器解剖学、筋・骨格系解剖学実習、解剖学総合実習など

- ・心臓・大動脈の奇形形成因に係わるラットを用いた実験的研究
 - ・外部環境の変異が骨・筋の形態に及ぼすラットを用いた実験的研究
- 君は今、炎の中。その情熱をAUHWでさらに燃え上がらせよう！



漆畑 俊哉

講師

整形外科学、運動器障害理学療法学、運動器障害理学療法学実習、スポーツ障害理学療法論など

- ・スポーツ外傷による脳震盪と眼球運動および姿勢制御との関連
- ・頸肩腕症候群と頸部位置覚との関連
- ・足部障害害足底板・各種シューズとの関連および効果

失敗する事よりも、繰り返さないための工夫や行動が自分を成長させます。挑戦し続ける4年間を目指しましょう！



岩月 宏泰

教授

運動生理学、理学療法評価学、理学療法評価学実習、呼吸循環障害理学療法学、呼吸循環障害理学療法学実習など

- ・身体運動時の筋活動に関する研究
- 理学療法学の専門家を目指しましょう。



盛田 寛明

講師

理学療法原論、神経障害理学療法学、神経障害理学療法学実習、理学療法基礎演習、障害予防概論など

- ・地域高齢・障害者の障害構造とリハビリテーション
 - ・地域高齢・障害者および介護者の障害予防
 - ・地域リハビリテーションを提供する組織化の方法論
 - ・福祉用具開発
 - ・健康増進を目指す地域リハビリテーション支援
- 健康に留意して取り組んでください。



尾崎 勇

教授

人体機能学、生理学、内科学、神経内科学、生理学実習、理学療法演習、臨床評価実習、卒業研究など

- ・呼吸が運動系・感覚系など脳機能に及ぼす影響に関する研究
 - ・前頭葉の働き(注意や認知)に関する研究
- より良いヒューマンケアを実践するためには、自然科学、人文科学全般の知識を蓄えることが必要になります。積極的にどんなことでも吸収しましょう。



スミス マイケル

Michael Smith

助教

English 1~4, English Communication、メディアリテラシー、人間総合科学演習

- ・I'm interested in thinking about the history, purpose, and future of English language education in Japan.
- ・Let's learn together. Let's laugh together. Let's care for each other. If we can do these things, we will find success!



佐藤 秀一

教授

運動学、臨床運動学、臨床判断分析学、理学療法研究方法論など

- ・三次元動作解析装置を用いた運動計測により、人の動きをコンピュータ上に再現して、運動特性を分析する研究
 - ・生体力学の観点から運動機能を分析し、感性評価と関連づける研究
- 青森発！知識と技術にヒトの神秘さと不思議さをブレンドした理学療法を、ともに築きましょう。



長門 五城

助教

生活活動分析学、生活活動分析学実習、発達障害理学療法学、発達障害理学療法学実習、運動器障害理学療法学、運動器障害理学療法学実習など

- ・車いすに関する座り方等の研究

遊びにも学びにも手抜きは禁物です。自分で考え、実践できる力を身につけましょう。



渡部 一郎

教授

リハビリテーション論、リハビリテーション医学、老年医学、義肢装具学など

- ・物理療法の効果、温泉医学、リウマチの病態、運動療法と末梢循環の研究
- 新世代のチーム医療に貢献しましょう。



新岡 大和

助教

地域理学療法学、生活環境学、神経障害理学療法学、整形外科学、生活活動分析学実習など

- ・高齢者における生命・生活の質向上に関する研究
- ・高齢障がい者の生活に関する研究

理学療法はやりがいに満ちています。誰かに貢献できる喜びを感じられるように共に学びましょう。“一燈照隅 万燈照国”



川口 徹

准教授

基礎運動療法学、基礎運動療法学実習、発達障害理学療法学、発達障害理学療法学実習、高齢障害理学療法論など

- ・介護保険下での理学療法に関する研究
- ・理学療法等の地域展開に関する研究

未来への投資と思って理学療法を究めてください。



橋本 淳一

助教

物理療法学、運動学実習、運動学演習、神経障害理学療法学、理学療法評価学実習、生活活動分析学実習など

- ・健康と生活の質向上に関する研究
- ・運動が生体にも与える影響について

できるだけ多くのことを経験して、人間性や感受性を高めていってください。



勘林 秀行

准教授

ヘルスプロモーション概論、地域理学療法学、物理療法学、物理療法学実習、総合臨床実習など

- ・地域リハビリテーションにおける理学療法士の役割に関する研究
- ・理学療法学科学生の臨床実習中のメンタルヘルスに関する研究

みなさんの熱意に応えます。一緒に楽しく学びましょう。



福島 真人

助教

発達障害理学療法学、発達障害理学療法学実習、基礎運動療法学、基礎運動療法学実習など

- ・障がいを持つ子どもたちのリハビリテーションと教育についての研究

大学生活には様々なチャンスが転がっています。そのチャンスを掴めるよう、共にがんばりましょう。



藤田智香子

准教授

生活活動分析学、生活活動分析学実習、生活環境学、臨床評価実習など

- ・理学療法学科学生の実践能力向上に関する研究

四季折々の自然を堪能できる青森で、勉学に励み、人間的成長を育みましょう！一生忘れられない充実した大学生活があなたを待っています。



木村 文佳

助手

生理学実習、解剖学総合実習など

- ・姿勢制御および運動生理学に関する研究

地域に根ざし、必要とされる理学療法の実践に向けて、ともに青森の地で学びましょう。



社会福祉学科

□在籍学生数 223名(男47名、女176名)
平成30年4月1日現在

卒業する時点で身につけている力

社会福祉学科ディプロマ・ポリシー

※詳しくは12頁参照▶

1.自らを高める力

- 物事に対する深い理解力とグローバルな視野を持つために幅広い教養を身につけ、豊かな人間性をもとに多様な考え方を受け入れることのできる能力を有する。
- 自律して学習を組み立て、適切に探求でき、これを自己の成長につなげることができる能力を有する。
- こころを開いて相手に接し、相手を理解し、自らの考えや気持ちを適切に表現し相手に伝えることができる。

2.専門的知識に根差した実践力

- 個人と社会について専門的知識を習得し、理論と実践から成る社会福祉の構造と機能をその理念とともに理解する。地域社会の特性や課題を理解し、人々や地域のニーズを的確に把握できる。
- 生活支援に関する制度や政策を分析すること、ならびに援助技術や適用を主体的に判断できる能力を持つ。
- 人間の尊厳に対する理解と人権を尊重・擁護する倫理観を持ち、対象者の自己決定を尊重した支援を実践できる。

3.創造力

- 対象者の生活の質の向上に向けて、ソーシャルワーク実践の専門的知識と技術を応用する。
- 多様な福祉課題に対応できる論理的思考と問題解決能力を持ち、地域社会で生じる新たな福祉ニーズを自ら発見し、政策について考察できる。
- 社会福祉学に寄与する知見を発信し、ソーシャルワークの発展に貢献できる。

4.統合的実践力

- 保健、医療及び福祉の多職種や多機関が連携・協調するために必要なコミュニケーション能力、メンバー・リーダーシップを持ち、健康的な地域の創造に向け、対象を中心としたチームアプローチができる実践力を持つ。

在学中、これらの力を身につけるためのカリキュラム

※詳しくは35・36頁参照▶



入学するまでに身につけてほしい力

社会福祉学科 アドミッション・ポリシー

社会福祉学科は、現代社会の動向を的確に認識し、生活主体者としての人間の尊厳を深く理解し、地域社会の中で様々な生活上の困難を抱えた人に対して支援できる高度な専門職としての人材を育成する使命を持つものであり、そのために社会福祉に対する情熱を持ち、他者の立場を考え、約束を守り、相手とコミュニケーションのとれる学生を求めます。

- (1) 高等学校で履修する国語、地歴・公民などの内容が、大学の授業の土台になるためにしっかりと学習されている人。
- (2) 仲間や他人、親、兄弟姉妹などとの人間関係において常に相手の立場を考えられるような柔軟性・社会性を有している人。
- (3) 人間の尊厳を深く理解し、様々な生活困難を抱えた人に対して支援する立場の人間として、相手と友好性・協調性を持って信頼関係を結べる人。
- (4) 自分の意見を表明しながら、相手との約束をしっかりと守り、自分の考えや行動に責任を持てる人。
- (5) 周囲の人と良好な関係を保つために、コミュニケーションをとることができ、状況認識ができる人。



取得可能な資格

社会福祉士

国家試験受験資格

専門的知識・技術をもって、福祉に関する相談に応じ、助言・指導・福祉サービスを提供します。また、医師や保健医療サービス提供者との連絡や調整等の援助も行います。

精神保健福祉士

国家試験受験資格

精神保健福祉領域のソーシャルワーカーの国家資格です。業務の具体的な内容は社会福祉士と共通しています。特に精神障害者の社会復帰について、相談・援助を行います。

※精神保健福祉士は選択制となっており、定員は概ね20名です。

青森県立保健大学の合格率(平成30年3月)

社会福祉士 国家試験合格率

79.2%

全国の新卒者合格率
(福祉系大学等分)
54.6%

新卒受験者50名以上の全国(54校中)

第2位

精神保健福祉士 国家試験合格率

100%

全国の新卒者合格率
(福祉系大学等分)
76.9%

社会福祉学科の就職率

(平成30年3月現在)

就職率

98.1%

卒業後活躍できる進路

社会福祉士として

- 高齢者施設(相談職) ■障害者支援施設(相談職・支援職)
- 病院(相談職) ■児童福祉施設(指導員)

精神保健福祉士として

- 精神科病院(相談職) ■障害者支援施設(相談職)

公務員として

県・市町村の福祉事務所、児童相談所 など

大学院等へ進学

※詳しくは63頁参照▶

学科の特色

実践と理論を統合した高度な専門教育

社会福祉の専門職には、生活に困難を抱えている方々の一人ひとりに対する個別の理解が求められます。これに加えて、人々の暮らしや経済社会の動向と関連させつつ、政策・制度のあり方を考えられるような視野の広さと分析力が求められます。

本学では、社会福祉の幅広い対象について、講義で理論を学び、演習では福祉サービスを提供する技術(ソーシャルワーク)の体得を目指します。1年次から配置されている実習と講義を通して、より専門的な知識と判断力を高め、実践と理論を統合した高度な専門教育を目指します。



少人数・参加型教育の充実と 学生の力を伸ばす丁寧な指導

社会福祉の専門職に就くためには、知識や援助の技術を身につけるだけでは足りません。実践者としての資質も求められます。支援の対象となる方から学ぶ姿勢を常に持つことが重要です。援助は、人柄、態度、行為、マナーを通して初めて相手に伝わります。「他者をいかに援助するか」は、福祉を学ぶ者の「自己理解」を深める事にもなります。

本学では、1年次から演習や実習を通して、対人援助に不可欠なコミュニケーション能力、生活問題を抱えた人々に対する共感能力、多様な問題に対応できる問題解決能力と行動力を獲得することを目指します。これに向けて、少人数・参加型教育の科目が充実しています。

学生のモチベーションが高く お互いに切磋琢磨できる環境

本学の国家試験合格率は、毎年、全国トップレベルの高さを誇っています。社会福祉の専門職に対する社会のニーズはますます高まっており、本学への求人件数も年々、増加しています。

本学の合格率の高さ、就職率の高さには、学生一人ひとりの目的意識やモチベーションの高さが影響していることに加えて、本学の「実践と理論を統合した教育」、「少人数教育」などの効果が合格率に大きく反映しています。



社会福祉学科長からのメッセージ！

社会に貢献できる ソーシャルワーカーを目指して

日本は人口減少社会を迎えた中で、近年、少子高齢化の進行、人口の地域偏在化、所得格差の拡大等の課題を抱えています。このような状況に適応した社会システムづくりが求められており、社会保障制度の見直しをはじめ、社会福祉の充実が益々必要となっています。

現在、社会福祉の専門職である社会福祉士と精神保健福祉士の重要性が増しています。これらの専門家はソーシャルワーカーとよばれ、児童や高齢者、障害者等を対象として、福祉施設や事業所、医療機関、社会福祉協議会、行政機関、刑務所、保護観察所等様々な場所で活躍しています。

本学の社会福祉学科では、実践力のあるソーシャルワーカーの養成に力を入れています。支援を必要としている人とその人を取り巻く環境に着目し、ミクロからマクロな領域の知見を踏まえながら、個人への働きかけのみならず施策への働きかけまでを実践的に学びます。国家試験の合格率もトップクラスを維持し、卒業生の多くが社会福祉、医療の実践現場で活躍しています。本学では、卒業後に専門性を高め、研究を深める大学院も設置しています。

社会問題に挑戦し、その解決に向け、社会に貢献できるソーシャルワーカーを目指して、ともに学びませんか。



社会福祉学科長
大山 博史 教授

神奈川県出身。精神科医。立命館大学産業社会学部を経て、現職。研究分野は精神保健福祉、自殺予防。国際自殺予防連盟の高齢者自殺International Research Groupメンバー。

社会福祉学科での学び

— 専門職への道のり —

1年次 社会福祉の基礎を身につけ、教養を深める。

1年次は社会福祉を学ぶための基礎的な科目(専門支持科目)が多く配置されています。そのため、必修の科目が多く占めます。また、他学科との合同科目を通して、「健康科学」や「保健医療福祉」を捉える視点を学びます。また1年次から見学・体験型実習や福祉施設の職員の講義などがあり、福祉への関心を広げていきます。

2年次 社会福祉の専門的知識を獲得し、現場を体験する。

2年次からは専門的な科目が増え(基幹科目)、選択科目が多くなります。福祉に関するさまざまな分野を学ぶことで、自分の関心のある分野を探っていきます。また、2年次の実習では、主に福祉事務所などの社会福祉機関・団体で1週間程度の実習を行います。利用者の状況や生活課題の理解をより深めていきます。



社会福祉学概論Ⅰ・Ⅱ

1年次

社会福祉の思想・理念や発展過程を学び、理論と実践を視野に入れた「社会福祉学」の基礎を身につける科目です。社会福祉の役割はあらゆる人々の人権を保障することにあります。社会福祉を学ぶ意味と意義について考えていきます。



児童福祉論Ⅰ・Ⅱ

2年次

Iでは、子どもの権利とともに、子ども家庭福祉の理念や法体系、施策について、その概要を学んでいきます。IIではIで学んだことを基に、様々な問題に対応する子ども・家庭福祉施策についてその現状と課題を理解します。



レクリエーション活動援助法

2年次

福祉施設では、利用者の生活を豊かにするために様々なレクリエーションが提供されています。演習やグループワークにより、対象者の理解や援助者の役割のほか、レクリエーションの意義を理解するために人間の尊厳などを学びます。

社会福祉学科のカリキュラム

卒業要件:計124単位以上 ●=必修科目 ○=選択科目

| 1年次 | | 2年次 | |
|--|---|---|---|
| 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| ■専門支持科目 ●社会学◎ ●社会福祉基礎実習Ⅰ(実習) ○法学 ■基幹科目 ●社会福祉学概論Ⅰ◎ ●ソーシャルワーク論Ⅰ◎ ●地域福祉の理論と方法Ⅰ◎ ●ソーシャルワーク演習Ⅰ◎ ■学部共通科目 ●ヘルスプロモーション概論 ●ヘルスプロモーション演習 | ■専門支持科目 ●心理学◎ ●社会福祉基礎実習Ⅰ(実習) ○家族社会学 ○社会福祉法制 ○民法 ○ボランティア活動支援論 ■基幹科目 ●社会福祉学概論Ⅱ◎ ●ソーシャルワーク論Ⅱ◎ ●地域福祉の理論と方法Ⅱ◎ ●ソーシャルワーク演習Ⅰ◎ ○介護福祉論 ■学部共通科目 ●健康情報リテラシー | ■専門支持科目 ●人体の構造と機能及び疾病◎ ○生涯発達心理学 ○行政法 ○レクリエーション活動援助法 ○社会福祉基礎実習Ⅱ(実習) ○社会福祉基礎実習指導(実習) ■基幹科目 ●社会保障論Ⅰ◎ ●高齢者福祉論Ⅰ◎ ●障害者福祉論Ⅰ◎ ○女性福祉論 ○介護技術論 ○精神医学Ⅰ◎ ○精神保健福祉相談援助の基盤(専門)◎ ○ソーシャルワーク演習Ⅱ◎ ■学部共通科目 ●職業倫理とヘルスコミュニケーション | ■専門支持科目 ○リハビリテーション論 ○社会法 ○社会福祉基礎実習Ⅱ(実習) ○社会福祉基礎実習指導(実習) ■基幹科目 ●社会保障論Ⅱ◎ ●高齢者福祉論Ⅱ◎ ○ソーシャルワーク論Ⅳ◎ ○児童福祉論Ⅱ ○障害者福祉論Ⅱ ○臨床心理学 ○精神医学Ⅱ◎ ○保健医療サービス論◎ ○精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ◎ ○ソーシャルワーク演習Ⅱ◎ ■学部共通科目 ●セーフティプロモーション |

その他、人間総合科学科目・学部共通科目について、詳しくは 13~16頁 参照▶

社会福祉士・精神保健福祉士は、身体や精神の障害、あるいは環境上の理由によって、生活上の困難に直面している人々の生活の安定を図るため、相談・援助を行います。社会福祉学科では、社会福祉の基礎知識、専門的知識・技術および職業上の価値・倫理の体系的修得を幹としながら、実践力を高めていきます。

具体的には、社会福祉学科の科目を「専門支持科目」「基幹科目」「展開科目」の3つの群に分け、これを段階的に配置することで、基礎からより専門的

な知識・技術へと学びを深めていきます。支援の対象者(ミクロ)だけでなく、地域(メゾ)、社会全体(マクロ)からの影響について理解・検討する力を育てるとともに、権利擁護の視点と倫理的判断能力を培います。さらに、社会福祉領域における新たな課題を見出し、その解決を図るための論理的思考と研究能力を養います。

3年次 社会福祉の専門性を深め、実践を通して理論と知識を統合する。

3年次には、2年次までの学習を踏まえて応用的な内容に入っていきます(展開科目)。社会福祉士の資格取得に必要な約4週間の「ソーシャルワーク実習」では、1～3年次までの科目の知識を実際の現場で活かしながら、実践力を身につけます。また、3年次からは、「社会福祉研究演習Ⅰ」が始まります。各教員のゼミから自分の興味のある分野を選び、問題意識を醸成させ、自ら探究していく方法を学びます。公務員を目指す学生は、3年次から準備を始めています。



ソーシャルワーク演習Ⅰ～Ⅲ

1年次～3年次

社会福祉の援助方法について、知識と実践を学ぶ演習科目です。少人数で、事例やロールプレイ(役割演技)などを用いながら、ソーシャルワークの展開過程に応じた面接技法や評価方法を学びます。

4年次 社会福祉・精神保健福祉の課題を解決するため、学びを応用し、研究する。

授業が少なくなり、卒業論文のための調査や文章作成などに時間を費やしていきます。また、就職活動などで忙しくなる時期です。福祉職の求人は秋以降に増えていきます。これらと並行して、国家試験の勉強もコツコツと積み重ねていくことが大切です。精神保健福祉士の資格取得を目指す学生は、4年次にも約4週間の実習があります。3年次までの知識と体験を応用しながら精神障害者に特化して支援を具体的に考えていくことの面白さがあります。



社会福祉研究演習Ⅰ・Ⅱ

3年次～4年次

3～4年次を通し、社会福祉問題の実態の把握や分析方法を学び、問題意識の醸成や解決手段としての知的研究能力を養います。各教員は、それぞれの専門分野や視点から、演習を展開していきます。



ソーシャルワーク実習指導

3年次

「ソーシャルワーク実習」における事前、事後の指導を通じて、実習の課題、計画、問題意識を明確にします。福祉専門職としての感性、自己理解、利用者との援助関係の持ち方などについて指導を受けます。(写真は実習内容の発表会の様子)



◎ =社会福祉士指定科目 ○ =精神保健福祉士指定科目

| 3年次 | | 4年次 | | |
|--|---|--|--|---|
| 前期 | 後期 | 通年 | | |
| <p>■基幹科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ●就労支援論◎ ●社会福祉研究演習Ⅰ ○医療福祉論◎ ○公的扶助論Ⅰ◎◎ ○社会調査概論◎ ○精神保健◎ ○精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ◎ ○ソーシャルワーク演習Ⅲ◎◎ ○ソーシャルワーク実習◎◎実習 ○ソーシャルワーク実習指導◎◎実習 <p>■展開科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家族福祉論◎ ○福祉行政と福祉計画◎◎ ○司法福祉論◎ ○ソーシャルワーク論Ⅴ◎ ○精神保健福祉論Ⅰ◎◎ ○精神保健福祉援助演習Ⅰ◎ <p>■学部共通科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域包括支援論 | <p>■基幹科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉研究演習Ⅰ◎ ○公的扶助論Ⅱ ○ソーシャルワーク演習Ⅲ◎◎ ○ソーシャルワーク実習◎◎実習 ○ソーシャルワーク実習指導◎◎実習 <p>■展開科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ●権利擁護と成年後見制度◎◎ ○社会福祉施設経営論◎ ○更生保護制度論◎ ○国際福祉論 ○ソーシャルワーク論Ⅵ◎ ○精神保健福祉論Ⅱ◎ ○精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ◎ ○精神保健福祉援助演習Ⅰ◎ ○精神保健福祉援助実習Ⅰ◎◎実習 ○精神保健福祉援助実習指導Ⅰ◎◎実習 | <p>■展開科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉研究演習Ⅱ ○精神保健福祉援助演習Ⅱ◎◎ ○精神保健福祉援助実習Ⅱ◎◎実習 ○精神保健福祉援助実習指導Ⅱ◎◎実習 ●卒業研究 | <p>■学部共通科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ヘルスケアマネジメント論 | <p>■学部共通科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ヘルスケアマネジメント実習◎◎実習 |
| | | 前期 | 後期 | |

「少人数だからこそ結束が強い」ことがこの大学のいいところだと思います！

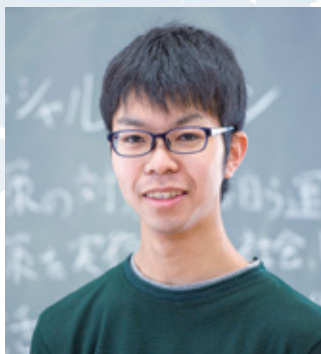
高校時代は将来何がしたいかを迷っていました。高校2年の時に、青森県立保健大学との高大連携事業に参加し、そこで社会福祉学科の科目を受講しました。専門的な内容を先生が分かりやすく教えてください、また大学の雰囲気も体験できるので、高校生だった私にはとても実のある体験でした。しかし、その時に本学への進学を決めたわけではありません。

大学を決める時に家族から社会福祉学科への進学を勧められ、迷いがありながらも進路を決めました。試験対策で改めて社会福祉に関する本や番組を見ているうちに、もっと学びたいと思うようになりました。

入学後、1年次は講義で社会福祉の基本的な法律や制度、歴史などを学びました。また、施設への見学実習で現場の様子にも触れるので、さらに学びへの意欲につながると思います。

私は現在、三味線サークルに所属しており、大会に参加したり施設への慰問演奏に行ったりと貴重な経験をさせていた

いています。困ったことがあっても友達や先輩方、先生方に気軽に相談することができます。他の大学と比べて少人数だからこそ周りとの結びつきが強いことがこの大学の良いところだと思います。



青森県立青森東高等学校 卒業
社会福祉学科 2年

成田 陸斗 さん

進路に悩んだ時、相談できる先生方がたくさんいます！

私は当初、子どもに対する生活支援に関心があり本学を受験しました。しかし、現在では福祉分野ではなく公務員の行政職を目指して、大学の講義と公務員試験の勉強を並行して取り組んでいます。公務員試験と社会福祉士の取得の両方を目指す学生が多い中、私が社会福祉士の資格を取らないと決めたのは2年後期の頃です。

はじめは社会福祉学科に入学したのに資格を取らず卒業してもいいのだろうか悩み、国家試験を受ける友人や応援してくれている両親に打ち明けることができませんでした。しかし、先生や友人に相談することで、福祉分野以外の進路を選んだ先輩方がいること、最終的に福祉の仕事を選ばなくても勉強してきたことを生かす機会はたくさんあることを知り、とても安心しました。人と関わるということはどこかで福祉とつながっていますし、国家試験のためではなくても自分や身の回りの人を支えたりすることができます。そして、どんな仕事に就くにしても学んだことを生かしていけるのが、本学科の魅力であると思っています。

入学後、もし自分の進みたい道が変わったとしても遅いなどということは決してありません。話を聞いてくださる先生方もたくさんいらっしゃいます。悔いのないようにこれからも行動に移していきたいです。



岩手県立黒沢尻北高等学校 卒業
社会福祉学科 3年

金矢 笑 さん



幅広い領域で活躍できる社会福祉士を目指しています！



私は高校1年生の時、進路指導の一環で本学を訪れ、社会福祉士という資格を知りました。幅広い領域での取り組みや実践をしている点に魅力を感じ、社会福祉士を目指したいと考え始めました。その後、オープンキャンパスにも参加し、4学科連携科目で各専門職の見地からの事例検討と保健・医療・福祉の連携(チームアプローチ)を学べることを知り、本学への進学を決めました。

社会福祉学科には、実際に福祉機関・施設や病院へ行き、現場で働く福祉従事者の業務を学べる社会福祉基礎実習やソーシャルワーク実習があります。私も24日間の実習をさせて頂き、利用者主体の援助を展開するために必要な専門職としての倫理や価値観を学び、実際に利用者に対して援助を実践してみることで、社会福祉士として働く意義や目的をより強く意識するきっかけとすることができました。

大学生活は友人や先生方といった周囲の環境からの刺激を受け、自分の成長を感じることでできる毎日です。今後は利用者主体の支援の在り方などを考えながら、高い専門性を求めて、社会福祉士の資格取得に向けて勉強をしていきたいと考えています。



青森県立木造高等学校 卒業
社会福祉学科 4年
木村 優太 さん

社会福祉学科卒業生からのメッセージ！



精神保健福祉士として勤務して、大学での学びや経験が生きていると感じました！

近所の一人暮らしのおばあちゃん達と関わる中で、地域で暮らす高齢者の生活を支える社会福祉士という職種に関心を持ったのが高校生の頃です。青森県立保健大学であれば、生まれ育った青森の社会福祉に貢献することができると考え、進学を決めました。

講義だけでなく、演習を多く取り入れたカリキュラムでは、自分の考えを伝える・相手の意見に耳を傾ける場面が多くあります。能動的に学ぶことができる環境は、青森県立保健大学の大きな魅力だと思います。学科が異なる友人やすでに働いている先輩との交流を通じて、自分の学びたい視野が新たに広がり、精神保健福祉士という職種にも興味を持つ、ひとつのきっかけになりました。

大学生活で一番印象に残っているのは実習です。医療機関、福祉施設、行政機関などでの実習は、普段の授業では学ぶことができない、現場ならではの視点に気付くことができます。実習での学びが、実際に働いてみて、自分の考えの基礎となっていることを実感します。

現在、私は精神科病院の精神保健福祉士として勤務し、患者さんやご家族、関係機関からの各種相談や連絡調整、入院患者さんの退院支援などの業務を主に担当しています。様々なケースに関わる中で、他職種と連携する必要性、相手と一緒に考える過程の重要性を感じ、改めて大学時代に悩んだ経験がいきていると思います。これからも、先輩方や多職種、関係機関の方々、関わる全ての方々から日々勉強させていただき、本人中心の支援を行ってまいります。

社会福祉学科卒業生 **加藤 友希** さん
 平成29年3月 卒業
 医療法人芙蓉会 芙蓉会病院
 地域医療連携室 勤務



地域住民の方々と一緒に、街の福祉を考えられることにやりがいを感じています！

大学時代は多くのことを学び、自分が大きく成長できた4年間でした。初めての1人暮らし、社会福祉という範囲の広い専門分野の勉強、同じ福祉を志した仲間との交流など毎日が新鮮で楽しく濃密な日々で、あっという間に卒業の日を迎えた記憶があります。青森県立保健大学の授業は講義や演習の他に、福祉施設等での実習や他学科との合同の授業もあり、他職種間の連携や福祉の現場で働く自分についてイメージすることができました。

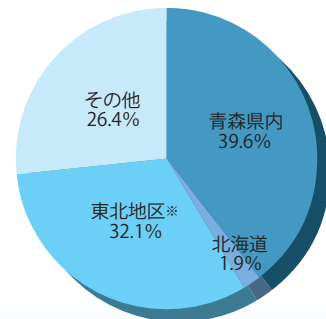
国家試験や卒業論文、就職活動で多忙となる大学4年生を迎える年には東日本大震災が発生しました。社会が混乱している中ででの活動となりましたが、教員をはじめとした大学側のサポートや気軽に悩みを相談できた仲間のおかげで資格取得、就職に結びつけることができました。本当に感謝しています。

卒業後は在宅介護支援センターで3年間働いたのち、自身の実習先でもあった八戸市社会福祉協議会へ入職しました。地域に根ざした多種多様な事業を行っており、現在はボランティアセンターや一人暮らし高齢者等の見守り事業などに携わっています。地域住民や民生委員、行政、福祉施設、関係機関などの多くの人達と連携する仕事で大変な面もありますが、地域住民と一緒に八戸という街のことを考えられることにやりがいを感じています。これからも地域住民の声一つひとつに耳を傾け、より良い街作り少しでも貢献していきたいと思っています。

社会福祉学科卒業生 **松井 淳平** さん
 平成24年3月 卒業
 社会福祉法人 八戸市社会福祉協議会 地域福祉課 勤務

主な就職先 平成30年3月現在【職種/人数】

- 【公務員(福祉職)/4】青森県庁(青森県)、北部上北広域事務組合 公立野辺地病院(青森県)
- 【公務員(警察)/1】秋田県警察(秋田県)
- 【福祉専門職(相談職)/25】青森保健生活協同組合 あおもり協立病院(青森県)、津軽保健生活協同組合(青森県)、医療法人 杏林会(青森県)、医療法人 弘愛会 弘愛会病院(青森県)、青森市社会福祉協議会(青森県)、田子町社会福祉協議会(青森県)、社会福祉法人 伸康会 弘前ビジネスアカデミー(青森県)、社会福祉法人 十和田湖会(青森県)、イムスグループ医療法人財団明理会 西仙台病院(宮城県)、医療法人 松田会(宮城県)、社会福祉法人湖星会 特別養護老人ホーム ラスール泉(宮城県)、医療法人 三愛会 秋田東病院(秋田県)、特定医療法人 荘和会 菅原病院(秋田県)、医療法人 沖繩徳洲会 千葉徳洲会病院(千葉県)、(特定)医療法人社団 薫風会山田病院(東京都)、医療法人社団 青葉会 世田谷神経内科病院(東京都)、医療法人社団明芳会 介護老人保健施設 板橋ロイヤルケアセンター(東京都)、医療法人 五星会 菊菜記念病院(神奈川県)、医療法人 三星会 大倉記念病院(神奈川県)、株式会社 ツクイ(神奈川県)、医療法人 十全会 聖明病院(静岡県)
- 【福祉専門職(支援職)/14】社会福祉法人 平館福祉会(青森県)、社会福祉法人 ぶさん会 柿の木苑(青森県)、社会福祉法人 メープル 特別養護老人ホーム メープル(青森県)、社会福祉法人 あしの会(青森県)、社会福祉法人愛護会(岩手県)、清山会医療福祉グループ(宮城県)、社会福祉法人 千代福祉会(宮城県)、独立行政法人国立病院機構 北海道東北グループ(宮城県)、医療法人財団 良心会 青柳成木台病院(東京都)、社会福祉法人 原町成年寮(東京都)、社会福祉法人 育桜福祉会(神奈川県)、社会福祉法人 川崎聖福福祉会(神奈川県)、社会福祉法人 翔の会(神奈川県)
- 【福祉専門職(一般職)/3】青森県社会福祉協議会(青森県)、弘前市社会福祉協議会(青森県)
- 【福祉専門職(その他)/1】特別養護老人ホーム とかみ共生苑(山形県)
- 【一般企業/5】株式会社れんせい(北海道)、株式会社 寺岡システム(宮城県)、日本生命保険相互会社(宮城県)、株式会社 荘内銀行(山形県)、有限会社 富士荘(神奈川県)



社会福祉学科の就職率

就職率 98.1%

平成30年3月現在

国家試験合格率は毎年高い結果を出しています。就職率もそれに連動して高く、卒業生は青森県内を中心に全国で社会福祉士や精神保健福祉士として現場で活躍しています。

個性溢れる先生方が、様々な分野をサポートします！

社会福祉学科 教員紹介

・主な担当科目・主な研究テーマ・メッセージ

大山 博史

学科長 教授

精神医学、精神保健、人体の構造と機能及び疾病、精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱなど

- ・自殺予防に関する研究
- ・精神障害者リハビリテーションに関する研究

社会、生活および個人の関係性を見出し、人の尊厳を守る人材になってください。個人の心の健康と、集団や地域のメンタルヘルスについて学びましょう。



杉山 克己

学生部長 教授

ヘルスプロモーション概論、ヘルスプロモーション演習、ソーシャルワーク実習、ソーシャルワーク実習指導、保健医療サービス論など

- ・レジデンシャル・ソーシャルワークのインディケータ－開発に関する研究
- ・ソーシャルワーカー養成教育に関する研究など

分かり急がず、さりとて分かることを諦めず、調べる労を厭わず、考える時間を惜しまず、そして最も重要なこと、学ぶことに楽しみを見いだせたら、大学生活はハッピーです。



出雲 祐二

教授

国際福祉論、社会福祉研究演習Ⅱなど

- ・高齢者福祉・介護保険に関する研究
- ・高齢者の要介護状態への経年変化に関する研究
- ・家族介護に関する研究
- ・フランス社会福祉政策に関する研究

現実にはね返され、現実には打ちのめされた人々を支援するのが社会福祉の仕事です。社会福祉の勉強と仕事を通して、リアルで働き動かされるような感動をしてみませんか。



大竹 昭裕

教授

法学、日本国憲法、行政法、社会法、社会福祉法制、権利擁護と成年後見制度、社会生活と法、社会福祉研究演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究

- ・人権保障に関する憲法判例の分析
- ・日本憲法学説史の研究

皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。



小山内豊彦

特任教授

人間と歴史、人間と文学、青森の風土と生活など

- ・「国家」と「地方」の関係に係る歴史研究
- ・健康と経済の関係性に関する研究

青森県は「ワンダーランド」、その素晴らしさを一緒に学びましょう。



石田 賢哉

准教授

ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅲ、社会調査概論、精神保健福祉援助実習

- ・地域で生活する精神障害者の主観的QOLに関する研究
- ・統計的手法による実態調査、ニーズ調査

ソーシャルワークはグローバル化しています。ソーシャルワークと一緒に学び、社会を変えていきましょう。



工藤 英明

准教授

ソーシャルワーク論Ⅰ～Ⅵ、社会福祉施設経営論、福祉行政と福祉計画、ソーシャルワーク演習Ⅱ・Ⅲ、社会福祉基礎実習Ⅰ・Ⅱ、ソーシャルワーク実習など

- ・介護サービスが高齢者の要介護状態像と家族の介護負担に与える影響の縦断的研究
- ・支援困難高齢者事例にかかるケアマネジメント実践の研究など

読書は、先人が何年もかかって明らかにしたことを、読むことで知ることができます。ソーシャルワークは、「実践」の科学です。知識と実践力を身につけ、「想い」を「信念」に変えてみませんか。



児玉 寛子

准教授

高齢者福祉論、ソーシャルワーク演習Ⅱ・Ⅲ、ソーシャルワーク実習、ソーシャルワーク実習指導、ボランティア活動支援論など

- ・介護終了後の家族に対する生活支援に関する研究
- ・医療的ケアを行う家族介護者の在宅介護継続プロセスに関する研究
- ・災害時における福祉専門職の役割に関する研究など

人との出会いは、あなたの可能性を引き出してくれる好機です。多くの人との出会いを大切にしながら、ともに学びましょう。



坂下 智恵

准教授

精神保健福祉論Ⅰ・Ⅱ、精神保健福祉の理論と相談援助の展開、精神保健福祉援助演習、精神保健福祉援助実習など

- ・地域住民に対する自殺予防活動に関する研究
- ・精神障害者の地域生活支援に関する研究

病気や障害など生活困難を抱えた方々への支援や、それを支える仕組み、社会背景などを学び、それらの知識をつなげてどう実践に活かすか考える。大学で知的探究心を磨きましょう。



岡田 敦史

講師

心理学、生涯発達心理学、臨床心理学、カウンセリング概論、医療心理学、社会福祉基礎実習など

- ・カウンセリングの実践と理論に関する研究
- ・フォーカシング指向カウンセリングの開発と応用

知らないことを知って行くプロセスは新鮮な発見体験です。この冒険を楽しみましょう。



齋藤 史彦

講師

児童福祉論Ⅰ・Ⅱ、更生保護制度論、ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、ソーシャルワーク実習指導など

- ・非行少年の社会復帰に関する研究
- ・保護司による刑務所出所者等への就労支援に関する研究

福祉は「普通の、暮らしの、幸せ」を目指すものだと思います。みんなが「普通に、暮らせる、仕組み」を一緒に考えましょう。



西村 愛

講師

障害者福祉論、就労支援論、ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、ソーシャルワーク実習指導など

- ・知的障害者の地域生活支援方法
- ・教育と福祉の連携のあり方について

障害の有無に関わらず、暮らしやすい地域の在り方について、一緒に考えていきましょう!!



廣森 直子

講師

社会学、家族社会学、キャリアデザイン、社会の動態と生活形態、ジェンダーと社会、社会福祉基礎実習Ⅰ、社会福祉研究演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究など

- ・働く女性の学習に関する研究
- ・「専門職」のキャリア形成に関する研究

社会的想像力を磨こう。あなたの目の前に「困ってる人」がいます。あなたはこのことに気づきますか？なぜ「困ってる」のか想像しますか？そして、その人と「関わろう」と思いますか？



宮本 雅央

講師

地域福祉の理論と方法Ⅰ・Ⅱ、ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、ソーシャルワーク実習、ソーシャルワーク実習指導など

- ・地域生活支援や就労支援のためのネットワーク構築に関する研究
- ・実践力向上のための人材育成に関する研究

何かに挑戦し、できることを増やす過程はとても楽しい時間です。様々な人を支えるソーシャルワークができるよう、一緒に挑戦しませんか？



村田 隆史

講師

社会福祉学概論Ⅰ・Ⅱ、社会保障論、公的扶助論、社会福祉研究演習、ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、ソーシャルワーク実習、ソーシャルワーク実習指導など

- ・社会保障と労働政策の交錯に関する研究
- ・生存権・生活権の理論的構築に関する研究

大学生には色々なことに疑問を持ち、自分で調べて解決するという主体性が求められます。共に学んで成長していきましょう。



種市 寛子

助教

ソーシャルワーク演習Ⅲ、ソーシャルワーク実習指導、保健医療サービス論など

- ・社会福祉士養成教育(ソーシャルワーク実習)に関する研究

入学後は講義に実習に忙しい日々ですが、その分得られるものも多岐あります。1つ1つの経験を楽しんで、充実した学生生活を送ってください。



ホークリstoffァー Christopher Horne

Christopher Horne

助教

English 1 ~ 4

- ・第二言語習得における第一言語の有効な活用方法に関する研究

Languages are not just tools for communication. They open the door to new worlds, new cultures and new ways of thinking. Come and take a peek at the new worlds awaiting you!



山田 伸

助教

精神保健福祉論、精神保健福祉の理論と相談援助の展開、精神保健福祉援助演習、精神保健福祉援助実習など

- ・精神障害リハビリテーションに関する研究、ソーシャルワークによる自殺予防

一緒に「福祉」について学び、ソーシャルワーカー(社会福祉士・精神保健福祉士)を目指そう!



葛西 孝幸

助手

社会福祉基礎実習Ⅰ・Ⅱ、ソーシャルワーク実習指導

- ・保健医療ソーシャルワークに関する研究、多職種連携に関する研究

ソーシャルワークは難しくもあり楽しくもあります。住みやすい地域づくりのために社会福祉を共に学び、実践力を獲得しませんか。



栄養学科

□在籍学生数 139名(男10名、女129名)
平成30年4月1日現在

卒業する時点で身につけている力

栄養学科ディプロマ・ポリシー

※詳しくは12頁参照▶

1.自らを高める力

- 物事に対する深い理解力とグローバルな視野を持つために幅広い教養を身につけ、豊かな人間性をもとに多様な考え方を受け入れることのできる能力を有する。
- 自律して学習を組み立て、適切に探求でき、これを自己の成長につなげることができる能力を有する。
- ところを聞いて相手に接し、相手を理解し、自らの考えや気持ちを適切に表現し相手に伝えることができる。

2.専門的知識に根差した実践力

- 栄養が、生命の維持、健康の保持・増進、疾病予防・回復・再発防止および介護の上で、どのように関与しているかを理解する。
- 食生活の改善、栄養教育、栄養補給等、栄養状態を改善するために必要な知識・技術・態度を学び、実践する能力と評価能力を持つ。
- 人の尊厳と職業倫理を理解し、管理栄養士として、対象者に寄り添った実践ができる。

3.創造力

- 人間の健康の保持・増進、疾病の発症予防・重症化予防、および生活の質(Quality of Life; QOL)の向上を目指して、望ましい栄養状態・食生活の実現に向けての支援と活動を実現するため、栄養学・健康科学に関連する諸科学を踏まえた問題解決能力(情報収集力、分析力、提案力)、実践能力を駆使し、これらを発展的に社会に還元させる能力を持つ。

4.統合的実践力

- 保健、医療及び福祉の多職種や多機関が連携・協調するために必要なコミュニケーション能力、メンバー・リーダーシップを持ち、健康的な地域の創造に向け、対象を中心としたチームアプローチができる実践力を持つ。

在学中、これらの力を身につけるためのカリキュラム ※詳しくは43・44頁参照▶



入学するまでに身につけてほしい力

栄養学科 アドミッション・ポリシー

栄養学は保健・医療分野のなかで基盤となる学問です。その学問および実践の専門家である管理栄養士は、食品、調理といった口に入る前のことから、体内での代謝・生理、また人々の食行動に関係するさまざまな要因について理解する必要があり、幅広い学問的基礎と深い洞察力、柔軟な応用力が求められます。したがって、本学科では次のような人を求めています。

- (1) 栄養学の専門分野を主体的に学ぶための基礎となる科目、特に生物や化学を理解している人。
- (2) 栄養学を通して生命と健康にかかわる真理を追求することに情熱を持つ人。
- (3) 健康の維持・増進、疾病の予防・回復・再発防止および介護をめざして、食を通じた人々への支援に取り組みたい人。
- (4) 地域における農林水産食品の加工・調理や機能性にかかわる研究開発にチャレンジしたい人。
- (5) そして、人間の健康と栄養との関係をとらえ、豊かなコミュニケーション能力と“Think globally, act locally”の感覚をもち、ヒューマンケアを実践したいという夢と情熱を持つ人。



取得可能な資格

管理栄養士

国家試験受験資格

管理栄養士は、厚生労働省の免許を受けて、健康の保持増進や、疾病の治癒・増悪防止のために必要な栄養指導を行います。また、大規模給食施設において、給食の管理やスタッフへの指導を行います。

栄養士

管理栄養士が厚生労働大臣の免許を受けるのに対して、栄養士は都道府県知事の免許を受け業務に従事します。献立作成などの給食管理を中心に業務を行います。

栄養教諭一種免許状

栄養教諭は、管理栄養士または栄養士の免許をもって、学校給食や授業などで食育の推進などを行います。児童・生徒の成長に応じた望ましい食習慣の形成や、家庭での調和のとれた食事の指導などを行います。

食品衛生管理者 任用資格

特に衛生上の考慮を必要とする食品を製造する施設には、専任の食品衛生管理者を置かなければならないこととなっています。

食品衛生監視員 任用資格

食中毒など食品衛生上の危害を防止するために、営業施設等への立入検査や食品衛生に関する指導を行う、国や地方自治体等行政機関の公務員です。

青森県立保健大学の合格率(平成30年3月)

管理栄養士 国家試験合格率

97.1%

全国の新卒者合格率
(管理栄養士養成施設分)
95.8%

栄養学科の就職率
(平成30年3月現在)

就職率

100%

卒業後活躍できる進路

管理栄養士として

- 病院職員(公立・民間・大学病院など)
- 福祉施設職員(高齢者福祉施設など)
- 学校栄養職員(教育委員会)

■行政機関(都道府県・市町村など)

■一般企業(食品会社など)

■給食委託会社

■薬局

栄養教諭として

- 学校職員(教育委員会)

大学院等へ進学

※詳しくは63頁参照▶

学科の特色

論理的思考力や実践力、そして 問題解決能力をもった管理栄養士の育成



管理栄養士は、病院では病気の治療や合併症予防のための栄養指導や栄養管理、給食管理を、乳幼児・高齢者・障がい者の福祉施設では、利用者の栄養状態を調べ、適切な食事の提供を行います。また、小中学校では、学校給食の管理と子どもたちへの食に関する指導を行い、保健所・保健センターでは、食を通じた地域の健康づくりのための企画や活動を行います。他にも、食や栄養への関心の高まりの中、事業所やドラッグストアなど、活躍する領域が広がってきています。こうした期待に応えるため、管理栄養士は広い領域で健康な方から病気の方、子どもから高齢者まで、それぞれに合った健康の基となる栄養や食を考える力が必要です。その為、栄養学科では、科学的根拠に裏付けられた知識、どの分野にも応用できる実践力、直面した課題を解決する力を身につける教育を行います。

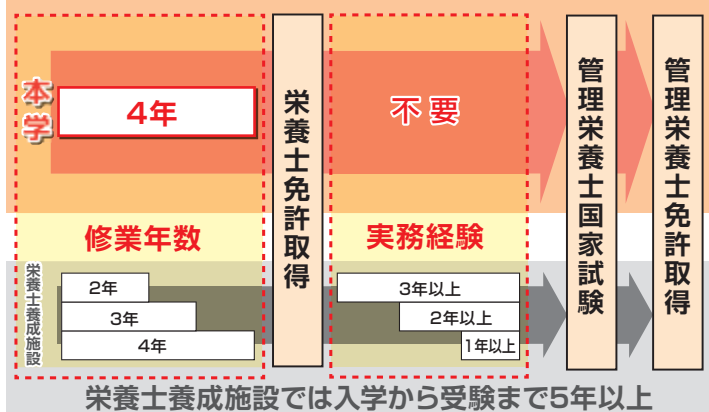


1学年約30名の学生を18人の教員でサポート



授業では少人数の学生に対し、手厚く教育を行い、専門的知識と実践力を養い、食と健康の専門職を育成します。加えて、専門基礎分野と専門分野の充実したカリキュラム内容で、高い国家試験合格率と就職率を目指します。

管理栄養士養成施設(本学)では入学から受験まで4年



管理栄養士を目指すには最短

管理栄養士になるには、国家試験に合格しなければなりません。その受験資格を得る1つの方法は、本学のような管理栄養士養成施設で4年間修業してすぐに受験資格を得る方法が、管理栄養士の資格を取得するには最短です。



栄養学科長からのメッセージ！

栄養専門職は天職です。強い志と命がけの 発心で勉学に励む学生諸君を歓迎します。

適切な質と量の食物を経口摂取し、消化・吸収及び代謝が正常になされる場合に、我々は健康を維持できます。しかし、このプロセスのどこかに異常を来すと、疾患に陥り、死に至ることになります。

このような状況では、たとえ医師による最高の医療を受けても、もはや完治は困難です。ではこのプロセスの問題を解決してくれるのは一体誰なのでしょう。諸君達が目指す管理栄養士などの栄養専門職がその答えです。経口摂取から代謝までのプロセスを完璧に是正でき、疾病の治療・予防、健康保持のための基盤を体内に築き上げ、健康寿命を握る唯一のプロであり、栄養専門職は天職です。従って、この道を目指す学生諸君は大なる誇りと気概をもって頑張してほしいと思っています。そのために教員全員が一丸となって、諸君達が最高レベルの能力を身に付けた人材へすべく、徹底的に厳しく鍛え且つ応援することを確約します。

強い志を持ち、命がけの発心で勉学に励もうとする多くの学生諸君が我々の学科の門を叩くことを期待しています。



栄養学科長
今 淳 教授

医師(皮膚科専門医、抗加齢医学専門医)、医学博士。
北海道出身。弘前大学大学院医学研究科准教授を経て本学に着任。専門分野は皮膚科学、アンチエイジング機構の分子生物学的研究。

栄養学科での学び

— 専門職への道のり —

1年次 講義と実験・実習をバランスよく配置し、専門職の基礎を固めます。

管理栄養士に必要な人体や食品、調理などの基礎的な知識を学ぶとともに、それらを実験や実習で体感することで、理解を深めていきます。早い時期から実験や実習を経験することで、食と健康の専門家としての芽生えを促します。



食品学実験Ⅱ

1年次

日本人が常用する食品中の標準的な栄養素量を示した食品成分表は、栄養学の基盤となるデータベースです。本授業では、食品成分表に記載されている栄養素含量(水分、たんぱく質、粗脂肪、ミネラル、ビタミン等)をグループ(班)で定量実験します。この授業では化学分析の知識や技術の習得だけではなく、食品成分表や誤差要因(偶然誤差、系統誤差)への理解を深めていきます。

2年次 実験・実習の専門色が濃くなります。給食管理実習もこの時期に。

人体や食品、調理に関する実習、実験に加え、栄養教育、公衆栄養、臨床栄養など、より専門的な各種の栄養学を学ぶ時期になります。施設給食を管理することも、管理栄養士が担う大事な仕事であり、大量調理を行う給食管理の実習にも挑戦します。



応用栄養学実習

2年次

各ライフステージや、様々な環境条件下に応じた実践的な栄養マネジメントを展開できることを目指します。対象者の身体特性・栄養状態に基づき、発育・発達、成長、生活習慣病予防、健康の維持増進を目的とした、栄養アセスメント・栄養介入の計画・目標設定・実施・評価を行います。本実習では、各自が立案した献立を調理・発表し、全員で試食評価しますので、より多角的に栄養管理のあり方について理解を深めることができます。

調理学実習Ⅰ

1年次

調理学では、食品の調理特性、調理操作、調理機器の特徴を総合的に学び、栄養と健康面に配慮した食事設計について理解を深めます。「調理学実習Ⅰ」では、管理栄養士の実践活動に必要な食づくりに係る基礎的な調理技術を養い、日常食や行事食における献立の基本をグループ実習により体得します。調理操作に伴う食品の物性、嗜好性、栄養成分の変化を科学的に捉え、調理理論に基づいた献立調理ができることを目標とします。



生化学実験Ⅰ

2年次

酵素活性の測定、糖質や脂質の抽出・同定およびタンパク質の分離などの実験を通して、生化学の講義で学んだ内容を実証するとともに、生命現象に欠かせない糖質、脂質ならびにタンパク質・アミノ酸の特徴や性質をより深く理解して、説明できる能力を身に付ける科目です。



給食経営管理実習

2年次

これまでの学習を踏まえ、集団を対象とした食事計画、大量調理、施設設備管理、衛生管理など、給食運営と管理を学ぶために、100食規模の給食提供を実習します。家庭用とは大違いの調理器具を使い、管理栄養士班と調理班に分かれ、さまざまな角度から学びます。また試食後、献立や調理について意見交換がされ、最終日には学びのまとめをします。



栄養学科のカリキュラム 卒業要件:計124単位以上 ●=必修科目 ○=選択科目

| 1年次 | | 2年次 | |
|--|--|--|--|
| 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| ■専門支持科目 ●社会福祉学概論 ●解剖生理学Ⅰ ●生化学Ⅰ ●食品学総論 ●食品学実験Ⅰ 実験 ●調理学 ■基幹科目 ●健康と栄養管理 ■学部共通科目 ●ヘルスプロモーション概論 ●ヘルスプロモーション演習 | ■専門支持科目 ●公衆衛生学Ⅰ ●解剖生理学実験Ⅰ 実験 ●解剖生理学Ⅱ ●運動生理学 ●生化学Ⅱ ●食品学各論 ●食品学実験Ⅱ 実験 ●調理学実習Ⅰ 実習 ■基幹科目 ●基礎栄養学 ●栄養アセスメント論 ●給食経営管理論Ⅰ ■栄養教諭免許必修科目 ○日本国憲法 ○教育心理学 ■学部共通科目 ●健康情報リテラシー | ■専門支持科目 ●公衆衛生学Ⅱ ●解剖生理学実験Ⅱ 実験 ●生化学実験Ⅰ 実験 ●食品衛生学 ●調理学実習Ⅱ 実習 ■基幹科目 ●基礎栄養学 実験 ●食事摂取基準論 ●ライフステージ栄養学 ●臨床栄養学総論 ●公衆栄養学 ●給食経営管理論Ⅱ ■栄養教諭免許必修科目 ○教育基礎論 ○生徒指導論 ○教育相談 ■学部共通科目 ●職業倫理とヘルスコミュニケーション | ■専門支持科目 ●生化学実験Ⅱ 実験 ●微生物学 ●臨床病態学 ●食品衛生学実験 実験 ■基幹科目 ●ライフスタイル栄養学 ●応用栄養学実習 実習 ●栄養教育論Ⅰ ●臨床栄養学各論Ⅰ ●地域栄養活動論 ●給食経営管理実習 実習 ■栄養教諭免許必修科目 ○教育課程論 ○教育方法論 ■学部共通科目 ●セーフティプロモーション |

その他、人間総合科学科目・学部共通科目について、詳しくは 13~16頁 参照 ▶▶

食と栄養の専門職として人々の健康に貢献するために、栄養や食品に関する科学的な根拠を見極める力や新たに証明していく力、何を、どれだけ、どうやって食べたらよいかを適切な方法で伝える力などを身につける必要があります。その為に、栄養学はもちろん、人体、食品、医療、調理など幅広い分野の学びの場を提供するとともに、実際の職場で行う臨地実習において実

践力を養います。また、管理栄養士が、多世代、多様なライフスタイルをもつ人々と関わる職業であることから、職業倫理への理解を深めてもらい、他方、多分野にまたがる職業でもあることから自分の適性に合った進路を選択できるように支援します。

3年次

専門性を肌で学ぶ臨地実習開始。
学内での学びと結びつけ、
実践力を養います。

管理栄養士としての専門的な講義、実習を受けつつ、臨地実習に臨む時期になります。これまで学んだことと実際の管理栄養士の業務を統合するとともに、自分の将来像をより具体的にしていきます。後期からは、卒業研究も開始されます。



公衆栄養学臨地実習Ⅰ

3年次

青森県内または近隣の保健所・保健センターにおいて、地域住民の生活の質(QOL)の向上や健康状態の改善を考えた食や栄養に関する取り組み(妊産婦、乳幼児、成人、高齢者を対象とした健康教育支援、食に関する情報提供などの食環境整備等)を理解し、そこで働く管理栄養士の役割および業務について、学外の実習をおして学びます。(写真は函館市総合保健センターでの実習風景)

4年次

臨地実習を終え、卒業論文を
仕上げた後は国家試験に挑戦です。

臨地実習で実践力を培うとともに、ヒューマンケアと職業倫理について理解を深めます。他学科との合同実習を通して、多職種連携について学びます。さらに、学びの集大成としての卒業論文を作成する過程で、問題解決能力や科学的・論理的思考を養い、国家試験合格を目指して取り組みます。



卒業研究

4年次

栄養に関して、未だ分からないことは沢山あります。管理栄養士がこれらを解明し、栄養学をさらに発展させ、人々の健康に繋げるためには、科学的なエビデンス(根拠)をもとに研究を進める能力が必要になります。そこで、3年後期から4年後期までの1年半、教員の指導を受けながら、研究活動に取り組み、その中で科学的な研究方法を学ぶとともに、研究に重要な企画力、創造力、問題解決能力を養っていきます。

栄養教育実習Ⅰ

3年次

「栄養教育実習Ⅰ」では、「栄養教育論Ⅰ・Ⅱ」で学んだ知識を基に、各ライフステージの対象者の問題点を検討し、対象者にあった指導計画案と媒体を作成する技術を身につけることを目指します。同時にシナリオ作成を行い、ロールプレイを通じた模擬指導を行うことで、対象者の気持ちや問題点を理解しながら、教育を実施する側の難しさや楽しさも体験し、栄養教育者として栄養教育の展開について理解を深めていくことを目指します。



臨床栄養学実習Ⅱ

3年次

本科目では、病院の管理栄養士に必要な「入院患者の栄養管理をする」「疾患(病気)にあわせた栄養指導をする」ための技術について学びます。学内の実習ですが、その後の臨地実習を見据え、できるだけ実践に場を想定した環境で実習をします。写真は、患者シミュレーターが示すバイタルサイン(生命徴候)を観察し、その情報をどのように栄養管理に役立てるのかを考える実習をしている様子です。



栄養学科をもっと知りたい①

目標を持って頑張れば
『栄養教諭一種免許状』が
取得可能



栄養教諭に必要な単位をとるために、教育実習を含めてさらに15科目の履修が必要となります。時間的にもハードな選択となり、例年10名程度が本コースを修了しています。

3年次

前期

■専門支持科目

●食品加工学

■基幹科目

●健康スポーツ栄養学 ●栄養教育論Ⅱ
●栄養教育実習Ⅰ **実習** ●臨床栄養学各論Ⅱ
●臨床栄養学演習 ●臨床栄養学実習Ⅰ **実習**
●公衆栄養学実習 **実習**

■展開科目

●公衆栄養学臨地実習Ⅰ **実習**
●給食経営管理臨地実習 **実習**

■栄養教諭免許必修科目

○道徳教育・特別活動論 ○学校栄養教育論
○食育実践論

■学部共通科目

●地域包括支援論

後期

■専門支持科目

●栄養疫学 ●分子栄養学
○食品機能論 ●食品加工学実習 **実習**

■基幹科目

●栄養力コンサルティング論
●栄養教育実習Ⅱ **実習**
●臨床栄養学実習Ⅱ **実習**

■展開科目

●卒業研究
●公衆栄養学臨地実習Ⅰ **実習**
○公衆栄養学臨地実習Ⅱ **実習**
●給食経営管理臨地実習 **実習**

■栄養教諭免許必修科目

○教職論 ○教育行政学

4年次

前期

■専門支持科目

○薬理学

■展開科目

●総合演習Ⅰ ●卒業研究
●臨床栄養学臨地実習Ⅰ **実習**
●臨床栄養学臨地実習Ⅱ **実習**

■栄養教諭免許必修科目

○教職実践演習(栄養教諭)
○栄養教育実習事前事後指導 **実習**
○栄養教育実習 **実習**

■学部共通科目

●ヘルスケアマネジメント論

後期

■展開科目

●総合演習Ⅱ
●卒業研究
●臨床栄養学臨地実習Ⅰ **実習**
●臨床栄養学臨地実習Ⅱ **実習**
○臨床栄養学臨地実習Ⅲ **実習**

■栄養教諭免許必修科目

○教職実践演習(栄養教諭)
○栄養教育実習事前事後指導 **実習**
○栄養教育実習 **実習**

■学部共通科目

●ヘルスケアマネジメント実習 **実習**

勉強が苦手な私も、先生方や友人に助けられています！



栄養学科では、食品や体の機能などさまざまな面から、栄養について学びます。1年生から実験や調理実習を通して食品や身体の細部、食品の扱い方などの知識を深め、自分で考察する力を育てられます。グループで行うので安心でき、状況を判断する力が自然と身に付いてきます。講義では栄養学科らしく食品の成分を学ぶものから、ヒトの身体づくりなどを学ぶ医学的なものもあります。勉強が苦手な私も先生方や友人が支えてくれるので安心して取り組んでいます。

私が食品について学びたいと思い始めたのは、食物アレルギーへの興味を持ったことがきっかけです。アレルギーであるために好きなものを食べられない、また偏食になってしまう人をサポートしたいと思っていました。しかし、入学後にさまざまなことを学んでいくなかで、他の分野での仕事も興味深く感じました。これからさらに多くのことに触れて、自分のやりたいことを明確にしていきたいです。

青森県立青森中央高等学校 卒業
栄養学科 2年

逢見 加奈 さん



患者さんを「食の力」で元気にしたい！

栄養学科では、食事や栄養に関する基礎的な知識や、管理栄養士として働くときに直接関係する専門的な知識・技術を勉強しています。2年生になると、「応用栄養学実習」で実際に各ライフステージに合わせた内容の献立を立てて調理をし、「給食経営管理実習」では大量調理を行い実際に給食の提供をすることで、現場でより役立つ実践力を身に付けています。

私が管理栄養士になりたいと思ったきっかけは中学校での食育の授業です。高校では野球部のマネージャーとして選手のサポートをしたことで栄養の大切さを思い知り、スポーツ栄養にも興味を持ちました。今はさまざまな授業で学ぶなかで、患者さんを食の力で元気にしたいと思い、病院で勤務する管理栄養士を目指しています。

栄養学科は人数が少ないためクラスメイトや先生との距離も近く、とても良い雰囲気です。毎日を送っています。実験やレポートなどで忙しい時期もありますが、それ以外にもサークルに参加したり、空きコマに出かけたりと楽しいこともたくさんあります！皆さんもぜひ保健大学で一緒に学び、充実した学生生活を送りましょう！



北海道函館中部高等学校 卒業
栄養学科 3年

山本 滯 さん



正しい食事の知識を身に付けることが大事！ 栄養教諭を目指し、「食の重要性」を伝えたい！



岩手県立黒沢尻北高等学校 卒業
栄養学科 4年
後藤 優和 さん

学内の講義で基礎の知識を増やし、実習で実践力を身に付けていくのはとても勉強になりますが、本学では、学内で学んだことを学外で活かす機会が沢山あり、私はそのような課外活動にも積極的に取り組んでいます。小学生へ栄養バランスの大切さを伝える活動やその活動について大学の先生や地域の方、企業の方と振り返る報告会への参加、ヘルスリテラシー向上を目指したTV番組への出演や地域における健康チェック、おかず味噌汁による朝ご飯の推進、だし活を用いた減塩の普及、スポーツをしている高校生への栄養に関する助言、学内献血日と合わせた学食の貧血メニュー考案といった、多くの世代の方と関わる活動を行ってきました。

このようなさまざまな活動に参加するなかで、私が感じた健康にとって一番に大事なことは、若いうちの食事が重要であるということです。小中学生のうちから正しい食の知識を身に付けることが大事であり、給食や栄養指導を通してその重要性を伝えることのできる栄養教諭を目指して現在、日々勉強に励んでいます。

栄養学科をもっと知りたい②

栄養学科を ギュッと濃縮、 栄養学科 オリジナル ホームページ。



栄養学科では、管理栄養士を養成する以外にも、様々な研究課題や社会貢献活動に取り組んでいます。これらの活動について、できるだけ幅広く、迅速に、本学科に興味のある方や在校生の保護者様に伝えたいと考え、平成20年より栄養学科オリジナルホームページを運営し、本誌や大学本体のホームページでは伝えきれない情報を発信しています。管理栄養士がどのような職業なのかもっと知りたいと思ったら、「**管理栄養士の進路・仕事**」をみてください。卒業生が自分の仕事を紹介しているので、より具体的に管理栄養士をイメージしてもらえます。また、「**栄養学科の学生について、もっと知りたい**」、そんな時は「**キャンパスライフ**」をクリック。在校生のインタビュー記事やメッセージが載っていて、学生の生の声を知ることができます。さらに、「**青い森栄養コラム**」には、教員が日々思うあれこれを書いていて、他のコンテンツでは紹介されない取り組みや活動なども知ることができます。栄養学科や教員の意外な一面も見れるかも。その他、「**出張講義のご案内**」には、栄養学専門科目の教員が、高校に行って講義をするテーマの一覧と連絡先を載せているので、ご希望の際は、気軽に連絡先までご連絡ください。



オリジナルホームページのアドレス
<http://www.auhw.ac.jp/nutrition/>
www/index.htmlです。

また、大学HPの栄養学科ページ・トップにある「**栄養学科サイトへ**」からも見るができます。

栄養学の専門教員を コンパクトに紹介。 栄養学専門科目 教員紹介冊子



栄養学専門教員を紹介するリーフレットを毎年更新し、配布しています。各教員の担当科目や専門分野、研究テーマ、出張講義のテーマを教員毎に一覧表にしたものが掲載されています。紹介冊子は、本学で配布していますが、オリジナルホームページからPDFデータをダウンロードすることもできます。

栄養学科卒業生からのメッセージ！



患者さんの食生活や検査値により変化が見られときは管理栄養士としてのやりがいを感じます！

私は家族が高血圧症や糖尿病などの生活習慣病を患っていたことから家庭での食事に興味を持ち、栄養学を深く学びたいと思い、青森県立保健大学の栄養学科を志望しました。

大学生活では素敵な仲間や先生方と出会い、とても充実した4年間を過ごすことができました。栄養学科は30人程度と少人数の学科ですが、少人数だからこそみんな仲が良く、いつも落ち着く雰囲気があったように思います。

管理栄養士の就職先は病院の他、保健所や高齢者施設、企業など様々ありますが、在学中の実習で患者さん一人ひとりに寄り添った栄養サポートができる病院の管理栄養士に魅力を感じ、目指すことに決めました。勤務して4年目になりますが、個人や集団の栄養指導、担当病棟のカンファレンス・回診への参加などを行っています。私が担当している病棟には主に心疾患の患者さんが入院されており、高血圧症や糖尿病、脂質異常症といった生活習慣病になった方がほとんどです。このような場合、疾患の再発や悪化を防ぐにはやはり退院後の家庭での食事が重要となります。その為に栄養指導をしますが、患者さん一人ひとり生活背景は違うので、同じような課題が見つかったとしても、改善案は異なります。そういった部分に難しさを感じ悩むこともありますが、患者さんの食生活や検査値が改善するなど、良い変化がみられたときは大きなやりがいを感じます。

今後も、様々な患者さんと向き合いながら知識を深め、栄養サポートの充実化を図ることで医療スタッフの一員として現場に貢献できるよう努めていきたいと思っています。

栄養学科卒業生 しも やま えりか 下山 恵里香 さん
平成27年3月 卒業 <管理栄養士>
青森県立中央病院 栄養管理部 勤務

人々の健康づくりを支える栄養士でありたいと思います。

私が管理栄養士という職業に興味を持ったのは、「食べることが好きだから」というほんの軽い気持ちからでした。進路を考え始めた高校3年生の時、ちょうど青森県立保健大学に栄養学科が新設されると知り、入学を決意しました。

管理栄養士の活躍の場は、病院、給食施設、学校、行政、企業など多岐にわたります。入学当初は管理栄養士としてどの分野で働きたいかという明確な目標がありませんでしたが、4年間の充実した講義や実験、実習のおかげで、さまざまな分野で働いている自分の管理栄養士像を具体的に思い浮かべることができました。

卒業後は病院で約3年半勤務し、現在は村役場で働いています。行政栄養士は、妊婦をはじめ、赤ちゃんから高齢者まで幅広い年代の方の健康を食の面からサポートするのが仕事です。住民の皆さまと直接接する機会が多く、また、接する年代も幅広いため、対象者に合わせた指導の仕方やコミュニケーションのとり方に難しさを感じています。「話が聞けてよかった」と講話の感想を言ってもらえたり、指導に用いた資料を自宅で活用しているという話を聞いたりしたときは、とても嬉しく、やりがいを感じます。

健康のためには食事が第一ですが、長年の食習慣を変えることは本当に難しいことだと実感しています。まずは自分自身の健康に関心を持ってもらい、そして「これならできそう」「やってみよう」と思えるような支援をしていきたいです。これからも、住民の皆さまの健康づくりを支えていけるように頑張ります。

栄養学科卒業生 いな みや まりや 稲宮 麻耶 さん
平成24年3月 卒業 <管理栄養士>
西目屋村役場 住民課保健福祉係 勤務

主な就職先(管理栄養士) 平成30年3月現在 【県名/人数】

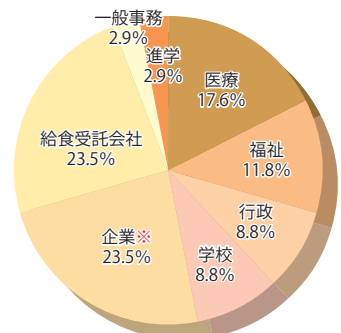
- 【青森県/8】青森県(三八教育事務所 田子小学校)、田舎館村(行政職)、青森保健生活協同組合 あおもり協立病院、医療法人 青仁会 青南病院、社会福祉法人 めぐみ会 デイケアセンターきさらぎ、株式会社 アポテック、有限会社 テック
- 【岩手県/4】一関市(行政職)、株式会社 サンウェイ 水沢給食センター、社団医療法人 啓愛会 美希病院、日清医療食品 株式会社 北東北支店
- 【宮城県/4】医療法人財団 明理会 西仙台病院、公益財団法人 宮城厚生協会 坂総合病院、社会福祉法人 湖星会 特別養護老人ホーム ラスール泉、宗教法人 真宗大谷派宝林寺 宝保育園
- 【福島県/1】一般財団法人 竹田健康財団 竹田総合病院
- 【茨城県/2】茨城県教育委員会、有限会社 コートダジュール
- 【東京都/12】東京都(教育庁)、ウエルシア薬局 株式会社、株式会社 ローソン、チェスコ 株式会社、エムサービス 株式会社、株式会社 クリニコ、株式会社 メフォス、西洋フード・コンバスグループ 株式会社、東邦ホールディングス 株式会社
- 【新潟県/2】新潟市(行政職)、社会福祉法人 新生福祉会 特別養護老人ホーム 神林の里

進学

【東京都/1】日本大学大学院(文学研究科教育学専攻)

その他、これまでの先輩達はこのような所にも就職しています。

- 青森: 青森県立中央病院、青森保健生活協同組合 あおもり協立病院、弘前大学医学部附属病院、八戸赤十字病院、国立病院機構 弘前病院、社会福祉法人 伸康会 介護老人保健施設 平成の家、平川市、七戸町、西目屋村
- 北海道: 札幌市、(福)函館厚生院、函館五稜郭病院 岩手: 岩手県教育委員会、岩手県立中央病院、岩手県立宮古病院
- 宮城: 宮城県教育庁、大崎市 秋田: 大館市立総合病院 山形: 山形県立中央病院 福島: 福島県、福島赤十字病院
- 栃木: 那須赤十字病院 群馬: 群馬県済生会前橋病院 埼玉: さいたま市、(医)関越病院
- 東京: (医)明理会 東京腎臓泌尿器センター大和病院、株式会社LEOC 京都: 株式会社わかさ生活



※薬局や食品メーカー等

栄養学科の就職率

就職率 100%

平成30年3月現在

国家試験合格率は毎年高い結果を出しています。就職率もそれに連動して高く、多くの卒業生が現場で活躍しています。

個性溢れる先生方が、様々な分野をサポートします！

栄養学科 教員紹介

・主な担当科目・主な研究テーマ・メッセージ

今 淳

学科長 教授

解剖生理学Ⅰ・Ⅱ、解剖生理学実験Ⅰ・Ⅱ、臨床病態学、総合演習、卒業研究、大学院講義・演習、特別研究など

- ・組織のアンチエイジングや創傷治癒を促進させる食物、ハーブ、生薬等の分子生物学的及び生化学的研究による探索
- ・皮膚科学、アンチエイジング医学

「草莽崛起」：吉田松陰のこの言葉の様に、地方の一大学である青森県立保健大学から、高い能力を身に付けた大いなる志を持つ学生諸君が、青森、日本全国、そして全世界へと向って大きく飛躍して行くことを期待する。そのために私は諸君達を徹底的に鍛え、応援する。



三好 美紀

准教授

公衆栄養学、地域栄養活動論、栄養アセスメント論、公衆栄養学実習

- ・地域における栄養評価と食生活支援に関する調査研究
- ・栄養転換期にある途上国支援に係る研究

グローバルな視野を持って地域に貢献できる管理栄養士を目指しましょう！



吉池 信男

地域連携・国際センター長 教授
研究推進・知的財産センター長

公衆衛生学、栄養疫学、食事摂取基準論など

- ・栄養政策と評価に関する研究
- ・地域における健康推進活動に関する研究

人々の健康とそれを支える栄養について、地域の状況を踏まえ、深く考え、行動できるように学んでいきましょう。



小笠原 メリッサ

Melissa Ogasawara

講師

English 1～4、メディアリテラシー、人間総合科学演習

- ・EFL教室における共同学習に関する研究
- ・チャイルドシート着用促進に関する研究

Learning English can expand your knowledge and appreciation of the world. It can also open doors to amazing experiences. Learning English here at AUHW is the first step towards achieving that.



佐藤 伸

研究科長 教授

生化学Ⅰ・Ⅱ、生化学実験Ⅰ・Ⅱ、総合演習、卒業研究、大学院科目など

- ・胎生期や乳児期の低栄養により、将来生じる糖尿病や肥満の発症のしくみとその予防に関する基礎的研究
- ・雑豆類(あずきなど)や雑穀類(たかきびなど)を利用した糖尿病や高血圧の予防に役立つ基礎的研究

勉強も、サークル活動も、バイトも、何事にも一生懸命に興味をもって、楽しみながら、学生生活を送りましょう。友をつくりましょう。



清水 亮

講師

臨床栄養学各論Ⅱ、臨床栄養学演習、臨床栄養学実習Ⅱ、臨床栄養学臨床実習Ⅰ・Ⅱ、ヘルスクエアマネジメント論、ヘルスクエアマネジメント実習など

- ・病院・介護施設・在宅でのシームレスな栄養管理に関する研究

栄養の栄の旧字は榮。燃えて輝きたいまつを思わせませう。何事にもチャレンジで、榮の如く輝く大学生活を本学で。



飯島 美夏

教授

食品学総論、食品学各論、生活と化学、食品機能論、食品学実験Ⅰ、卒業研究、大学院科目など

- ・多糖のゲル化に関する研究
- ・食品中の水の構造変化、多糖(食物繊維)に束縛された水の構造解析
- ・未利用植物資源を用いた環境適合型食品パッケージの開発

「食」を科学の視点から考え、健康で、楽しく、豊かな食生活を目指して勉強しましょう。



乗鞍 敏夫

講師

基礎栄養学、基礎栄養学実験、食事摂取基準論など

- ・青森県の地域伝統食品の栄養成分分析とデータベースの構築
- ・食事から摂取するアミノ酸とたんぱく質の算出法の妥当性評価
- ・青森県の農林水産資源の機能性成分の探索

朝ごはんは、元気の源です。
(朝食欠食率は男女ともに20代が最も高い)



浅田 豊

准教授

教育方法論、教育課程論、道徳教育 特別活動論、教育基礎論、教職実践演習(栄養教諭)、保健医療福祉人材育成論、教育と人間、調査と科学的方法、グローバル社会と文化、人間総合科学演習など

- ・教授・学習過程の観点からよりよい授業のあり方を探る
- ・ネット・ケータイ問題(いじめ、依存含む)に関し、ネットリスク教育のカリキュラム・教材を開発する
- ・家庭・学校・地域において子どもを守り育てる体制と教育課題:いじめの心理・メカニズムと克服に向けた方略を考察する

学生の皆さんと教育研究者が互いに尊敬・尊重し合える関係をもとに、ラボールの構築を目指したいと思えます。探究心や学問的ひらめきを刺激することができるような授業・支援を心がけます。



熊谷 貴子

助教

臨床栄養学実習Ⅰ、給食経営管理実習、給食経営管理臨床実習、食品加工学実習、ヘルスクエアマネジメント実習、統計リテラシー、健康情報リテラシー

- ・健診受診者に対する保健指導の効果に関する研究
- ・青森県民の健康課題に関する疫学研究(子どもの肥満、食塩摂取)

様々な角度から、栄養とは何かを一緒に考えていきましょう！



井澤 弘美

准教授

食品衛生学、食品加工学など

- ・PM2.5の毒性に対する食品成分の軽減効果に関する研究
- ・未利用農林水産資源(リンゴ未熟果、ホヤ殻など)の有効利用に関する研究
- ・リンゴの新規機能性の探索に関する研究

食品や栄養にはまだまだ未知の部分が多いです。未知を探索しながら健康問題と一緒に取り組みましょう。



小山 達也

助手

応用栄養学実習、公衆栄養学実習、公衆栄養学臨床実習、ヘルスクエアマネジメント実習

- ・食事記録法を中心とした食事調査法
- ・食事のパターン、食事の質に関する栄養疫学研究
- ・統計学教育

日常茶飯事という言葉の通り、栄養は日々の出来事です。その栄養について、一緒に勉強していきましょう！



大野 智子

准教授

調理学、調理学実習Ⅰ・Ⅱ、ライフステージ栄養学、応用栄養学実習、栄養教育実習事前事後指導など

- ・地域食材を用いた高齢者向け食品の開発
- ・ライフステージに対応した食事管理と調理に関する研究

対象者に合わせた栄養管理はもちろん、嗜好性の高い食事設計ができる管理栄養士を目指してみませんか？



館花 春佳

実験・実習助手

解剖生理学実験Ⅱ、生化学実験Ⅰ、食品学実験Ⅱ、食品衛生学実験、基礎栄養学実験

- ・食品、特に青森県の特産品の機能性に関する研究

管理栄養士養成課程は、栄養学の知識だけでなく、食の大切さを人に伝える実践力も身につけることができます。豊かな北の大地で、一緒に食べることの素晴らしさを学んでいきましょう。



齋藤 長徳

准教授

給食経営管理論Ⅰ・Ⅱ、給食経営管理実習、臨床栄養学総論、臨床栄養学実習Ⅰなど

- ・栄養士制度(栄養士法、診療報酬等)にかかわる研究
- ・給食経営管理にかかわる研究
- ・食生活と疾病にかかわる研究

管理栄養士は、注目され期待されています。皆の願いは健康に生きる社会です。一緒に「人」から見た「栄養」と「食」を考えてみましょう！



森山 磨理子

実験・実習助手

解剖生理学実験Ⅰ、調理学実習Ⅰ・Ⅱ、栄養教育実習Ⅱ、栄養教育実習

- ・栄養教諭による生活習慣支援に関する研究

食べることは好きですか？栄養学科でたくさんの人を健康にできる管理栄養士と一緒に目指しましょう。



鹿内 彩子

准教授

栄養教育論Ⅰ・Ⅱ、栄養教育実習Ⅰ・Ⅱ、栄養教育実習など

- ・おやつや飲料からの糖類摂取に関する研究
- ・子どもや保護者のボディイメージに関する研究
- ・東南アジアの栄養問題

食することは必要不可欠であるとともに喜びでもあり文化にもなります。とても身近で関口は広いけれど、それぞれの専門はとても深い栄養の世界へぜひお越しください！



吉田 優弥

実験・実習助手

生化学実験Ⅱ、食品学実験Ⅰ、栄養教育実習Ⅰ、臨床栄養学実習Ⅱ、臨床栄養学臨床実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

- ・東日本大震災被災住民におけるこの健康に関連する栄養・食生活の要因に関する研究

栄養・食生活は、ここから からの健康な生活を送るために欠かすことのできない営みです。栄養の奥深さを一緒に学び、考えていきましょう。



キャンパスカレンダー AUHWの一年をご紹介します!

前期

4月

- 入学式
- ガイダンス
- 大学生活支援プログラム
- 新入生宿泊研修
- 前期スタート
- 春季就職説明会



入学式



新入生宿泊研修

5月

- 公開講座スタート

6月

- 開学記念日

7月

- 前期定期試験

8月

- 夏休み
- ケア付き青森ねぶた「じよっぱり隊」
- オープンキャンパス
- ミニオープンキャンパス



大学生活支援プログラム
(写真は警察の方から護身術を学んでいる様子)



桜と保健大学



青森ねぶたには「じよっぱり隊」としてボランティアの学生たちも参加するよ!



ケア付き青森ねぶた「じよっぱり隊」ボランティア

9月

- 集中講義
- 後期ガイダンス
- 後期スタート



オープンキャンパスでは各学科の授業や研究内容を詳しく紹介しています! ぜひ参加して保健大学の魅力を体感してね!



保健大学の先生や学生たちが親切丁寧に教えてくれるよ!



オープンキャンパス



大学祭



文化系サークルのライブやパフォーマンス、ダンスも楽しそうだね！出店もたくさんあっておいしそう！

講義室には研究展示もたくさんあるわよ！見てみてね！



後期
10月
○大学祭



みんな自分の目標に向かって頑張り！



後期定期試験



国家試験対策講座

11月
○秋季就職説明会

12月
○冬休み

1月
○後期定期試験

2月

- 集中講義
- 春休み
- 社会福祉士・精神保健福祉士 国家試験
- 理学療法士 国家試験
- 看護師・保健師・助産師 国家試験



冬の保健大学



卒業証書・学位記授与式

3月

- 卒業証書・学位記授与式
- 管理栄養士 国家試験

これからがほんとうのスタートだね！みんな、がんばれ！



卒業おめでとう！



キャンパス・施設紹介

未来への指向性と歴史・伝統との共生がテーマ

青森県立保健大学校舎は、建築家 黒川紀章氏がデザイン。
「未来への指向性と歴史、伝統との共生」をテーマに、
宇宙船・ねぶた祭り・縄文などのイメージにより設計されました。
様々な授業施設や高度な専門機器を取り揃え、
地域医療に求められる高い技術を身につけます。



■ 交流センター(食堂・売店)

食堂のほか、休憩やコミュニケーションの場として広く利用されています。
入口には売店もあり、軽食のほか講義に必要な文房具も揃います。



■ 教育研究C棟

大学院や、地域連携・国際センター、研究推進・知的財産センターのほか、講義室や実習室があります。歴史ある建物です。



■ シミュレーション・ラボ

シミュレータと言われる高性能の機能を持った人形5体が整備され、血圧・呼吸・心電図・瞳孔反応の観察や症状の把握などを繰り返しトレーニングできるシミュレーション教育を導入し、知識と技術を実践に統合できる力を育てています。



■ 教育研究A棟

多くの講義室や実験室、実習室などの専門施設がある、学生の学舎です。教員の研究室などもあります。



附属図書館の紹介

□利用資格: 調査・研究を目的とする18歳以上の方(高校生を除く)

※青森県立保健大学附属図書館は、本学に在籍する学生・教職員の教育と研究の支援を第一義的な目的としておりますが、本学の教育研究に支障のない範囲内で一般の方もご利用いただけます。

僕が図書館を案内するよ。
図書館を利用するときに
わからないことがあったら
図書館の人に聞いてみると
いいよ。



本学の図書館広報キャラクター「トリソウ」

専門書が揃っていて、
国家試験対策の本もたくさんあるよ。



■ 閲覧席



■ メディアスペース

ノートパソコンが設置されていてレポート作成ができるし、
データベースや電子ジャーナルも利用できるんだ。



スポーツ施設も充実していて、サークル活動でもよく利用されています！



テニスコート



体育館



300mトラック



講堂



教育研究B棟

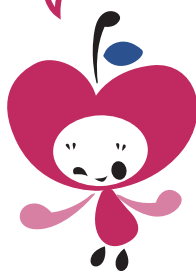
A棟同様、多くの講義室や実習室などの専門施設、教員の研究室などがあります。



学生センター(モーリスルーム)

管理・図書館棟1階にある学生センター(モーリスルーム)では、就職に関する相談や、過去資料・求人票の閲覧が可能です。

学生寮「あずまし寮」の詳細な様子は、本案内の58ページに掲載されています！



学生寮「あずまし寮」(C棟学生棟)

1年次の学部学生と2年次以上のレジデントアシスタントの計94名(男子18名・女子76名)が、原則1年間入寮できます。



コミュニティホール (C棟厚生棟)



サークル室 (C棟学生棟)

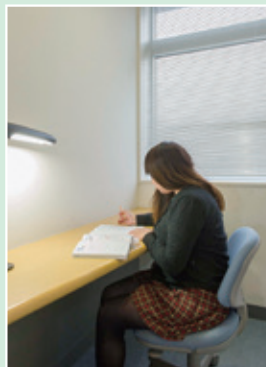


管理・図書館棟

事務局(経営企画室・総務課・教務学生課など)、保健室、学生センター(モーリスルーム)、附属図書館などがある大学の玄関口です。

この部屋は、話し合いながら勉強したい時や発表練習をしたい時によく使われているみたいだよ。

■グループ学習室



■研究個室

一人で集中して勉強したい人にオススメ。テスト前はとても人気の席なんだ。

フロア案内

3階

- ・一般書
- ・研究個室
- ・書庫 など

2階

- ・医療福祉系の専門書

1階

- ・カウンター
- ・メディアスペース
- ・グループ学習室 など

先輩たちの生活紹介 「寮・アパート・自宅」先輩たちの生活スタイルを紹介。



みんなでワイワイ寮生活も楽しいよ!!
 私はマイペースでのんびりアパート生活!!
 なんととっても自宅でしょ!!
 みんな、どんな生活してるのかな?
 先輩たちの生活の様子をこっそり紹介します!!

寮生活の詳しい情報 ※詳しくは58頁▶▶

生活に関わるお金の情報 ※詳しくは59頁▶▶



アパート情報を提供しています

自宅からの通学が困難な方のために、アパートなどの情報を提供しています。教務学生課窓口にある「アパート等物件台帳」や掲示板のアパート情報を参考にしてください。
 なお、契約については十分に確認のうえ、当事者間の責任において締結してください。

寮生活編 | みんなと仲良くできるか不安でしたが、今ではたくさんの友達ができました!



私が寮に住もうと決めた一番の理由は、寮費が安く、親への負担を減らしたいと思ったからです。また、全学科の人と共同生活を送るので、いろいろな人と仲良くなれると思い、寮に住むことを決めました。

最初はみんなと仲良くできるか不安でしたが、共同生活を送るなかで他学科の友達もたくさんできました。門限や毎朝の点呼があり、大変だなと感じることもありますが、寮に住んで時間厳守の意識が強くなりました。

課題やテストが多く忙しいですが、分からないところは情報交換して、みんなで一緒に勉強しています。たまに友達とご飯に行ったり、買い物をしたり、息抜きもしながら、充実した日々を送っています。

私は三味線サークルに所属しており、初心者ですが、先輩たちがとても優しく教えてくださいます。アルバイトは週末を中心にしています。実際に働いてみて、お金を稼ぐことの大変さを知り、良い社会経験をすることができました。



新潟県立高田高等学校 卒業
 理学療法学科 2年
 田中 遥菜 さん

田中さんの収支内訳 (1年次)

| 収入 | |
|----------|----------------|
| 仕送り・小遣い | 30,000円 |
| 奨学金 | 30,000円 |
| アルバイト | 20,000円 |
| 計 | 80,000円 |

| 支出 | |
|----------|----------------|
| 食費 | 20,000円 |
| 光熱水費 | 2,000円 |
| 家賃 | 18,000円 |
| 趣味・交際費 | 20,000円 |
| その他 | 5,000円 |
| 貯金・繰越 | 15,000円 |
| 計 | 80,000円 |

(1年次に寮生活を経験)

田中さんのとある一日の様子



勉強は大変ですが、友達と一緒に充実した日々を過ごしています。

アパート編 | 物件選びには、雪国ならではのポイントがあります！



一人暮らしをしてみて掃除や料理などだけではない細かい家事がたくさんあり、両親の妻さを実感できました。アパートを選ぶポイントは雪国なので大学やごみ捨て場から近いことです。また、インターネット環境が整っていることです。

入学当初は知り合いが誰もいなく実家にすぐ帰れる距離ではないため不安ばかりでしたが、いざ入学してみると遠くから来ている人は大勢いてすぐに友人を作ることができました。看護学科は実習やグループワークが段々増えていくので仲良くなりやすいと思います。

私は長期バイトではなく、短期バイトと農家のバイトをしています。農家のバイトはお米や野菜を頂けるのでとても助かります。アルバイトを通してお金を稼ぐことの大変さや、目上の人との話し方を学ぶことができました。

なるべく自炊をしたり、安い時にまとめて買ったりして食費や生活費の節約をして、貯めたお金で友人と旅行に行ったり食事をしたりしています。家計簿をつけて使いすぎているところや、節約できているところなどを毎月比較してお金の管理をしています。



栃木県立足利女子高等学校 卒業
看護学科 3年
茂木 麻結 さん

一人暮らしのため自由な時間が増え、友人の家に泊まりにいたり、ご飯と一緒に食べたりすることが楽しいです！

茂木さんの収支内訳 (2年次)

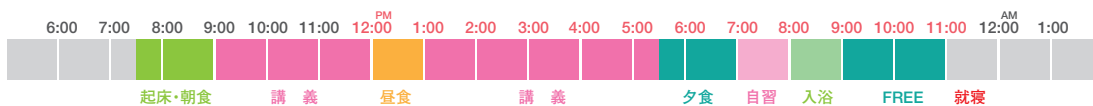
収入

| | |
|----------|-----------------|
| 仕送り・小遣い | 50,000円 |
| 奨学金 | 50,000円 |
| アルバイト | 20,000円 |
| 計 | 120,000円 |

支出

| | |
|----------|-----------------|
| 食費 | 20,000円 |
| 光熱水費 | 8,000円 |
| 家賃 | 50,000円 |
| 趣味・交際費 | 10,000円 |
| その他 | 5,000円 |
| 貯金・繰越 | 27,000円 |
| 計 | 120,000円 |

茂木さんのとある一日の様子



自宅編 | 炊事・洗濯などの家事に時間が取られない分、講義や実習に集中して取り組めます！



私は周りの友人にも恵まれ、毎日笑顔の絶えない学生生活を送っています。講義に集中し、真面目に学んだ後には、友人と遊んだり、出かけたりと充実しています。

また、青森市出身で自宅から通学していることもあり、講義や実習に集中して取り組むことができます。

大学では硬式テニスサークルに所属しています。学科・学年に関係なく、みんなが仲良く活動しています。おすすめです。

アルバイトではレジを担当し、平日に少し働き、土・日にがっつり働くことで、学業に支障をきたすことなく行くことも可能です。またレジを通し、お客様とのちょっとした会話も楽しみの1つとなっています。

自宅から通学していることもあり、アルバイト代は自由に使うことができています。1か月のお金の使い道としては、携帯代や飲み代、服、デート代などですかね。ただ使いっぱなしではなく、しっかりと将来のことを見越して、毎月少額ですが貯金もしています。



青森県立青森東高等学校 卒業
社会福祉学科 4年
蝦名 克哉 さん

アルバイト代は自分で自由につかえますが、将来のことを考えて少しずつ貯金もしています!!

蝦名さんの収支内訳 (3年次)

収入

| | |
|----------|----------------|
| 仕送り・小遣い | 10,000円 |
| アルバイト | 60,000円 |
| 計 | 70,000円 |

支出

| | |
|----------|----------------|
| 食費 | 0円 |
| 光熱水費 | 0円 |
| 家賃 | 0円 |
| 趣味・交際費 | 30,000円 |
| その他 | 20,000円 |
| 貯金・繰越 | 20,000円 |
| 計 | 70,000円 |

蝦名さんのとある一日の様子



課外活動の紹介

課外活動をサークルとボランティアに分けて紹介。

○サークルコパン

料理、お菓子づくりなどの分野でお互いに協力し合い、作る喜びを知り、共に分かち合うことを学びます。

○津軽三味線サークル

津軽三味線の演奏を通して青森の文化に理解を深め、演奏で慰問活動を行います。

○ステレオカンパニー

音楽を通して仲間との交流の輪を広げます。

○最遊記

各種イベントの企画・実行で学科内の友好を深めます。

○ELLEサークル

英語に親しむことで、英会話技術の向上を目指します。

○吹奏楽サークル

音楽に親しむことを第一の目的とし、楽器の演奏を通して協力、その楽しさを学びます。

○キャリアサポート研究会

コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、人間関係構築能力、業務遂行能力の向上と高校生の本気ややる気を引き出す。(研修・実践活動等)

○コーラスサークル

合唱を通じて、学生間の交流を図ります。(福祉施設への慰問、大学祭での発表等)

○書道Guy'sサークル

書を通して感性を磨き、日本文化に親しむ。

○in chapel(インチャペル)

アカペラ活動を楽しみながら他学科の人たちとの交流を深めることを目的としています。

○りんごの会

将来、医療に携わる学生が「医療」について話し合い、よりよい医療従事者を追求することを目的としています。

○芸術研究サークル Porta

世界に浸透する様々な芸術を感じ、豊かな人間性を育み、想像力を養い、柔軟な思考力を身につける。(創作活動)

○A-knot(エーノット)

食、生活体験を通して、地域への知見を深めます。(青森県内の散策・イベント参加・広報等)

○Bible Study Circle ~聖書研究会~

テキストを使い、ディスカッションしながら聖書を学ぶことを目的としています。

○またたび倶楽部

青森県内外を実際に見て回り、その地域の特色や文化を知り、見聞を広げます。

○サッカーサークル

サッカーを楽しみ、技術を磨き自己の心身を鍛え、大学生活を有意義にすることを目的としています。(練習・交流試合等)

○バスケットボールサークル

バスケットボールを通じて仲間と交流し、心身ともに健康になることを目的としています。(練習・試合等)

○ソフトテニスサークル

ソフトテニスを通じて、学生間の交流を図ります。(練習・試合等)

○バレーボールサークル

バレーボールを楽しみます。(練習・試合等)。

○バドミントンサークル

バドミントンを通じて、学生間の交流を図ります。(練習・試合等)

○野球サークル

野球技術の向上および、体力の増強を目的としています。(練習・大会等)

○陸上競技サークル

自己の体力増強を目指すとともに、陸上競技を楽しみ、大学生活を有意義にすることを目的としています。

○ソフトボールサークル

ソフトボールを楽しむこと、技術を磨き自己の身体を鍛え、大学生活を有意義にすることを目的としています。(練習・交流試合等)

○硬式テニスサークル

硬式テニスを楽しみ、大学生活を有意義にすることを目的としています。(練習・交流試合・大会参加等)

○テクニカルサークル

ダンスなどの技術を身に付け、自己の心身を鍛える。

○ダーツサークル

ダーツを楽しむことを目的としています。(ダーツの技術向上等)

○バドントワリングサークル

学内・学外へのバドントワリングの啓発

○女子サッカーサークル

サッカーを通じて学生の交流を図ります。

○Y's Road

健康的なづくりを目的とし、自転車を通して人や自然と触れ合い日常的にできない体験をすることができます。

○卓球サークル

サークルを通して体力や卓球に関する知識・技術を身につけるとともに、仲間との交流を図ることを目的としています。

○ハンドボールサークル

ハンドボールを心から楽しみ、より多くの人にハンドボールの楽しさを知ってもらうことを目的としています。

○ダブルダッチサークル

ダブルダッチの練習を通して仲間との交流を図ることを目的としています。



ボランティア活動を行っている主なサークル

○スマイルサークル

中学校などを訪問し、ピアカウンセラーとして思春期の子たちの心に寄り添い、「自分で決める力」や「自分自身で問題を解決する力」を養うことをサポートしています。一緒にピアカウンセリング活動を広げていきましょう!

○手話サークル

手話の楽しさ、魅力を知り、手話を趣味として習得します。(手話を覚える・ろうあ者との交流を深める・聴覚障害の理解)

○児童福祉研究会

青森市内のひとり親家庭の子どもを対象に、学習支援や季節の行事を通じての交流活動などを行っています。

○SW研究会

ソーシャルワーク(SW)を現場の人(実践者)たちと共に学びながら、主に高齢者を対象としたボランティアも行っています。

○発達保障研究会

18歳以上の軽度の知的障害者を対象に、オープンカレッジやお花見交流会の企画・運営を行っています。

○めいと

ボランティアの情報をメールでお知らせしたり、学生がボランティアに参加しやすい環境を整えるための活動をしています。様々なボランティアがありますので、興味を持たれた方は是非参加してください!

地域連携・国際センターがボランティアをコーディネート

健康イベント・展示のボランティア

青森県内各地のイベントに伺って、先生方の研究活動を一緒に紹介する他、健康に関する測定を行います。



※写真は骨密度測定の様子です。



※写真は血管老化度測定の様子です。

ケア付きねぶたは平成8年から始まり昨年で22年目を迎えました。全国から参加者を募り、年齢や障害の枠を超え、青森ねぶたに車いすのままでも参加できるように、保健医療福祉の専門職と多くのボランティアで結成された「じよっぱり隊」によって運行され、これまでに本学教職員と多くの学生がボランティア参加してきました。保健医療福祉の道を志す本学の学生にとって、ケア付きねぶたに参加し、障害者や高齢者との交流及び介助を行うことは、貴重な体験であり極めて学習的意義があります。また、近年では、「ケア付き青森ねぶたじよっぱり隊」の活動を入学前から知っている学生が増えており、目的意識を持って楽しみにボランティア活動に参加している学生もいるようです。はじめて知ったという学生も、興味・関心を持つ学生が多いようです。



「じよっぱり隊」結団式でみんな気合いが入る!



参加者の昼食や仕上げ料理を担当している食料班のみなさん! 裏方でがんばってくれました。



もうすぐ出陣! ワクワク! ドキドキ!



いざ、出陣! まわりは見物客でいっぱい! じよっぱり隊もねぶたの囃子にあわせてかけ声をあげ、祭りを盛り上げます!



無事終了!
参加者の方々、
じよっぱり隊の皆さん
本当に
お疲れ様でした!



みんな
楽しみながら
活動してるよ!



参加した学生の声

★今までボランティアに参加したことはあってもボランティアって何かについて深く考えたことがありませんでした。ボランティアの核は「自主性」ということでしたが、今までやってきたボランティアは学校主催でのゴミ拾いなど、あまり自分からやるようなボランティアではなかったような気がします。大学のボランティアは対人援助に結びつくようなものがたくさんあり、その中から自主的に参加できる点がとても良いと感じました。ボランティアを通じて知らない人と短期間でどう接するのかを学んだり、時と場合に応じて動ける力を身につけたいと思います。

★ボランティアを行うということは、ただ働けばよいということではなく、様々な視点で周りを見て判断し、行動しなければいけないということがわかりました。また、一人ひとりが、責任ある行動を心掛けなければいけないと思いました。じよっぱり隊が成功するよう頑張りたいと思います。

じよっぱり隊に参加したボランティアの皆さんは、自分の役割を積極的に実行し、無事、ケア付きねぶたを終えました!

自立した大学生活へのサポート

一人暮らしは？ お金は大丈夫？

困ったら誰に相談すればいいの？就職は大丈夫？

大学生活を大学がどのように支えているか、ご紹介します。

大学生生活支援プログラム

高校生活に比べて、格段に自由になる大学生活。自分のことは自分で守り、律し、充実した学生生活を送るための研修プログラムを用意しています。

新入生が新たなキャンパスライフを円滑に過ごせるようにと企画している研修プログラムです。社会人としてのルール、自己管理能力を身につけることを目的としています。



○安全講習会

警察の方から、いざという時のための護身術を学んでいます。



○ネットリスクについて

インターネットによるコミュニケーションのメリット・デメリットを把握し、コミュニケーションのあり方について学びます。



○自転車安全教室

自転車通学の学生が多いことから、自転車事故防止のため、シミュレータを使って自転車の安全運転について学びます。



○その他プログラム

ゴミ出しルール、消費生活出前講座、健康・献血・性に関する講話等、大学生活を支援するさまざまなプログラムがあります。

新入生宿泊研修

新たな環境の中で、大学生活に期待と不安で緊張の残る中、入学後間もなく1泊2日の宿泊研修があります。大学生活を円滑に過ごせるように、先輩達が主体となり、新入生の皆さんが学科を越え、同級生・上級生と交流し、時間を共有します。



全体研修 新しい大学生活を円滑に過ごせるように研修を受けています。



自由討論

履修のこと、サークル活動やアルバイトのこと、どんなことでも新しい学生生活で気になることについて先輩からアドバイスが受けられます。

レクリエーション

これから始まる4年間、学科の枠を越えた新しい出会い、友達づくりができます。



寮生活

共同生活を通して協調性やコミュニケーション能力を身につけるため、自立した生活ができるようになるために原則、1年生が入れる学生寮があります。

寮の名前は「あずまし寮」

「あずまし」とは、青森県津軽地方の方言で、「落ち着いて心地よい」という意味です。例えば、寒い日に温かいお風呂に入って体を伸ばしてほっとしたときに、「ああ、あずまし(すい)」という言葉が自然に出る、そんな感じです。

自分たちの力で、居心地のよい、癒しを感じる寮にしていこうということで、名付けられました。

寮での生活

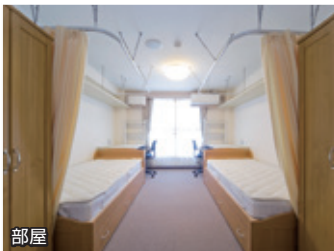
寮は敷地内にあり、天気を気にせずに学校に行くことができます。

男性は2階の9室(定員18名)、女性は3・4階の38室(定員76名)です(レジデントアシスタント含む)。

部屋は二人部屋です。お互いが気持ちよく過ごせるように、話し合い、ルールを作ります。家族以外の他の人と、どのようにふれあい、気を配れば良いのか、自然に学ぶことができます。

自立して生活できることを目指しているの、食事は自分たちで作ります。洗濯も自分たち、掃除は掃除当番を決めて、清潔に保てるようにします。

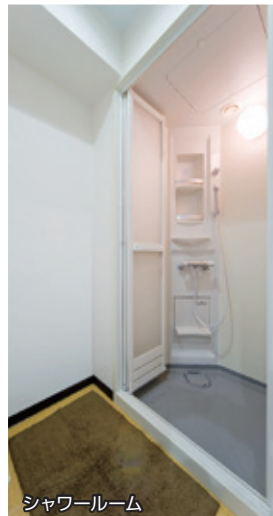
門限は午前0時です。講義やサークル活動が終わった後は、談話コーナーでくつろいでおしゃべりしたり、テレビを見たりしながら過ごします。



部屋



キッチン



シャワールーム



部屋(1名のスペース)



談話コーナー

皆で協力して「あずまし」寮に

寮での生活ルールは自分たちで決めます。寮生大会があり、清掃などの当番もあります。前年に寮生活をしていた数名の寮生が「レジデントアシスタント」になって寮に住み、寮生の相談に乗ったり、リーダーシップをとって助言してくれます。

夕方には学生寮アドバイザーが来てくれて、生活上の悩みを聞いたり、気になるところを指摘してくれたりします。

寮費は格安

寄宿料は月額13,000円＋共益費5,000円、部屋の電気代金は同室の友達と負担額を相談のうえ、支払います。

実際に寮生活がどうだったのか、入寮生たちが記録している〈あゆみと成長の記録〉から、ごく一部を抜粋してみました

- 自立に関してはものすごく成長できた。生活力が上がった。
- 友人がたくさんできた。特に他学科の友達は今後でも大切にしたい。
- 寮生同士の助け合いのありがたさを知った。
- 両親の苦勞が少し分かった。
- 最初の頃は馴染めずつらい思いをしたが、友達が増えてからは生活が充実した。
- 考え方も性格も違う人と暮らして、自分の考えは変わらないが見方を変えることができるようになった。
- 常に誰かがいて会話して生活するので、コミュニケーション能力が格段に上がった。
- 我慢しなければならないこともたくさんあったが、伝えるべきことは伝え、協力したり、部活や学校生活よりも協調性が身についたと思う。
- 憂鬱な気持ちや楽しい気持ちを共に感じ合い、安心できる場所を築くことができた。



平成29年度寮生



消防訓練



あずまし寮寮生大会



運動会



クリスマス会



クリスマス会
(クリスマスケーキデコレーションコンテスト)

自立した大学生活へのサポート

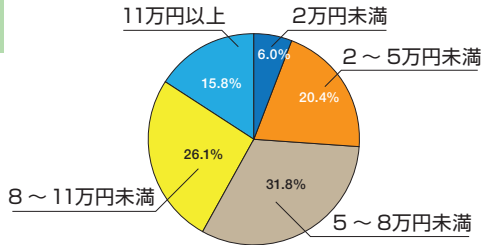
大学生活で、実際必要な費用はどれくらいかかるの？

授業料、実習に必要な費用、生活費……

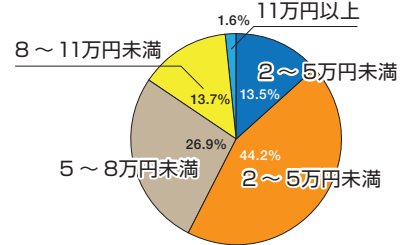
大学生でのお金に関わる情報とその支援を紹介します。

生活に関わるお金の実態

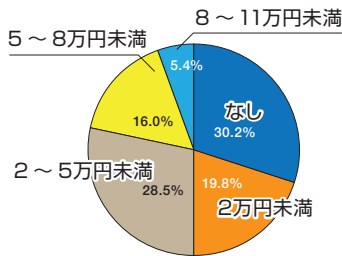
1ヶ月あたりの総収入(授業料は除く)



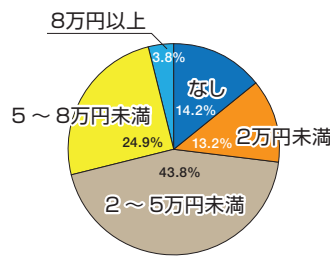
1ヶ月あたりの総支出(授業料は除く)



家庭からの仕送り(授業料は除く)



1ヶ月あたりのアルバイト収入



※データは平成29年度在学生調査を参考にしています。

入学料・授業料、その他かかるお金 入学料・授業料は以下のとおりとなっています。

(1)入学料

| 県内者 | それ以外の者 |
|----------|----------|
| 225,600円 | 338,400円 |

(2)授業料

| | |
|------------------------|----------|
| ※前期・後期の2回分納(各267,900円) | |
| 年額 | 535,800円 |

(3)その他の納付金

- 学外実習負担金…学科により異なります。
- 後援会費…4年分 50,000円
- 同窓会費(終身会員)…10,000円
- 傷害・賠償保険料、感染症抗体検査料
- その他教科書代、実習に伴う交通費・宿泊費、ユニフォーム代など

金銭面のサポート

①授業料の減免制度

経済的理由で授業料の納入が困難で、かつ学業成績が優秀な学生は、申請により授業料の半額又は全額免除が受けられます。

平成29年度実績〈全学年〉

全額免除:42名

半額免除:110名

②奨学金

日本学生支援機構による奨学金の平成29年度実績は以下のとおりです。これ以外に自治体や団体、病院等からの奨学金の募集があります。

平成29年度実績
〈1年生232名中〉

第1種:96名

第2種:85名

※うち併用貸与25名

第1種奨学金は無利息で、特に優れた学生で経済的理由により著しく修学困難な人に貸与します。
第2種奨学金は、返還時に利息がつき、第1種よりゆるやかな基準で選ばれています。

こころとからだのサポート

こころとからだ健康であればこそ毎日の学習にも身が入り、生活も充実します。
困った時には、保健室に相談していただくことで、専門職のサポートが受けられます。

■体の不安については、養護教諭の先生が相談に乗っています。また、病院や施設で実習を行うという本学の特殊性に合わせ、自分と相手の健康を守るための予防接種等の推進を行っています。

■心の不調については、保健室を通してカウンセラーへの相談ができます。相談は秘密を厳守して行われています。

■保健室やカウンセリング室で受けた相談は、秘密を守りながら教員や保健管理を行う委員に伝えられ、対応を協議しています。



保健室: 斎藤先生



カウンセラー: 岩田先生

保健室からのメッセージ!

「保健室」と「カウンセリング室」

本学では、学生が自らの健康に関心を持ち、心身及び生活の管理を主体的に実践できるように支援するため二つの部屋を設置し活動しています。そのひとつが「保健室」、もうひとつは「カウンセリング室」です。

「保健室」は利用しやすく気軽に出入りできることをモットーに、応急処置、健康診断の実施と健診結果を基に全学生に個人指導、各種予防接種の勧奨と管理、学内の健康情報の収集、性や身体に関する相談活動などを実施しています。また、週1回本学でカウンセリングをしてくださる臨床心理士さんとの相談窓口にもなっています。

「カウンセリング室」は、静かな場所にあります。そこで、ゆっくりとお話を聞いてもらえるので、自分のことを見つめ直す機会になっています。もちろん、プライバシーには配慮していますので、安心して相談ができます。

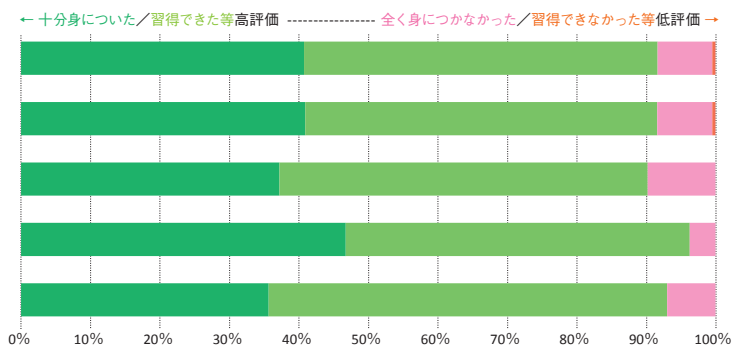
このように二つの部屋は、みなさんの健康面の自立を支援しています。

学生生活のサポートや満足度について (平成29年度 卒業時学生満足度調査より)

卒業する4年生に保健大学について聞いてみました。

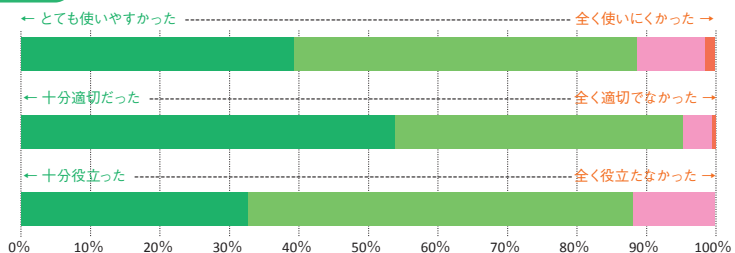
Q1. 学習面での満足度はどうでしたか?

- 対象を中心として他職種が協働してケアを実践する能力
- 社会的・職業的自立に向けて、必要な基盤となる能力や態度
- 専門的技術
- 専門的知識
- 専門分野の理解が深まるような科目の順序性がある系統的な組み立て



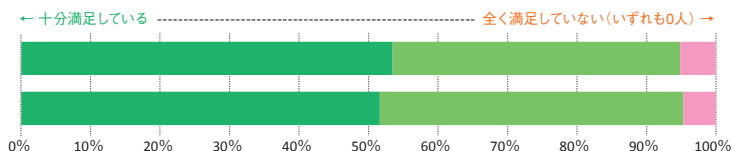
Q2. 学生生活へのサポート環境はどうでしたか?

- 図書館及び情報施設・設備
- 事務窓口での待ち時間
- 健康管理に対する指導



Q3. 全体的な満足度はどうでしたか?

- 所属学科に在学したことの満足度
- 青森県立保健大学に在学したことの満足度



国家試験合格に向けたサポート

高い国家試験合格率をキープしている青森県立保健大学。
各学科の国家試験対策委員がきめ細かくサポートしています。



国家試験合格

本人の努力

実践的な演習・実習

知識が確実に身につく
専門家による講義

毎日の授業



国家試験対策
セミナーの実施

模擬テストの企画・実施

補習講義・企画

国家試験対策委員会

各学科の国家試験対策

看護学科

看護学科では、保健師・助産師・看護師の各職種の教員と学生委員がタッグを組んで試験対策をしています。国家試験を終えた4年生が3年生へ自分達の経験を踏まえ、試験勉強のコツ・体調管理・模擬試験の組み方・集中講座の内容等を伝える場を作っています。1年生の早い時期から国家試験のイメージが持てるように、国家試験の傾向や日々の学習の仕方等をガイダンスし、学習室の確保、カウントダウンポスター、朝型習慣への切り替えや宿泊準備の掲示等「受験環境」を整えています。不安で落ち着かない・模擬試験結果がふるわない学生等には個別的に助言をしています。このように、合格を目指して学生が力を発揮できるようにサポートしています。



集中講義を受けている様子

理学療法学科

理学療法学科では4年前期まで学外での長期実習があります。その実習が終わる7月中旬にクラスから国家試験委員を選出してもらい、模擬試験のスケジュール等を決めていきます。その後11月後半まで行われる卒業研究において、各担当教員が2、3名の学生を指導しますので、指導教員を中心に勉強や生活状況等について指導・助言します。卒業研究終了後、本格的に模擬試験等の国家試験対策を実施することになります。模擬試験は10回程度実施しますが、その結果を全教員で共有し、成績が伸び悩んでいる学生がいれば個別的に助言をします。このように、理学療法学科では合格率100%を達成できるように全教員で学生の支援をしています。



社会福祉学科

社会福祉学科では3年次から本格的に国家試験対策が始まります。模擬試験の実施や対策講座等の情報を随時提供している他、ゼミ単位で担当教員が指導・助言を行い、勉強会なども開催しています。毎年7月には3・4年生を対象に卒業生を招いた体験報告会を開催し、勉強法などを伝授する機会を設けています。また、過去問題解説書や模擬問題集等を揃え、3・4年生がいつでも勉強できる教室を用意するなど、学習環境を整えています。

本学の社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験合格率は、例年、全国平均を大きく上回り、北海道・東北地方では最も高い水準にあります。基本的には学生の自主学習に依るところが大きいのですが、普段の講義、実習等での指導に加え、上述した学習環境を整えることによりモチベーションを維持し、切磋琢磨できる環境が結果に結びついていると言えます。



栄養学科

栄養学科では、「三本の矢」で管理栄養士の国家試験(国試)を目指します。学生は、3年後期から卒業研究(卒研)のために各教員の研究室に配属となり、研究室単位で活動する時間が増えてきます。そこで、一本目の矢として、学生と共にいる時間が長く、よく理解している卒研指導教員が、国試対策を個別にフォローしていきます。二本目は、国試対策の担当教員が、模擬試験の情報提供や対策講座の企画等を行うとともに、成績の伸び悩む学生に対して、卒研担当教員とともに、生活スタイルや受験までの期間を考慮した勉強方法を指導します。そして、三本目は4年次の『総合演習』で、栄養学の基礎を改めて振り返り、それが健康・栄養問題の解決にどう応用できるのかを考えることで、国試対策に繋がる授業を行っていきます。このように学生と教員がスクラムを組んで「合格」を射止めにいきます。



就職のためのサポート

学生の成長と気持ちに沿った就職支援を行います。
医療福祉機関を中心に、高い就職率を維持しています。

青森県立保健大学の就職率

98.6%

(平成30年3月現在)

1年次 「視野を広げる大切さ」



大学生となり、これから専門職に就くために学んでいきますが、社会人・職業人への準備として、どんなことに心がけながら日常生活を送っていけばよいか、探究・目標設定をします。

セミナー

「専門職に携わる者としての心構え」

4年間の間に就職に関わるいろいろなセミナーがあるよ

2年次 「キャリアプランニング」



どんな仕事に就きたいか、将来のキャリアについて考えます。また、学内での実践演習、学外実習を通して専門職についての理解を深めます。

セミナー

「就職活動の全体像とキャリアプランニング」
「自分軸を探す」

目指してきた専門職に就くためにいろいろなサポートがあるよ

3年次 「自己分析・就職活動準備」



働きたい仕事の内容を決め、就職先への見学やインターンシップにより、働きたい場のイメージをより具体化します。

公務員試験対策学内講座

セミナー 「自己分析」「応募書類の書き方(自己PR)」
「ビジネスマナー」「面接練習(集団)」

4年次 「就職・進学活動」



周囲のサポートを受けながら、自らが就職先を決め、就職を勝ち取ります。

ハローワーク出張相談会

セミナー

「応募書類の書き方(志望動機)」
「個人面接練習」

卒業後 「再就職・キャリアアップ支援」



個別に、学び続けるための研修事業や青森県へのUターン就職支援を行っています。

「同窓会」

学科別に運営されており、会報作成や県内外での同窓会、研修会等、盛んに活動しています。総会は大学祭に開催し、在学生との交流にも力を入れています。

学生センター(モーリーズルーム)

求人情報、過去の就職試験の情報、活躍している先輩のメッセージカードなどをいつでもみることができます。



就職ガイダンス

卒業生や就職活動を終えた4年生等に、就職活動のことや進路決定までの具体的な方法、これからの学習方法について語ってもらいます。



大学主催就職合同説明会

本学主催の、就職合同説明会を年に3回、主に3~4年生を対象に開催しています。毎年多くの事業所等が参加しています。

- ① 春季就職合同説明会
- ② 夏季就職合同説明会
- ③ 秋季就職合同説明会



COC+事業への参画

平成27年11月から、COC+事業(地(知)の拠点大学による地方創生推進事業)に参画し、本学は「女子学生のキャリア支援プログラム開発ワーキンググループ」の主査校になりました。

県内10の大学等が主体となり、企業や行政と連携して青森県内就職率向上のために取り組んでいます。



就職相談窓口(就職対策委員会)

学生の皆さんが就職活動を進めていく上で様々な疑問や悩みが出てくると思います。不安を抱えたままでは納得のいく就職活動はできません。各学科では就職対策委員の教員が窓口となり、皆さんの相談に対応します。また、教務学生課には就職相談専門員もおりますので、遠慮せずに相談してください。なお、本学では障害のある学生に対し教務学生課を窓口として、入学から就職支援等まで一貫した支援を行っています。

健康科学研究科

博士前期課程

開設領域・コース

- 保健・医療・福祉政策システム領域
- 対人ケアマネジメント領域
- 基礎研究・実用技術領域
- CNS(専門看護師)コース

- 収容定員:20名(入学定員10名)
- 修業年限:2年(長期在学コース:3年)
- 学位:修士(健康科学・社会福祉学・看護学)

博士後期課程

開設領域

- 保健・医療・福祉政策システム領域
- 対人ケアマネジメント領域
- 基礎研究・実用技術領域

- 収容定員:12名(入学定員4名)
- 修業年限:3年
- 学位:博士(健康科学)

修士・博士論文について (平成29年度修了生)

課題研究

「へき地の壮年期家族介護者が抱く精神的負担感と社会的負担感
—テレナーシング(遠隔看護)による家族介護者支援の検討—」

「中堅看護師のキャリアアップの経験ならびに前に進む力の分析」

「立位での一側上肢挙上に伴う予測的姿勢制御に影響を及ぼす因子について」

「高齢障がい者の屋内を基盤とした身体活動量に寄与する要因の探索的分析」

「職域におけるヘルスリテラシーとソーシャル・キャピタルに及ぼす要因の検討」

「転倒予防の早期介入のための関連因子の検討」

「糖尿病患者における食事の問題点(Assessment)と
食事指導(Plan)の特徴の検討 —初回食事指導記録に基づく分析—」

「小児の野菜摂取を高める教育プログラムの包括的評価指標の開発」

「助産師のキャリアの節目に関する研究」

修士論文

博士論文

本学大学院は、地域の保健医療福祉の向上に貢献できる高度な専門職業人育成を目的とした博士前期課程と、社会の発展と人類の幸福に寄与できる研究者・教育者の育成を目的とした博士後期課程を設置しています。

また、博士前期課程には、がん看護に貢献できる人材を育成するため、青森県で唯一の「がん看護専門看護師コース」を開設しています。

多様なニーズに対応した新カリキュラムによる教育を平成29年度から開始しました。
詳細につきましては、本学ホームページや大学院案内をご参照ください。

大学院修了生からのメッセージ！

大学院でのより専門的な分野の研究は、自分の視野や選択肢を大きく広げることができる有意義な時間

私は、本学栄養学科在学中に食品機能学に興味を持ち、将来は食品企業で管理栄養士として商品開発に携わりたいと思うようになりました。そのため、研究の基礎や物事を科学的に捉える力を身につけたいと考え、そのまま大学院へ進学しました。

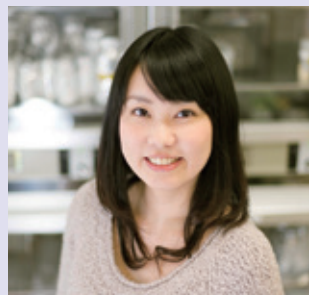
大学院の特別研究は、学部卒業研究よりも多くの時間をかけて取り組むことができます。そのため、実際に実験して得られた結果が予想外のものであっても、その結果を踏まえて新たに実験に挑戦するなど、研究の醍醐味を学ぶことができました。授業は働きながら通う社会人の方に合わせて、平日の夜や土曜日などに集中しているため、日中は実験やデータ解析を進めたり、文献を読んだり自由に時間を使うことができます。また、個人研究費を使って多くの学会に参加し研究成果を発表するなど、貴重な経験をすることもできました。

大学院へは、就職せずフルタイムの学生として入学したため、日本学生支援機構の第一種奨学金の貸与を受けることが出来ましたし、経済的な理由による学費免除制度も活用していました。また、修了の際には、大学院での業績が認められたため、奨学金の一部の返還が免除されました。

大学の授業を通して興味を持った分野を追究したい人、社会に出て働く中

で抱いた疑問を研究したい人、より高度な知識や技術を身につけたい人とって、大学院で実際に調査や実験を通して学ぶことは、自分の視野や選択肢を広げることができる有意義な時間であり、そこが大学院の楽しさだと思います。

私にとって大学院で学んだ時間は、自分自身を見つめなおし、自分の可能性を広げることができた貴重な2年間でした。これからは、管理栄養士としての考え方と大学院で学んだ研究者としての科学的な考え方という2つの視点を活かして、働きたいと思っています。



本学栄養学科 卒業
健康科学研究科
博士前期課程 修了

三浦 恵美 さん



大学院ではこんな研究をしています

古川 照美 教授 | 地域保健研究室(保健・医療・福祉政策システム領域)

人を、地域を、「うごかし」「つくって」「みせる」を科学する。

当研究室では、現在4名の大学院生が、それぞれの研究テーマに取り組んでいます。保健・医療・福祉政策システムにかかわる様々なテーマです。行政、医療機関、会社、大学で勤務しながら、その中で得られた研究テーマを大切にし、大学院での講義、演習によって研究を進めていく上でのKnow-howを学び、研究を『形』にしていきます。研究によって、現場の様々な疑問や健康課題解決に向けてのヒントが生まれます。

主な研究テーマ

- 地域における生活習慣病予防対策に関する研究
- 地域の子育て環境と施策に関する研究
- 地域の包括ケアシステムに関する研究
- 地域保健活動の評価に関する研究



血糖値、血中脂質など健診で詳しく調べます



骨密度を調べます



健診結果をもとに保健指導



「飲み物に含まれる糖分」保健指導に来た保護者や児童に向けて



食生活改善推進員さんたちの試食、朝ごはんレシピ紹介



中学生に対する生活習慣病予防についてのお話し

県内各地をフィールドとして、生活習慣病予防をテーマに親子のかかわりのなかから、子どもの頃からのよい生活習慣の確立と行政施策につながる支援方法を探っています。地域の人たちからたくさんの協力を得ながら、地域の人たちにより結果を還元できるような研究に取り組んでいます。



地域の子育てを切り口とした教育プログラムの開発〈昼Ver.〉



地域の子育てを切り口とした教育プログラムの開発〈夕暮れVer.〉

研究テーマの社会的意義を問い、探求を進める贅沢な時間

私は、博士前期課程の2年間で、これまで業務や日常を理由にして、解決を後回しにしてきた理学療法士としての疑問をテーマに掲げて研究をしました。大学院の課程で経験したことは、どれも新鮮でやり甲斐のあることばかりでした。臨床を経験したからこそ、講義や研究に際し、問題意識を持ち主体的に臨めたような気がします。

先行研究の検討や教員の先生方とのディスカッションを通し、客観的な視点で物事を見たときに、自分一人では気づけない新たなベクトルを持つことができました。講義では、思考を整理してまとめ他領域の院生とプレゼンテーションをし合う機会が多いので、多角的な視点を獲得ことができました。さらに、大学院の研究過程で得られた知見を学会で発表し、他分野を専門とする方の意見を広く拝聴することで、自身が追求したいテーマの社会的意義や考察を深化させることができました。おさなりにしていた出来事と対峙し、新たな世界観を持てたことは、私の財産になりました。

自身が明らかにしたい仮説について検討することは、決して簡単なことではなく、多大な労力と時間がかかります。しかし、辛く苦しいときには、一緒に学ぶ院生、教務学生課の事務職員の方々並びに教員の先生方が支援してくれました。博士前期課程の2年間で、じっくりと、研究の基礎を学び、自身の探求を進める贅沢な時間を過ごすことができました。



修士論文公開審査会の様子

本学理学療法学科 卒業
健康科学研究科
博士前期課程 修了
青森県立保健大学 理学療法学科 助手

木村 文佳 さん



地域連携・国際センターでの社会貢献

主な事業内容 地域連携、研修事業、国際交流 「ケア付き青森ねぶたじょっぱり隊」に学生ボランティアとして参加しています。

今日、大学の社会貢献とグローバル化が課題となっているなか、地域住民やボランティア団体と連携した「地域連携科事業」、保健医療福祉専門職を対象とした「研修科事業」、国際交流に向けた「国際科事業」の3つの柱で事業を展開しています。

地域連携科事業では、県民向けの公開講座や障がい者と学生が一緒になって青森ねぶた祭に参加するケア付きねぶたなどのボランティア活動を行い、研修科事業では地域の保健医療福祉の専門職に対してレベルアップや課題解決のための講座・研修を企画実施し、国際科事業では海外の大学などとの学際交流を展開しています。

本学学生となったなら、ぜひこうしたボランティア活動に参加して、ノーマライゼーションの普及啓発に努めてください。センターでは学生のボランティア活動を支援しています。

地域連携科事業

地域連携科

●公開講座

●地域貢献活動

●地域交流事業

公開講座やケア付きねぶたなどの地域貢献活動、地域交流事業などを行っています。

ケア付きねぶた

※56頁も参照▶▶

全国から参加者を募り年齢や障がいの枠を超え、青森ねぶたに車いすのまま参加できるように、保健医療福祉の専門職と多くのボランティアによって運行されています。平成8年度から、毎年約100名の学生ボランティア・教職員が参加しています。ケア付きねぶたに参加し、障がい者や高齢者と交流や介助を行うことは、学生にとって貴重な体験であり、学習意義も大きいです。



オリエンテーションの様子



出陣前の様子



運行中の様子

公開講座

「生活と健康」を基本テーマに、年間5回程度、本学教員や外部講師による講演会を実施しています。保健医療福祉分野の多彩な教育・研究資源を活かし、魅力ある公開講座を開講しています。



大学会場



下北会場



まちなかキャンパス

国際科事業

国際科

●学術交流

・米国ペレノバ大学との交流
・韓国仁済大学校との交流など

●地域交流

・国際交流講座・国際科講演会・English Cafe
・小学生との英語ゲーム交流など

●学生活動

・学生ボランティア活動

学生、高校生、地域住民の皆様がグローバルな視点で、世界に目を向けていけるようなプロジェクトに取り組んでいます。

国際交流

モンゴルで活躍した卒業生による国際科講演会



青森県出身で本学の看護学科を卒業した田山美由紀氏は、医療機関に8年間勤務した後、JICA(青年海外協力隊)の看護師隊員としてモンゴルに2年間滞在し、現在は再び看護師として勤務しています。11月の国際科講演会では、「日本を出て見えてきたこと」をテーマとしてモンゴルにおける看護活動や生活環境の違いから起こる発見などをわかりやすく語っていただきました。

韓国・仁済大学校との短期海外研修



協定締結をしている仁済(インジェ)大学校とは、毎年短期海外研修による受け入れと派遣を行っています。平成29年度は6月～7月の1か月間、仁済大学校から学生4名と引率教員1名を受け入れ、本学の学生との交流や、学内授業、病院における実習などが行われました。また、本学から8～9月にわたる2週間で、学生4名と引率教員1名が派遣され、大学や付属施設で研修が行われました。

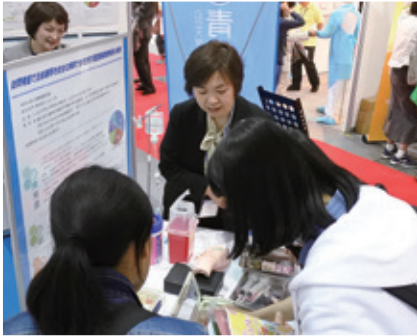
研究推進・知的財産センターでの研究推進

主な事業内容 産学官連携研究・事業 創造的な研究活動を推進して、社会貢献をめざします。

「教育」を行うことに加えて、「研究」を通じて、地域の保健医療福祉の課題解決や地場産業の振興などに貢献することも、本学の重要な使命です。研究推進・知的財産センターは、創造的な研究活動を推進し、その研究成果が健康課題の解決や産業の振興などに役立つように支援しています。例えば、学内の特別研究や指定型研究、学術研究発表会などを通じた研究成果の発信、特許などの知的財産の創出、企業や地方公共団体との共同研究の推進などを行っています。

研究開発の紹介

本学の教員の研究成果を県内外で展示・発表しています。企業、他の大学や研究機関、地方自治体等と連携して、本学の研究成果を様々な機会を利用して、社会に還元していくことを目指しています。



「看護未来展2017」(大阪)での出展



SCU(札幌市立大学)産学官金研究交流会(札幌)での出展

研究発表会

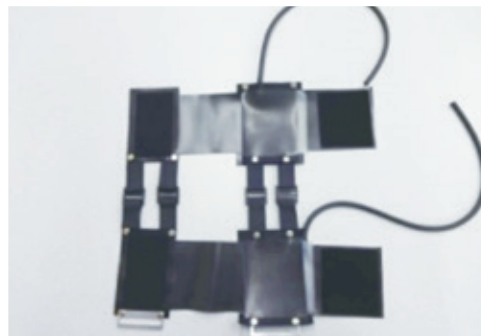
毎年12月に本学で開催される青森県保健医療福祉研究発表会では、シンポジウムや講演、ポスター発表等を実施しています。2017年度の研究発表会において設けた「ようこそ！保健大学研究室～重点課題研究発表会～」というセッションでは、本学教員が青森県の健康課題に関する研究内容を、地域や学生の皆さんにわかりやすく伝えました。



2017年度青森県保健医療福祉研究発表会・日本ヒューマンケア科学学会第10回学術集会合同集会

知的財産権

本学では、知的財産に関する各種制度を整備し、知的財産の創出・活用を推進しています。新たな発明などにつながるような研究に、皆さんもチャレンジすることを願っています。



本学で開発中の携帯用医療廃棄物容器(左)と介連牽引用装着具(右)

平成31年度 入学者選抜試験概要

入学定員・募集人員

| 学部・学科名 | 入学定員 | 募集人員 | | | | | | |
|-----------------|------|----------|----------|--------------|------------------|----------------------------|-----------------------|--------------------------------------|
| | | 一般入試 | | A O 入試 | 特別選抜 | | | |
| | | 前期 日程 | 後期 日程 | | 推 薦 入 試 | 社 会 人 ・ 学 士 | 帰 国 子 女 等 | 私 費 外 国 人 留 学 生 |
| 看護学科 | 100名 | 47名 | 8名 | 6名 | 35名 | 2名 | 1名 | 1名 |
| 健康科学部 理学療法学科 | 30名 | 14名 | 3名 | 2名 | 10名 | 1名 | — | — |
| 社会福祉学科 | 50名 | 25名 | 6名 | 4名 | 14名 | 1名 | — | — |
| 栄養学科 | 30名 | 19名 | 3名 | — | 8名 | — | — | — |
| 計 | 210名 | 105名 | 20名 | 12名 | 67名 | 4名 | 1名 | 1名 |

- ※1 看護学科AO入試6名のうち1名は特別活動選抜です。
- ※2 推薦入試の募集人員には、「県内者」「県外者」の枠を設定しています。「県内者」「県外者」の区分及び募集人員については、平成31年度入学者選抜要項を参照してください。
- ※3 特別選抜において入学手続き完了者が募集人員に満たない場合は、その欠員数を前期日程に含めて選抜します。

入試日程

| 選抜区分 | 出願期間 | 試験日 | 合格発表 | 入学手続 | |
|----------------------------|--------|------------------------------|--------------------|----------------------------------|-------------------|
| AO入試 看護学科・理学療法学科・社会福祉学科 | 1次選抜 | 書類選考 | 平成30年 8月17日(金) | 平成30年 10月5日(金) 10月16日(火) | |
| | 2次選抜 | 平成30年 8月1日(水) 8月6日(月) | 平成30年 9月15日(土) | | 平成30年 9月21日(金) |
| | 3次選抜 | 平成30年 9月29日(土) | 平成30年 10月5日(金) | | |
| 特別選抜 | 社会人・学士 | 平成30年 7月9日(月) 7月12日(水) | 平成30年 8月25日(土) | 平成30年 8月31日(金) 9月12日(水) | |
| | 推薦入試 | 平成30年 11月1日(木) | 平成30年 11月23日(金) | 平成30年 12月3日(月) | |
| | 帰国子女等 | 平成30年 11月7日(水) | 平成30年 11月23日(金) | 平成30年 12月3日(月) | |
| 一般入試 | 前期日程 | 平成31年 1月28日(月) | 平成31年 2月25日(月) | 平成31年 3月5日(火) 3月15日(金) | |
| | 後期日程 | 平成31年 2月6日(水) | 平成31年 3月12日(火) | 平成31年 3月21日(木・祝日) 3月27日(水) | |

※ 平成31年度入学者選抜大学入試センター試験 平成31年1月19日(土)・20日(日)

平成30年度 入学者選抜試験結果

看護学科

単位:名

| 選抜区分 | 募集人員 | 受験者数 | 合格者数 | 倍率 | 入学者数 | |
|-------|----------|------|------|-----|------|----|
| 一般入試 | 前期日程 | 47 | 128 | 58 | 2.2 | 55 |
| | 後期日程 | 8 | 60 | 9 | 6.7 | 9 |
| | 一般入試計 | 55 | 188 | 67 | 2.8 | 64 |
| 特別選抜 | 推薦入試 | 30 | 54 | 31 | 1.7 | 31 |
| | 一般推薦(県内) | 5 | 25 | 6 | 4.2 | 6 |
| | 一般推薦(県外) | 5 | 25 | 6 | 4.2 | 6 |
| | 小計 | 35 | 79 | 37 | 2.1 | 37 |
| | 社会人・学士 | 2 | 1 | 1 | 1.0 | 1 |
| | 帰国子女等 | 1 | 0 | 0 | — | 0 |
| 特別選抜計 | 39 | 80 | 38 | 2.1 | 38 | |
| AO入試 | 一般 | 5 | 52 | 7 | 7.4 | 7 |
| | 特別活動選抜 | 1 | 2 | 0 | — | 0 |
| | AO入試計 | 6 | 54 | 7 | 7.7 | 7 |
| 計 | 100 | 322 | 112 | 2.9 | 109 | |

理学療法学科

単位:名

| 選抜区分 | 募集人員 | 受験者数 | 合格者数 | 倍率 | 入学者数 | |
|-------|----------|------|------|-----|------|----|
| 一般入試 | 前期日程 | 14 | 52 | 16 | 3.3 | 15 |
| | 後期日程 | 3 | 24 | 3 | 8.0 | 3 |
| | 一般入試計 | 17 | 76 | 19 | 4.0 | 18 |
| 特別選抜 | 推薦入試 | 8 | 22 | 11 | 2.0 | 11 |
| | 一般推薦(県内) | 2 | 19 | 2 | 9.5 | 2 |
| | 一般推薦(県外) | 2 | 19 | 2 | 9.5 | 2 |
| | 小計 | 10 | 41 | 13 | 3.2 | 13 |
| | 社会人・学士 | 1 | 2 | 0 | — | 0 |
| 特別選抜計 | 11 | 43 | 13 | 3.3 | 13 | |
| AO入試 | 2 | 15 | 2 | 7.5 | 2 | |
| 計 | 30 | 134 | 34 | 3.9 | 33 | |

社会福祉学科

単位:名

| 選抜区分 | 募集人員 | 受験者数 | 合格者数 | 倍率 | 入学者数 | |
|--------|----------|------|------|-----|------|----|
| 一般入試 | 前期日程 | 25 | 55 | 28 | 2.0 | 27 |
| | 後期日程 | 6 | 17 | 8 | 2.1 | 6 |
| | 一般入試計 | 31 | 72 | 36 | 2.0 | 33 |
| 特別選抜 | 推薦入試 | 11 | 19 | 13 | 1.5 | 13 |
| | 一般推薦(県内) | 3 | 7 | 4 | 1.8 | 4 |
| | 一般推薦(県外) | 3 | 7 | 4 | 1.8 | 4 |
| | 小計 | 14 | 26 | 17 | 1.5 | 17 |
| 社会人・学士 | 1 | 1 | 0 | — | 0 | |
| 特別選抜計 | 15 | 27 | 17 | 1.6 | 17 | |
| AO入試 | 4 | 12 | 4 | 3.0 | 4 | |
| 計 | 50 | 111 | 57 | 1.9 | 54 | |

栄養学科

単位:名

| 選抜区分 | 募集人員 | 受験者数 | 合格者数 | 倍率 | 入学者数 | |
|-------|----------|------|------|-----|------|----|
| 一般入試 | 前期日程 | 19 | 43 | 20 | 2.2 | 19 |
| | 後期日程 | 3 | 19 | 6 | 3.2 | 6 |
| | 一般入試計 | 22 | 62 | 26 | 2.4 | 25 |
| 特別選抜 | 推薦入試 | 6 | 20 | 6 | 3.3 | 6 |
| | 一般推薦(県内) | 2 | 11 | 2 | 5.5 | 2 |
| | 一般推薦(県外) | 2 | 11 | 2 | 5.5 | 2 |
| 特別選抜計 | 8 | 31 | 8 | 3.9 | 8 | |
| 計 | 30 | 93 | 34 | 2.7 | 33 | |

健康科学部合計

| 募集人員 | 受験者数 | 合格者数 | 倍率 | 入学者数 |
|------|------|------|-----|------|
| 210 | 660 | 237 | 2.8 | 229 |

編入学制度について

保健・医療・福祉に関わる現職者および短期大学、専修学校卒業者を対象とした編入学制度を設けています。平成31年度募集概要は次のとおりです。

編入学入学定員・編入年次

| | |
|--------|------------|
| 看護学科 | 10名(3年次編入) |
| 理学療法学科 | 2名(3年次編入) |
| 社会福祉学科 | 4名(2年次編入) |
| 栄養学科 | 3名(2年次編入) |

選抜日程

- 出願期間／平成30年7月9日(月)～7月12日(木)
- 試験日／平成30年8月25日(土) 青森県立保健大学
- 合格発表／平成30年8月31日(金)
- 入学手続期間／平成30年8月31日(金)～9月12日(水)
(ただし、土・日を除く)

募集要項の請求方法

1. 大学ホームページから請求する場合

青森県立保健大学のホームページから直接、「テレメール」または「モバっちょ」による資料請求ができます。

<http://www.auhw.ac.jp/>

トップページ>学生募集>入試情報>資料請求

2. テレメールによる請求方法

(1) 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

| | | |
|---------------------------------------|--|---|
| インターネットの場合 パソコン スマートフォン 携帯電話 | http://telemail.jp/ パソコン・スマートフォン・携帯電話 各社共通アドレス |  |
| 自動音声応答電話の場合 | IP電話 050-8601-0101 ※一般電話回線からの通話料金は、日本全国 どこからでも3分毎に約12円です。 | (24時間受付) |

(2) 次に請求する資料請求番号(6桁)をブッシュまたは入力してください。

| 資料名 | 資料請求番号 | 発送開始時期(予定) |
|------------|---------------|------------|
| 入学者選抜要項 | 580520 | 6月 上旬 |
| 一般入試学生募集要項 | 580500 | 11月 上旬 |
| AO入試学生募集要項 | 540510 | 6月 下旬 |
| 推薦入試学生募集要項 | 580510 | 10月 上旬 |
| 特別選抜学生募集要項 | 580540 | 6月 下旬 |
| 編入学生募集要項 | 580530 | 6月 下旬 |

※別途料金がかかります。詳しくはテレメールホームページ等でご確認ください。
※料金のお支払い方法は「コンビニ支払い」「ゆうちょ銀行・郵便局での払込み」「ケータイ払い」「クレジットカード払い」がご利用になります。また、ケータイ払い、クレジットカード払い、コンビニ支払いは、1回分の手数料で、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。

(3) あとはガイダンスに従ってください。

【注意事項】

- ※発送開始日以降に請求された資料は発送日の翌日・翌々日に届きます。夕方までの受付は当日発送となりますが、夕方以降は翌日発送となります。尚、お届け先が北海道の一部・沖縄・離島などの場合は3日以上かかります。
- ※随時発送の資料が1週間以上(予約受付の資料は発送開始日から1週間以上)経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。
- ※発送開始以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉発送されます。
- ※請求時期によっては資料がなくなり、早期終了する場合がありますので予めご了承ください。
- ※一般入試学生募集要項は、自動音声応答電話による請求を除き、通常受付終了後でも引き続きテレメール速達対応(レターパック)にて請求受付を行います。
 - 【通常受付期間】2019年1月31日(木)正午まで
 - 【速達対応受付時間】2019年2月3日(日)正午まで
 - 速達対応の料金は、通常受付の料金とは金額が異なります。料金は「一般入試学生募集要項:600円」「一般入試学生募集要項・大学案内:650円」となります。

【請求方法についてのお問い合わせ先】

テレメールカスタマーセンター
TEL050-8601-0102 (9:30～18:00)

3. モバっちょによる請求方法

(1) 携帯電話より「モバっちょ」にアクセスしてください。

<http://djcm-b.jp/>



(2) 青森県立保健大学のページにアクセスします。

| | |
|-------------|-------------------|
| [1] 大学名で検索> | 「青森県立保健大学」と入力 |
| [2] エリアで検索> | 「東北」を選択>「東北の大学一覧」 |

(3) ご希望の資料を選択して「請求する」を押してください。

4. 本学へ直接請求する場合

【郵送による送付を希望する場合】

郵便番号・住所・氏名を明記し、250円分(一般入試学生募集要項を1部請求の場合)の切手を貼付した返信用封筒(角形2号)を同封のうえ、(教務学生課 入試担当)へ請求してください。

なお封筒の表には、「〇〇入試学生募集要項請求」と朱書きするとともに、裏面には住所・氏名・電話番号を記載してください。(複数請求される場合には返信用の切手の額が変わりますので、先に電話でご確認ください)

【宅急便による送付を希望する場合】

はがき又はFAXにより郵便番号・住所・氏名・電話番号・必要な要項の種類・請求部数・宅配便による着払いを希望する旨を記載のうえ、(教務学生課 入試担当)へ請求してください。着払いにて送付いたします。

入試に関するお問い合わせ先

青森県立保健大学

住所 〒030-8505 青森市大字浜館字間瀬58-1

教務学生課 入試担当

電話:017-765-2144(直通)
FAX:017-765-2188
E-mail: nyushi@auhw.ac.jp

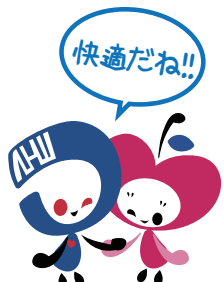
青森県の県庁所在地・青森市は、四季折々に美しい姿を見せる雄大な自然と豊かな風土に恵まれています。



大学周辺 ガイドマップ

大学の周辺は、生活に必要な施設がすべて徒歩圏内!
最寄り駅やバス停も近くにあり、
とても便利な環境です!!

| 食品・生活用品 | 食 事 | | 本・CD・携帯 | 娯楽・温泉・美容院 | 診療所・クリニック |
|-----------------------------|----------------------|-------------------------|---------------------------|------------------------|-----------------------------|
| A<スーパーマーケット> ユニバース | A<お弁当> HottoMotto | M<レストラン> レストランむさし | A<本・文房具> 成田本店 | A<カラオケ> カラオケ本舗まねきねこ | A<眼科> 小堀眼科 |
| B<ホームセンター> ホームック | B<居酒屋> 居の一番 | N<そば・うどん> あたりや | B<携帯電話> ドコモショップ | B<温泉> つくだ温泉ゆーぼっぼ | B<整形外科> いわさき整形外科クリニック |
| C G<ドラッグストア> ハッピードラッグ | C<ハンバーガー> モスバーガー | O<レストラン> 河童亭MASAYUKI | C<本> 宮脇書店 | C<温泉> こやなぎ温泉 | C<歯科> つくだ歯科 |
| D<スーパーマーケット> 青森県民生協つくだ店 | D<ラーメン> らいぞう | P<お好み焼> 道とん堀 | D<リサイクルショップ> 萬屋 よるずや | D<温泉> フラワー温泉花月苑 | D<歯科> 高橋ひでき歯科クリニック |
| E<100円ショップ> セリア | E<宅配ピザ> ピザハット | Q<居酒屋> とりでん | E<リサイクルショップ> セカンドストリート | E<美容室> 美容室スクエア | E<皮膚科> 千代谷皮膚科 |
| F K<100円ショップ> ダイソー&アオヤマ | F<焼肉> 焼肉ホルモンガッツ | | F<CD・DVD> ゲオ | | F<歯科> 奈良岡歯科医院 |
| H<衣料品> ファッションセンターしまむら | G<カフェ> ドラゴンカフェ | | G<携帯電話> ソフトバンク | | G<整形外科> ひがし整形外科 |
| I<ドラッグストア> スーパードラッグアサヒ | H<ラーメン・中華> 友楽 | | I<携帯電話> auショップ | | H<歯科> あさだ歯科医院 |
| J<スーパーマーケット> 青森県民生協ひまわり館 | I<ファミリーレストラン> ガスト | | | | I<内科> 学校医 駒井胃腸科内科 |
| L<スーパーマーケット> マエダストア | J<お弁当> ほっかほっか亭 | | | | J<内科> 虹ヶ丘内科クリニック |
| M<ホームセンター> サンデー | K<ラーメン> 麺屋壹番 | | | | K<歯科> えらデンタルクリニック |
| N<ドラッグストア> ツルハドラッグ | L<ラーメン> ら〜めん熊 | | | | |



青森市の見どころ エリアマップ



身も心もあたたまる
青森ならではの庶民の味！
生姜味噌おでん



青森市のご当地ラーメン！
味噌カレー牛乳ラーメン



自分だけのオリジナル★
好きな魚介類をのっけて
究極のわがままどんぶり！
のっけ丼

日本最大級の縄文集落跡

1 三内丸山遺跡

三内丸山遺跡は、今から約5500年前～4000年前の縄文時代の集落跡で、遺跡は通年で公開され、見学することができます。



青森ゆかりの作家の作品群

2 青森県立美術館

棟方志功、奈良美智など青森ゆかりの作家を中心にした作品を展示。建築やオリジナルサインなど細部にまでこだわっています。



青森市を代表する公園

3 合浦公園(がっほこうえん)

春はお花見、夏は海水浴客で賑わう公園。池沼の周辺は日本庭園の様式を取り入れています。公園内には市営球場もあります。



水の世界を知る楽しさがここにある！

4 青森県営 浅虫水族館

約400種、1万点を飼育展示しており、幻想的なトンネル水槽やイルカショーが人気。アシカ、アザラシ、ペンギンがいる海獣館では、食事風景を間近で観覧できます。



アウトドアが年中楽しめる

5 モヤヒルズ

青森市内から20分の好アクセス。冬はスキー、スノーボード、春～秋はヒルズサンダーを楽しめます。ケビンハウスも有ります。



八甲田の自然に包まれた湯宿

6 酸ヶ湯温泉(すかゆおんせん)

卓越した効能と豊富な温泉の湧出量をほこる山の温泉宿。標高約900mの高地にあり、昔ながらの清純、素朴な風情を残しています。



春



青森春まつり

桜が満開の時期に合浦公園で開催される青森春まつり。期間中はまつり会場にたくさんの出店が軒を連ねるほか、夜にはボンボリが点灯され夜桜を楽しむことができます。



イベント & 祭り

浅虫温泉花火大会

「青森ねぶた祭り」の前夜祭を飾る、青森県の代表的な花火大会のひとつです。浴衣姿のまま気軽に花火を楽しめるといふ、湯の町ならではの情緒豊かな花火大会です。

秋



あおもり秋まつり

青森市の秋を楽しむ、青森秋まつりが合浦公園を会場に開催されます。それにあわせて、道の駅や各市民センター等で産直販売や出店など、様々なイベントが開催されています。

夏



青森ねぶた祭

毎年8月2日～7日に開催され、300万人を超える人出を数えます。20数台の大型ねぶたが約3.1kmのコースを運行します。国の「重要無形民俗文化財」に指定されています。

冬



あおもり雪灯りまつり

市民の皆さんが一週間かけて一生懸命作った、雪とキャンドルを使った雪灯り3,000個が冬の駅前周辺エリアを優しく灯します。

祭りも
楽しいよ！



オープンキャンパス

8月5日(日)・[10:00~15:00]

○午前の部10:00~ ○午後の部13:00~
 ※受付は9:30からとなります。※予約不要

「もっと大学のことを知りたい」
 「どんな授業をするの?」「雰囲気は?」
 などの疑問・質問はオープンキャンパスで解決!
 実際の講義や実験を体験できます。

ミニオープンキャンパス

8月18日(土)・[13:00~15:00]

※事前予約制
 オープンキャンパスに参加できない方々向けに、
 オープンキャンパスの規模を縮小したミニオープンキャンパスを実施します。

進学相談会

※日程・場所は変更になる場合がございます。

| 開催地 | 開催日時・場所 |
|--------|---|
| ●秋田市 | 5月18日(金)・[15:00~18:00] アルヴェ |
| ●弘前市 | 5月21日(月)・[14:00~18:00] アートホテル弘前シティ |
| ●青森市 | 5月22日(火)・[15:00~18:00] リンクステーションホール青森 |
| ●八戸市 | 5月23日(水)・[14:00~18:00] 八戸プラザアーバンホール |
| ●五所川原市 | 5月29日(火)・[15:30~18:00] ホテルサンルート五所川原 |
| ●盛岡市 | 6月18日(月)・[15:00~18:00] ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング |
| ●むつ市 | 6月23日(土)・[15:30~17:00] 下北文化会館 公開講座終了後 |



【青森市まで】

JR

- 東京駅~新青森駅まで約3時間* (東北新幹線 はやぶさ・はやて)
- 新函館北斗駅~新青森駅まで約1時間* (北海道新幹線 はやぶさ・はやて)

※所要時間は最速時間です。

飛行機

- 札幌便 約45分
- 東京便 約75分
- 名古屋便 約80分
- 大阪便 約90分

【大学まで】

- 青森駅から約7km、新青森駅から約11km

鉄 道

- 新青森駅から青森駅を經由し(奥羽本線)、青い森鉄道八戸方面行きで東青森駅または小柳駅で下車、いずれも大学まで徒歩約10分(約1km)

バス(青森市営バス)

- 新青森駅南口から東部営業所方面行きで青森駅前バス停で下車(約15分)
- 青森駅前バス停から戸山団地・沢山線(明の星高校経由に限る)で県立保健大学前バス停まで(約20分)

車・タクシー

- 青森駅から約20分、新青森駅から約25分
- 青森自動車道(青森中央IC)から約15分
- 青森空港から約30分



公立大学法人 AOMORI UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

青森県立保健大学

〒030-8505 青森市大字浜館字間瀬58-1

電話.017-765-2000(代表) FAX.017-765-2188